OLYMPUS®

# OLYMPUS Viewer

## 取扱説明書

# はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ご注意

- 本ソフトウェアおよび本書の内容の一部または全部を複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りいたします。
- 本ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、および第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本ソフトウェアは、指定された動作条件以外では使用できません。
- 本ソフトウェアの仕様および本書の内容については、予告なく変更することがあります。最新の情報はオリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp）をご覧ください。

© 2004 OLYMPUS IMAGING CORP.

## 商標について

- Macintosh は Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe® および Adobe Photoshop® は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他本書に記載されている会社名および製品名はその会社の商標または登録商標です。

## 動作環境について

- OLYMPUS Viewer は次の動作環境でご使用ください。

| Macintosh | |
|---|---|
| OS | Mac OS 9.1 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.1.3 ～ 10.3<br>（IEEE1394（FireWire）/ USB1.1 / USB2.0 接続） |
| CPU | Power PC G3 500MHz 以上 |
| RAM | アプリケーション用に 192MB 以上（Mac OS X: 256MB 以上） |
| ハードディスク容量 | 50MB 以上（インストール時） |
| コネクタ | IEEE1394（FireWire）ポート（IEEE1394（FireWire）接続）<br>USB ポート（USB 接続）<br>標準装備ポートのみ対応 |
| モニタ | 1024 × 768 ドット以上、32,000 色以上（1,677 万色を推奨）、マルチモニタ環境に対応 |

| Windows | |
|---|---|
| OS | Windows Me/2000/XP（IEEE1394 接続）<br>Windows 98SE/Me/2000/XP（USB1.1 接続）<br>Windows 2000/XP（USB2.0 接続） |
| ブラウザ | Internet Explorer 6 Service Pack 1 以降 |
| CPU | Pentium III 500MHz 以上 |
| RAM | 128MB 以上（256MB 以上を推奨） |
| ハードディスク容量 | 50MB 以上（インストール時） |
| コネクタ | IEEE1394 ポート（IEEE1394 接続）<br>USB ポート（USB 接続） |
| モニタ | 1024 × 768 ドット以上、65,536 色以上（1,677 万色を推奨）、マルチモニタ環境に対応 |

# INDEX


**「OLYMPUS Viewer とは？」** P.9

OLYMPUS Viewer の機能とその特長について説明します。

**「OLYMPUS Viewer の起動」** P.10

OLYMPUS Viewer の起動方法について説明します。

**「ブラウズウィンドウ」** P.19

ブラウズウィンドウの 3 つの表示モードについて、それぞれの表示モードでの画像の表示・分類などの操作、ライトボックスモードの利用方法など、ブラウズウィンドウの機能について説明します。

**「ファームウェアのアップデート」** P.122

OLYMPUS E-System のファームウェアのアップデートを行う操作について説明します。

**「OLYMPUS Viewer の環境設定」** P.126

表示ファイル種類の選択、スライドショー表示の間隔設定、マルチモニタの設定、分類チェックマークのカスタマイズなど、各ウィンドウで共通となる操作環境の設定について説明します。

**「その他」** P.146

OLYMPUS Viewer のメニュー一覧、用語解説、索引、お問い合わせ窓口を記載しています。

# 本書の見方

メニューバーの操作を表します。

画像の E-mail 送信

## 画像を送信メールに添付する

**1 ブラウズウィンドウで、メールに添付する画像を選択する。**

**2 ［ツール］メニューから［E-mail 送信］を選択する。**

**または、ツールバーの［E-mail 送信］アイコンをクリックする。**

［E-mail 送信］ダイアログが表示されます。

**［E-mail 送信］ダイアログ**

ダイアログおよびウィンドウなどの画面は、Macintosh 版を例として使用しています。Windows 版とボタンの表記など異なる場合がありますが、置き替えてご覧ください。
ただし、表示内容が大きく異なる場合は、並列して載せています。

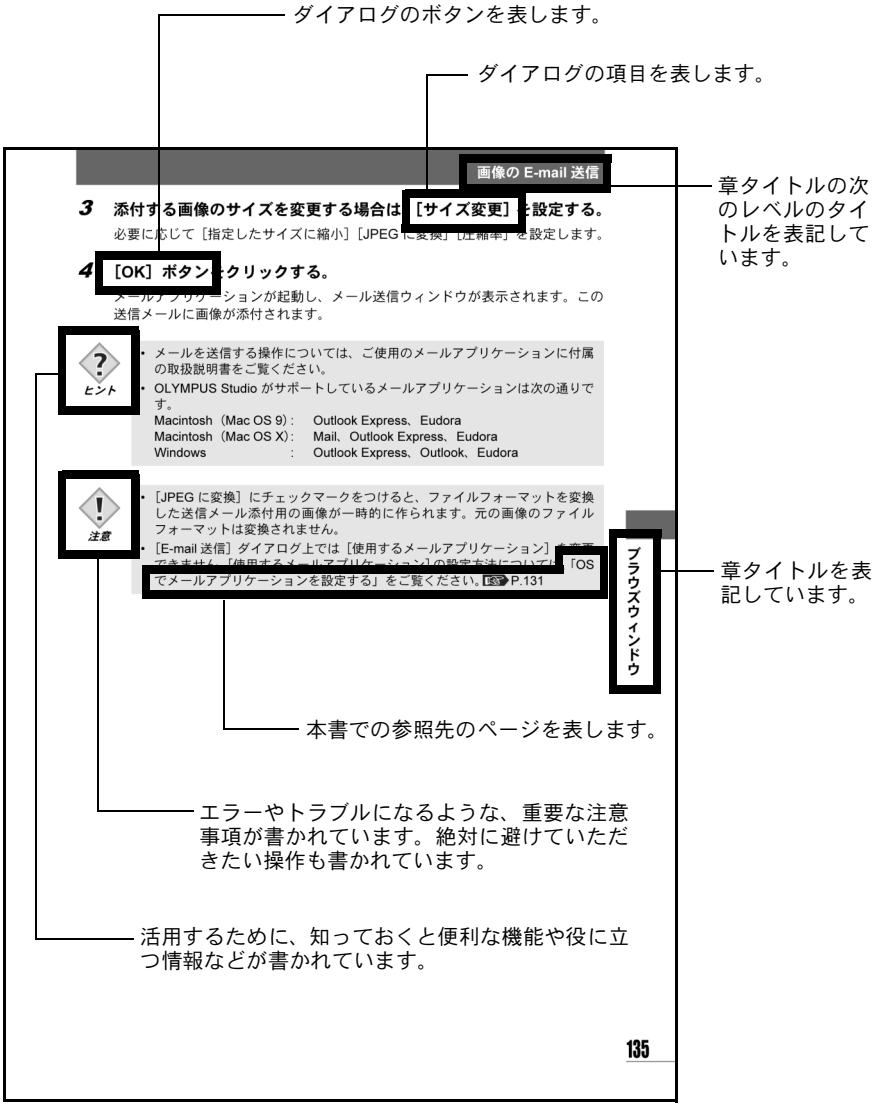
| 項目 | 内容 |
|---|---|
| サイズ変更 | 添付する画像のサイズを変更したい場合に必要に応じて項目を設定します。 |
| 指定したサイズに縮小 | 添付する画像のサイズを縮小したい場合にチェックマークを付け、サイズを入力します。 |
| JPEG に変換 | 添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換したい場合にチェックマークを付けます。 |
| 圧縮率 | 添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換する場合、または現在の JPEG 画像のサイズを変更したい場合、ファイルの圧縮率を［高画質］［標準画質］［低画質］から選択します。 |
| 使用するメールアプリケーション | OS で設定されているメールアプリケーションが表示されます。 |
| ［キャンセル］ | 画像の添付を中止し、［E-mail 送信］ダイアログを閉じます。 |
| ［OK］ | 設定した条件で画像を送信メールに添付します。 |

ダイアログの設定項目を説明します。

ブラウズウィンドウ

134

ダイアログのボタンを表します。




このページは説明のためのサンプルです。実際のページの説明とは異なる場合があります。

## ●ヘルプについて

ヘルプ情報は以下の操作で表示することができます。

- 各ダイアログの［?］ボタン（Macintosh）、［ヘルプ］ボタン（Windows）をクリックする。
- 各ウィンドウの［ヘルプ］メニューから［OLYMPUS Viewer ヘルプ］を選択する。

# 目次


**はじめに** ..... **2**
**INDEX** ..... **3**
**本書の見方** ..... **4**
ヘルプについて ..... 5
**目次** ..... **6**

## OLYMPUS Viewer とは？ 9

## OLYMPUS Viewer の起動 10

**カメラとパソコンを接続する** ..... **10**
**OLYMPUS Viewer を起動する** ..... **12**
Macintosh ..... 12
Windows ..... 12
**OLYMPUS Viewer を終了する** ..... **13**
Macintosh ..... 13
Windows ..... 13
**カメラをパソコンから取り外す** ..... **14**
**OLYMPUS Viewer を自動起動する** ..... **16**

## ブラウズウィンドウ 19

**ブラウズウィンドウの起動と終了** ..... **19**
Macintosh ..... 19
Windows ..... 19
**画像の取り込み** ..... **20**
取り込みダイアログについて ..... 20
カメラから取り込む ..... 22
メディアから取り込む ..... 25
**画像の表示** ..... **28**
ブラウズモード ..... 28
ビューモード ..... 30
ライトボックスモード ..... 32
ツールバーの機能 ..... 34
表示モードの切り替え ..... 36
**サムネイル表示エリアの操作** ..... **37**
サムネイル枠 ..... 37
サムネイル一覧を表示する ..... 39
サムネイル枠の表示項目を設定する ..... 39
サムネイルの表示順を設定する ..... 40
サムネイルの表示サイズを設定する ..... 40

**全画面表示／スライドショー表示 ..... 41**
全画面表示する ..... 41
スライドショーを表示する ..... 44
**マルチモニタで表示する ..... 45**
**画像の回転 ..... 46**
**分類チェックマークを使う ..... 48**
分類チェックマークを付ける ..... 48
絞り込み表示する ..... 50
**コレクション領域を使う ..... 52**
画像を振り分ける ..... 54
振り分けた画像の確認と保存 ..... 56
確認する ..... 56
保存する ..... 58
**画像比較エリアを使う ..... 60**
画像比較エリアについて ..... 60
画像比較エリアに画像を表示する ..... 63
画像をドラッグ＆ドロップする ..... 63
画像をダブルクリックする ..... 64
［選択で追加］チェックボックスを使う ..... 65
［一度に追加］チェックボックスを使う ..... 65
［次の画像を追加］ボタンを使う ..... 66
画像比較エリアから画像を削除する ..... 67
**画像情報の表示 ..... 68**
プロパティ領域を表示する ..... 68
コメントを編集する ..... 72
撮影日時を編集する ..... 73
**RAW 現像 ..... 74**
**登録アプリケーションの起動 ..... 79**
**フォルダ・ファイルの操作 ..... 80**
フォルダを新規作成する ..... 80
ファイルを新規サブフォルダに移動する ..... 81
ファイル名・フォルダ名を変更する ..... 82
ファイル名を一括変更する ..... 84
命名規則について ..... 84
ファイルをコピーする ..... 89
画像をコピーする ..... 90
ファイルを移動する ..... 91
ファイルフォーマットを変換する ..... 92
フォルダのショートカットを作成する ..... 95
ショートカット領域からショートカットを削除するには ..... 96
ショートカットの名前を変更するには ..... 96
**画像の検索 ..... 97**
**画像の削除 ..... 99**
**画像の印刷 ..... 100**
印刷の種類 ..... 100

［印刷］ダイアログ ..... 102
プリンタの設定 ..... 104
Macintosh ..... 104
Windows ..... 105
フォト印刷 ..... 106
インデックス印刷 ..... 110
コンタクトシート印刷 ..... 114
**画像の E-mail 送信 ..... 117**
OS でメールアプリケーションを設定する ..... 117
Macintosh（Mac OS 9） ..... 117
Macintosh（Mac OS X） ..... 118
Windows ..... 119
画像を送信メールに添付する ..... 120

**ファームウェアのアップデート 122**

**OLYMPUS Viewer の環境設定 126**

**OLYMPUS Viewer の環境設定を行う ..... 126**
**［一般］タブを設定する ..... 128**
**［ブラウズ］タブを設定する ..... 130**
**［全画面表示］タブを設定する ..... 132**
**［分類チェックマーク］タブを設定する ..... 135**
**［カラーマネージメント］タブを設定する ..... 138**
OS のプロファイル設定を確認する ..... 138
画像をモニタに表示するときに使用するプロファイルの設定を確認する ..... 138
画像を印刷するときに使用するプロファイルの設定を確認する ..... 141
［カラーマネージメント］タブの設定 ..... 144

**その他 146**

**メニュー一覧 ..... 146**
［ファイル］メニュー ..... 146
［編集］メニュー ..... 147
［表示］メニュー ..... 148
［ツール］メニュー ..... 150
［ヘルプ］メニュー ..... 150
**用語解説 ..... 151**
**索引 ..... 153**

# OLYMPUS Viewer とは？

OLYMPUS Viewer は、プロカメラマンのワークフローをサポートするためのオリンパスデジタルカメラ専用のソフトウェアです。
ここでは、OLYMPUS Viewer の特長的な機能について紹介します。

## ■ OLYMPUS Viewer で画像を取り込み／表示

撮影済みの画像をパソコンに取り込んで表示します。カメラとパソコンをケーブルで接続して画像を取り込んだり、カードリーダーなどを利用してカードから画像を取り込んだりできます。

**詳しい説明・操作については→「画像の取り込み」**P.20

## ■ OLYMPUS Viewer で画像を選定

膨大な数の画像の分類や絞り込みなど、選定作業に便利な表示モードや機能が用意されています。
絞り込み作業のための「分類チェックマーク」、画像を詳細に比較する「画像比較エリア」、画像を振り分ける「コレクション領域」など、画像選定作業を強力にサポートします。

**詳しい説明・操作については→「ブラウズウィンドウ」**P.19

## ■ OLYMPUS Viewer で画像を管理／印刷／ E-mail 送信

取り込んで編集を行った画像をフォルダに分類して管理します。フォルダの新規作成や画像の移動、複数ファイル名の一括変更といった操作も行うことができます。
印刷フォーマットは、「フォト印刷」「インデックス印刷」「コンタクトシート印刷」の 3 種類が用意されています。
OLYMPUS Viewer から画像をメールに添付して送信することもできます。

**詳しい説明・操作については→「フォルダ・ファイルの操作」**P.80
**「画像の印刷」**P.100
**「画像の E-mail 送信」**P.117

## ■ OLYMPUS Viewer でファームウェアをアップデート

カメラとパソコンを接続してインターネットに接続し、OLYMPUS E-System のボディ、レンズ、フラッシュ等のファームウェアのアップデートを行うことができます。

**詳しい説明・操作については→「ファームウェアのアップデート」**P.122

## ■ OLYMPUS Viewer をカスタマイズ

OLYMPUS Viewer の操作環境を設定します。分類チェックマークをお好みの色やデザインに設定するなど、カスタマイズが可能です。

**詳しい説明・操作については→「OLYMPUS Viewer の環境設定」**P.126

# OLYMPUS Viewer の起動

## カメラとパソコンを接続する

カメラの画像を取り込む場合は、あらかじめ USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルでカメラとパソコンを接続しておきます。すでにパソコンに保存した画像を OLYMPUS Viewer で閲覧する場合は、必要ありません。



### *1* カメラのモードを設定する。

**1 カメラのパワースイッチを ON の位置にして、電源を入れる。**

**2 メニューボタンを押す。**

液晶モニタにメニューが表示されます。

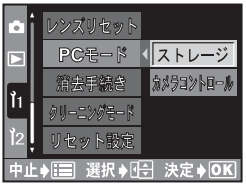
**3 十字ボタンの ▽ を繰り返し押して ↑1 を選択し、▷ を押す。**

**4 ▽ を繰り返し押して［PC モード］を選択し、▷ を押す。**

**5 △ ▽ を押して［ストレージ］または［カメラコントロール］を選択する。**

ブラウズウィンドウを起動して、カメラから画像を取り込む場合は、［ストレージ］に設定します。
「画像の取り込み」P.20

ファームウェアのアップデートを行う場合は、［カメラコントロール］に設定します。
「ファームウェアのアップデート」P.122



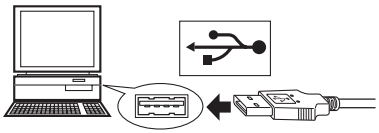

**6 ［OK］を押す。**

カメラのモードが設定されます。

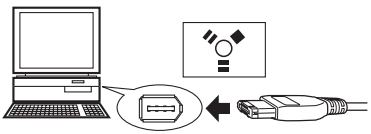
### *2* カメラのパワースイッチを OFF の位置にして、電源を切ります。

### *3* パソコンの端子にケーブルを差し込みます。

**USB ケーブルの場合**

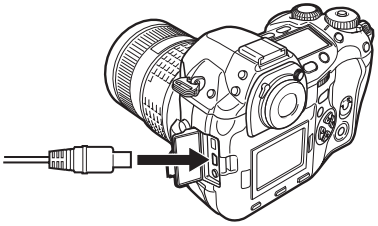


**IEEE1394（FireWire）ケーブルの場合**

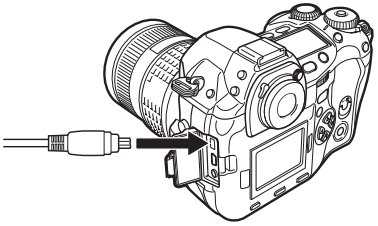


## 4 カメラの端子にケーブルを差し込みます。

**USB ケーブルの場合**



**IEEE1394（FireWire）ケーブルの場合**



## 5 カメラのパワースイッチを ON の位置にして、電源を入れる。

パソコンがカメラを認識します。

**注意**

- カメラとの通信中は、他の USB、IEEE1394 デバイスの取り付け／取り外しをしないでください。カメラの故障や OLYMPUS Viewer の不具合の原因となります。

**ヒント**

- カメラとパソコンの接続方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。
- カメラのモード設定方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

# OLYMPUS Viewer を起動する

OLYMPUS Viewer を起動してブラウズウィンドウを表示します。

## ● Macintosh

- OLYMPUS Viewer をインストールしたフォルダ内の［OLYMPUS Viewer］を開き、［OLYMPUS Viewer］をダブルクリックする。
- デスクトップ上の［OLYMPUS Viewer］アイコンをダブルクリックする。（Mac OS 9 のみ）

## ● Windows

- タスクバーの［スタート］メニューから［プログラム－ OLYMPUS Viewer － OLYMPUS Viewer］を選択する。
- デスクトップ上の［OLYMPUS Viewer］アイコンをダブルクリックする。

# OLYMPUS Viewer を終了する

ブラウズウィンドウを閉じて、OLYMPUS Viewer を終了します。

## ● Macintosh

**1　ブラウズウィンドウの［ファイル］メニューから［終了］を選択する。**

ブラウズウィンドウが閉じます。

## ● Windows

**1　ブラウズウィンドウの［ファイル］メニューから［終了］を選択する。**

ブラウズウィンドウが閉じます。

**OLYMPUS Viewer の終了手順（Mac OS X の場合）**

- ブラウズウィンドウの［OLYMPUS Viewer］メニューから［OLYMPUS Viewer を終了］を選択する。

# カメラをパソコンから取り外す

カメラとパソコンを接続して OLYMPUS Viewer を起動していた場合は、OLYMPUS Viewer を終了後にカメラをパソコンから取り外します。

### 1 カメラのカードアクセスランプが点滅していないことを確認する。

### 2 パソコン上で「ハードウェアの取り外し」を行う。

必ず、以下の操作を行ってください。

**Macintosh**

デスクトップ上の［NO_NAME］（Mac OS X）または［名称未設定］（Mac OS 9）のアイコンをゴミ箱にドラッグする。

接続ケーブルを抜く前に再度、カメラのカードアクセスランプが点滅していないことを確認する。

**Windows Me/2000/XP**

パソコン画面右下のタスクバーに表示されている［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、表示されるメッセージを選択します。

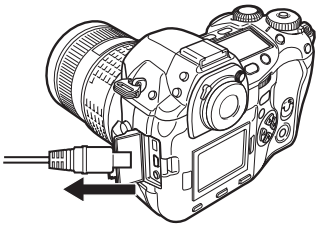
- 「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないことを確認し、USB ケーブルを抜いてください。

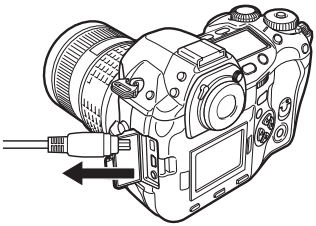
**Windows 98 SE**

マイコンピュータの中の［リムーバブルディスク］上で右クリックし、［取り出し］を選択する。

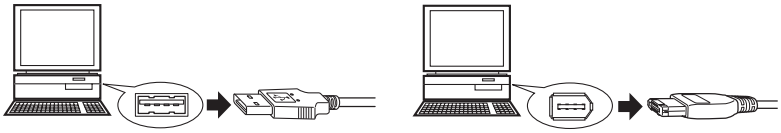
接続ケーブルを抜く前に再度、カメラのカードアクセスランプが点滅していないことを確認する。

### 3 カメラから接続 USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルを抜く。





**4** **パソコンから USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルを抜く。**



**5** **カメラの電源を OFF にする。**

注意

- カメラの電源を OFF にする前に、必ずパソコン上で「ハードウェアの取り外し」を行ってください。「ハードウェアの取り外し」を行わないでカメラの電源を OFF にすると、画像データが失われる場合があります。
- 「ハードウェアの取り外し」を行った際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないことを確認し、USB/IEEE1394 (FireWire) ケーブルを外してください。

# OLYMPUS Viewer を自動起動する

自動起動を設定すると、カメラとパソコンを接続して電源を ON にしたとき、自動的に OLYMPUS Viewer を起動することができます。

- カメラの PC モード設定を［ストレージ］にする：
  ブラウズウィンドウと［取り込み］ダイアログが表示されます。

自動起動の設定は、環境設定で行います。「OLYMPUS Viewer の環境設定」P.126

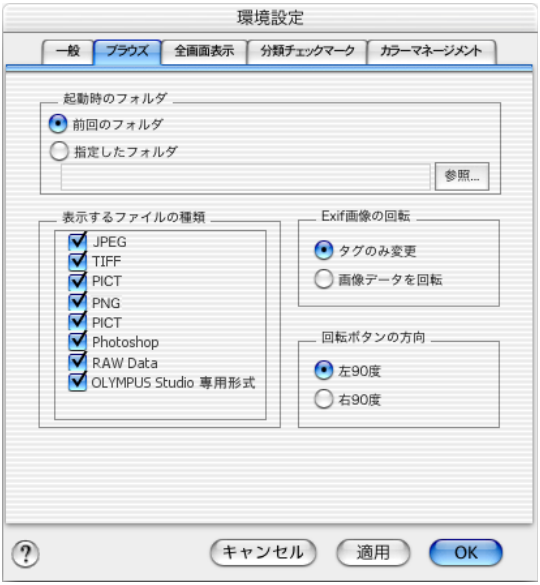
## 1 あらかじめ、OLYMPUS Viewer で自動起動を設定しておく。

すでに設定済みの場合は、この操作は必要ありません。

**1 ブラウズウィンドウで［ツール］メニューから［環境設定］を選択する。**

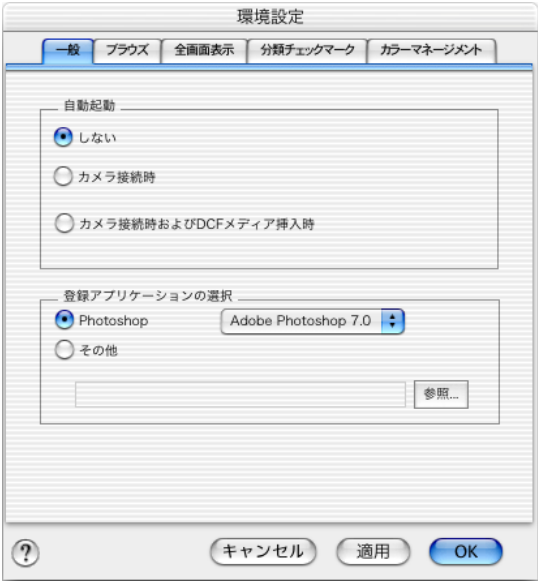
［環境設定］ダイアログが表示されます。

**［環境設定］ダイアログ**



**2 ［一般］タブをクリックする。**

**［環境設定］ダイアログ－［一般］タブ**




「［一般］タブを設定する」P.128

**3 ［自動起動］の［カメラ接続時］をクリックする。**

画像が保存されたメディアを、パソコンに挿入したときも OLYMPUS Viewer を自動起動したい場合は、［カメラ接続時および DCF メディア挿入時］を選択します。

**4 ［OK］ボタンをクリックする。**

自動起動が設定され、［環境設定］ダイアログが閉じます。

自動起動の設定後、OLYMPUS Viewer を終了します。

## 2 カメラの電源を ON にする。

## 3 カメラのモードを［ストレージ］に設定する。

## 4 USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルでパソコンとカメラを接続する。

「カメラとパソコンを接続する」P.10

OLYMPUS Viewer が起動し、ブラウズウィンドウが表示されます。

ヒント

- 自動起動の［カメラ接続時および DCF メディア挿入時］を選択すると、DCF (Design rule for Camera File system) 準拠で記録されたメディア（コンパクトフラッシュカードや xD ピクチャーカードなどの記録媒体）をパソコンに挿入したときも自動的に OLYMPUS Viewer が起動します。この場合は必ずブラウズウィンドウと［取り込み］ダイアログが表示されます。

注意

- 自動起動の初期設定は OFF に設定されています。ON に設定しないと、パソコンとカメラを接続して電源を入れても OLYMPUS Viewer は自動起動しません。
  Windows XP の場合、ストレージモードのカメラを接続したり、メディアを挿入すると、自動起動の設定に関わらず［自動再生］ダイアログが表示されます。一覧から［OLYMPUS Viewer］を選択して［OK］ボタンをクリックすると、ブラウズウィンドウが表示されます。
- Windows XP の場合、［カメラ接続時および DCF メディア挿入時］は淡色表示され、選択できません。
- カメラとパソコンの接続方法およびパソコンへのメディア挿入方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。
- カメラのモード設定方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

# ブラウズウィンドウ

## ブラウズウィンドウの起動と終了

ブラウズウィンドウでは、画像のパソコンへの取り込みや、取り込んだ画像の表示を行います。ここでは、ブラウズウィンドウの起動と終了方法について説明します。

### ● Macintosh

**起動する**

**1 OLYMPUS Viewer をインストールしたフォルダ内の［OLYMPUS Viewer］を開く。［OLYMPUS Viewer］アイコンをダブルクリックする。**
**または、デスクトップ上の［OLYMPUS Viewer］アイコンをダブルクリックする。**

ブラウズウィンドウが表示されます。

**終了する**

**1 ［ファイル］メニューから［終了］を選択する。**

Mac OS X の場合は、［OLYMPUS Viewer］メニューから［OLYMPUS Viewer を終了］を選択します。

### ● Windows

**起動する**

**1 タスクバーの［スタート］メニューから［プログラム－ OLYMPUS Viewer － OLYMPUS Viewer］を選択する。**
**または、デスクトップ上の［OLYMPUS Viewer］アイコンをダブルクリックする。**

ブラウズウィンドウが表示されます。

**終了する**

**1 ［ファイル］メニューから［終了］を選択する。**

ヒント

・ カメラをパソコンに接続したり、メディアをパソコンに挿入したときに、ブラウズウィンドウが自動的に起動するように設定することができます。
「OLYMPUS Viewer を自動起動する」P.16

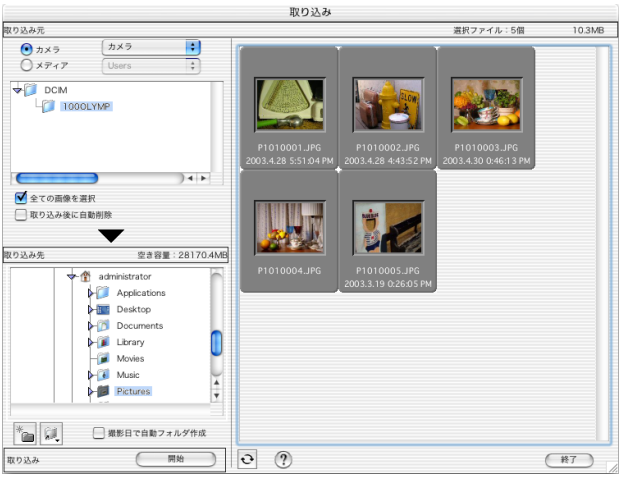
# 画像の取り込み

カメラまたはメディア内の画像をパソコンに取り込みます。画像の取り込みはブラウズウィンドウの［取り込み］ダイアログで行います。
ここでは、カメラから画像を取り込む場合とメディアから画像を取り込む場合について説明します。

## 取り込みダイアログについて

カメラから画像を取り込む場合も、メディアから画像を取り込む場合も、［取り込み］ダイアログで設定します。

**［取り込み］ダイアログ**




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **取り込み元** | |
| カメラ | 取り込み元を［カメラ］に指定します。複数のカメラを接続している場合は、右側のプルダウンリストから取り込み元のカメラ番号を選択します。 |
| メディア | 取り込み元を［メディア］に指定します。複数のメディアをパソコンに挿入している場合は、右側のプルダウンリストから取り込み元のメディアを選択します。 |
| フォルダツリー | 取り込み元のカメラまたはメディアのツリーが表示されます。画像の取り込み元を指定します。 |
| 全ての画像を選択 | チェックマークを付けると、サムネイル表示エリアに表示されているすべての画像が選択状態になります。 |

| | |
|---|---|
| 取り込み後に自動削除 | チェックマークを付けると、画像がパソコンに取り込まれた後、取り込み元の画像が自動的に削除されます。 |
| 画像枚数、ファイルサイズ表示 | サムネイル表示エリアで選択している画像の数とファイルサイズの合計が表示されます。 |
| サムネイル表示エリア | フォルダツリーで選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。 |
| **取り込み先** | |
| フォルダツリー | 取り込み先のツリーが表示されます。画像の取り込み先を選択します。 |
| [フォルダの新規作成] | フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。 |
| [ショートカット参照] | 登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。<br>「フォルダのショートカットを作成する」P.95 |
| 撮影日で自動フォルダ作成 | チェックマークを付けると、フォルダツリーで選択したフォルダ内に撮影日の名前のついたサブフォルダを自動的に作成して、撮影日別に取り込みます。 |
| **取り込み** | |
| [開始] | 画像の取り込みを開始します。 |
| [再読み込み] | 取り込み元のフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。 |
| [終了] | [取り込み] ダイアログを閉じます。 |

- カメラをパソコンに接続したときや、メディアをパソコンに挿入したときにブラウズウィンドウの [取り込み] ダイアログが自動的に起動するように設定することができます。「OLYMPUS Viewer を自動起動する」P.16

# カメラから取り込む

USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルでパソコンと接続したカメラから画像を取り込みます。接続できるカメラはオリンパス製のみです。

**カメラのモード操作およびカメラとパソコンの接続／取り外し方法については、「OLYMPUS Viewer の起動」をご覧ください。P.10**

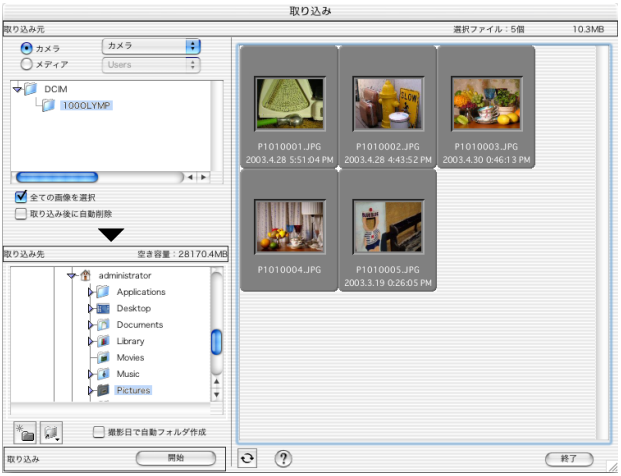
**1 カメラの電源を ON にし、カメラの PC モードを［ストレージ］に設定する。**

**2 USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルで、カメラとパソコンを接続する。**

**3 ブラウズウィンドウの［ツール］メニューから［画像の取り込み］を選択する。**
**または、ツールバーの［画像の取り込み］アイコンをクリックする。**

「画像の表示」P.28
［取り込み］ダイアログが表示されます。

**［取り込み］ダイアログ**




**4 ［取り込み元］から［カメラ］をクリックする。**

カメラを複数接続している場合は、プルダウンリストから取り込み元のカメラ番号（［カメラ# 1］、［カメラ# 2］、…）を選択します。

取り込み元のフォルダツリーに［DCIM］フォルダ内のサブフォルダの一覧が表示されます。

### 5 取り込み元のフォルダツリーから取り込む画像の入ったフォルダを選択する。

ウィンドウ右側のサムネイル表示エリアにフォルダ内の画像が一覧表示されます。

ヒント

- フォルダツリーで［DCIM］フォルダを選択すると、DCIM フォルダ内の全サブフォルダの内容が、サムネイル表示エリアに表示されます。

### 6 サムネイル表示エリアで取り込む画像を選択する。

［全ての画像を選択］にチェックマークを付けると、サムネイル表示エリアに表示されているすべての画像が選択されます。

複数の画像を同時に取り込むときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー

### 7 取り込み先のフォルダツリーから取り込み先のフォルダを選択する。

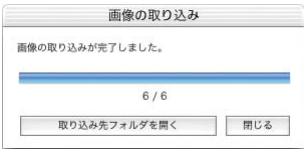
### 8 ［開始］ボタンをクリックする。

画像の取り込みが開始すると、［画像の取り込み］ダイアログが表示されます。

**［画像の取り込み］ダイアログ－取り込み中**

画像の取り込みが終了すると、以下のダイアログが表示されます。

**［画像の取り込み］ダイアログ－取り込み終了**




［取り込み先フォルダを開く］ボタンをクリックすると、［取り込み］ダイアログが閉じて、ブラウズウィンドウのサムネイル表示エリアに取り込んだフォルダ内の画像が表示されます。

注意

- 画像の取り込み中は、カメラの電源を切ったり、カメラのカードカバーを開けたり、接続ケーブルを外したりしないでください。カメラの故障やOLYMPUS Viewerの不具合の原因となります。
- カメラと通信中は、デバイスの取り付け／取り外しをしないでください。カメラの故障やOLYMPUS Viewerの不具合の原因となります。
- 取り込み先のフォルダに同名のファイルが存在する場合は、［上書き］ダイアログが表示されます。［上書き］ダイアログでは画像の取り込み方法を以下から選択します。

  ［スキップ］　：画像を取り込まずに次の画像から取り込みを続けます。
  ［上書き］　　：画像を取り込んで上書きします。
  ［連番を付加］：ファイル名の後ろに連番を付けて別名で取り込みます。
  ［全てに適用］：以降の同名ファイルに対して、選択した取り込み方法と同様の処理をして取り込みます。

ヒント

- オリンパス製のUSBおよびIEEE1394（FireWire）ストレージクラス対応のカメラを接続している場合は、［カメラ］と［メディア］のどちらも取り込み元として指定することができます。

# メディアから取り込む

メディアから画像をパソコンに取り込みます。

### 1 メディアをパソコンに挿入する。

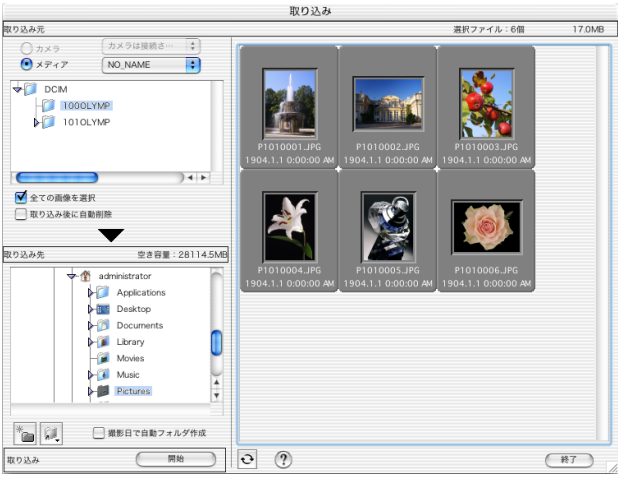
メディアの挿入方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

### 2 ブラウズウィンドウの［ツール］メニューから［画像の取り込み］を選択する。
### または、ツールバーの［画像の取り込み］アイコンをクリックする。

「画像の表示」P.28

［取り込み］ダイアログが表示されます。

**［取り込み］ダイアログ**




### 3 ［取り込み元］から［メディア］をクリックする。

複数のメディアを挿入している場合は、プルダウンリストから取り込み元のドライブ名を選択します。

プルダウンリストには、DCF (Design rule for Camera File system) 準拠で記録されたメディアが挿入されているドライブのみが表示されます。

### 4 取り込み元のフォルダツリーから取り込む画像の入ったフォルダを選択する。

ウィンドウ右側のサムネイル表示エリアにフォルダ内の画像が一覧表示されます。

### 5 サムネイル表示エリアで取り込む画像を選択する。

［全ての画像を選択］にチェックマークを付けると、サムネイル表示エリアに表示されているすべての画像が選択されます。

複数の画像を同時に取り込むときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー

### 6 取り込み先のフォルダツリーから取り込み先のフォルダを選択する。

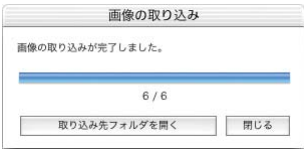
### 7 ［開始］ボタンをクリックする。

画像の取り込みが開始すると、［画像の取り込み］ダイアログが表示されます。

**［画像の取り込み］ダイアログ－取り込み中**

画像の取り込みが終了すると、以下のダイアログが表示されます。

**［画像の取り込み］ダイアログ－取り込み終了**




［取り込み先フォルダを開く］ボタンをクリックすると、［取り込み］ダイアログが閉じて、ブラウズウィンドウのサムネイル表示エリアに取り込んだフォルダ内の画像が表示されます。

*注意*

- 取り込み先のフォルダに同名のファイルが存在する場合は、［上書き］ダイアログが表示されます。［上書き］ダイアログでは画像の取り込み方法を以下から選択します。

  ［スキップ］　：画像を取り込まずに次の画像から取り込みを続けます。
  ［上書き］　　：画像を取り込んで上書きします。
  ［連番を付加］：ファイル名の後ろに連番を付けて別名で取り込みます。
  ［全てに適用］：以降の同名ファイルに対して、選択した取り込み方法と同様の処理をして取り込みます。

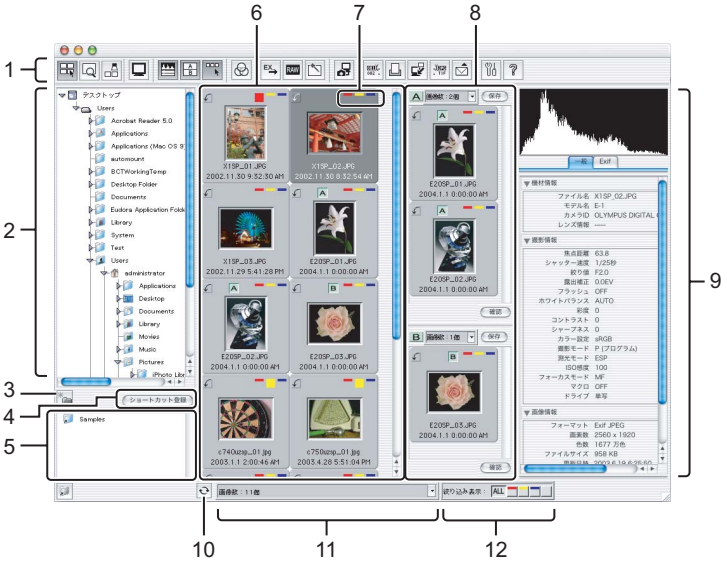
# 画像の表示

ブラウズウィンドウには「ブラウズモード」、「ビューモード」、「ライトボックスモード」の 3 種類の表示モードがあります。ブラウズウィンドウの起動時は、ブラウズモードで表示されます。
ここでは、表示モード別にブラウズウィンドウの各部名称とその機能について説明します。

## ブラウズモード

複数の画像の閲覧や管理に適した表示モードです。
フォルダツリーから表示したい画像が保存されているフォルダを選択すると、サムネイル一覧形式で画像が表示されます。サムネイル表示エリアで画像を選択すると、プロパティ領域に選択した画像の撮影情報や画像情報が表示されます。また、画像に分類チェックマークを付けてグループに分け、同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。

**ブラウズモード**



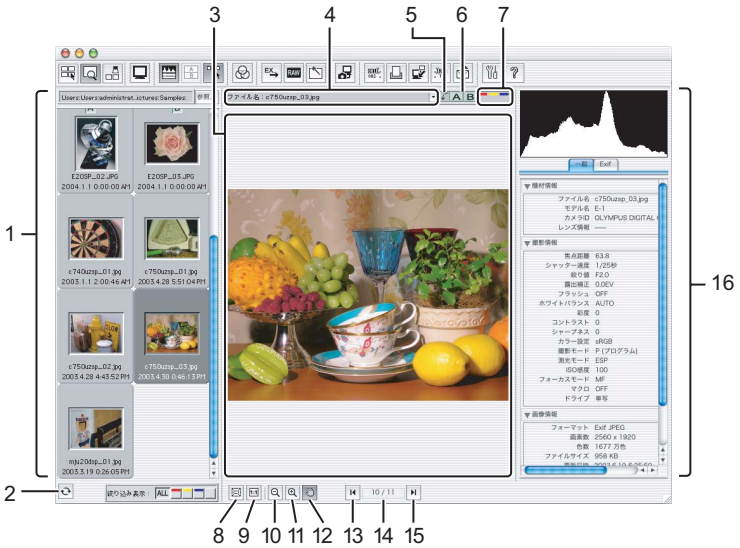
| 番号 | 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| — | メニューバー | ブラウズウィンドウで使用するメニューが表示されます。ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードとも共通です。 | P.146 |
| 1 | ツールバー *1 | 各ボタンで、表示モードの切り替えや印刷などを行います。ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードとも共通です。 | P.34 |
| 2 | フォルダツリー | パソコン上のドライブおよびフォルダがツリー表示されます。 | P.39 |
| 3 | ［フォルダの新規作成］ | フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。 | P.80 |
| 4 | ショートカット登録 | フォルダツリーに表示されているフォルダのショートカットを作成します。 | P.95 |
| 5 | ショートカット領域 *1 | ［ショートカット登録］ボタンで作成したショートカットが表示されます。 | P.95 |
| 6 | サムネイル表示エリア | フォルダツリーで選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。 | P.39 |
| 7 | 分類チェックマーク | ［赤］［黄］［青］のアイコンをクリックして、画像をグループに分けます。同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。 | P.48 |
| 8 | コレクション領域 *1 | サムネイル表示エリアから選択した画像を一時的に保存するための領域です。A と B のコレクション領域があり、コレクション領域別に画像を確認しながら振り分け、別のフォルダへまとめて保存することができます。 | P.52 |
| 9 | プロパティ領域 *2 | 画像のヒストグラム、シャッター速度などの撮影情報、撮影日時などの画像情報を表示します。 | P.68 |
| 10 | ［再読み込み］ | 選択しているフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。 | — |
| 11 | ステータスボックス | サムネイル表示エリアの画像に関する情報（画像数またはファイルサイズ）が表示されます。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。 | — |
| 12 | 絞り込みパレット *1 | 分類チェックマークにしたがってサムネイル表示エリアの画像の表示／非表示を切り替えます。チェックマークの組み合わせでいろいろなパターンの絞り込み表示ができます。 | P.50 |

*1 ［表示］メニューで表示／非表示の切り替えができます。
*2 ［ファイル］メニューで表示／非表示の切り替えができます。

# ビューモード

画像を拡大表示して細部を確認したいときに適した表示モードです。
単画像表示エリアにサムネイル表示エリアで選択した画像を表示します。

**ビューモード**




| 番号 | 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| 1 | サムネイル表示エリア | 選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。フォルダのパス名がエリア上部に表示されます。 | P.39 |
| 2 | [再読み込み] | 選択しているフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。 | — |
| 3 | 単画像表示エリア | サムネイル表示エリアで選択した画像が表示されます。 | — |
| 4 | ステータスボックス | 単画像表示エリアに表示されている画像に関する情報（ファイル名、撮影日時、表示位置、または表示倍率）が表示されます。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。 | — |
| 5 | 回転 | 画像を左または右方向に 90 度回転させます。 | P.46 |

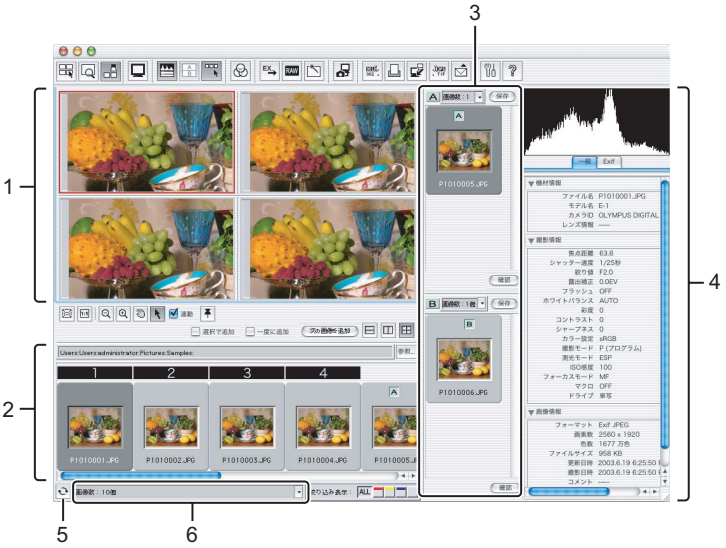
| | | | |
|---|---|---|---|
| 6 | コレクション<br>ボタン | [A] または [B] のコレクションボタンをクリックすると、それぞれのコレクション領域に画像が振り分けられます。コレクション領域は振り分けた画像を一時的に保存するための領域です。保存されている内容は、表示モードをブラウズモードかライトボックスモードにすると表示されます。 | P.53 |
| 7 | 分類チェック<br>マーク | [赤] [黄] [青] のアイコンをクリックして、画像をグループに分けます。同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。 | P.48 |
| 8 | 画面にフィット | 画像が単画像表示エリア全体に表示されるように表示倍率を自動調整して表示します。 | — |
| 9 | 実サイズで表示 | 画像の実際のサイズで単画像表示エリアに表示します。 | — |
| 10 | ズームアウト<br>モード | カーソルが虫眼鏡カーソル（−）に変わります。単画像表示エリアの画像上でクリックすると、縮小表示します。 | — |
| 11 | ズームインモード | カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に変わります。単画像表示エリアの画像上でクリックすると、拡大表示します。 | — |
| 12 | スクロールモード | カーソルが手のひらカーソルに変わります。単画像表示エリアの画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。 | — |
| 13 | 前の画像 | 単画像表示エリアに表示されている画像の一つ前の画像を表示します。サムネイル表示エリアの表示順に画像が切り替わります。 | — |
| 14 | 表示位置／フォルダ内の全画像数 | 単画像表示エリアに表示している画像がサムネイル表示エリアの表示順で何番目にあたるのかを示します。 | — |
| 15 | 次の画像 | 単画像表示エリアに表示されている画像の次の画像を表示します。サムネイル表示エリアの表示順に画像が切り替わります。 | — |
| 16 | プロパティ領域 *1 | 画像のヒストグラム、シャッター速度などの撮影情報、撮影日時などの画像情報が表示されます。 | P.68 |

*1 [ファイル] メニューで表示／非表示の切り替えができます。

# ライトボックスモード

複数の類似画像の比較や選定に便利な表示モードです。
画像比較エリアに比較したい画像を並べて表示したり、選定した画像をコレクション領域に振り分けたりすることができます。

**ライトボックスモード**




| 番号 | 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| 1 | 画像比較エリア | サムネイル表示エリアの画像をドラッグ＆ドロップし登録して表示します。複数の画像を比較するときに使用します。画面表示を 2 分割、または 4 分割から選択することができます。 | P.60 |
| 2 | サムネイル表示エリア | 選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。フォルダのパス名がエリア上部に表示されます。 | P.39 |
| 3 | コレクション領域 | サムネイル表示エリアや画像比較エリアから選択した画像を一時的に保存するための領域です。A と B のコレクション領域があり、コレクション領域別に画像を確認しながら振り分け、別のフォルダへまとめて保存することができます。 | P.52 |
| 4 | プロパティ領域 *1 | 画像のヒストグラム、シャッター速度などの撮影情報、撮影日時などの画像情報が表示されます。 | P.68 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5 | ［再読み込み］ | 選択しているフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。 | — |
| 6 | ステータスボックス | サムネイル表示エリアの画像に関する情報（画像数またはファイルサイズ）が表示されます。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。 | — |

*1［ファイル］メニューで表示／非表示の切り替えができます。

# ツールバーの機能

ツールバーの各ボタンの機能について説明します。機能の詳細については各参照ページをご覧ください。

**ツールバー**

| ボタン | 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| | ブラウズモード | 表示モードをブラウズモードに切り替えます。 | P.28 |
| | ビューモード | 表示モードをビューモードに切り替えます。 | P.30 |
| | ライトボックスモード | 表示モードをライトボックスモードに切り替えます。 | P.32 |
| | 全画面表示／スライドショー | 選択した画像を画面全体に表示します。選択したフォルダ内の画像を順に 1 枚ずつ再生します。 | P.41、44 |
| | プロパティ | 選択した画像のヒストグラムや撮影情報の表示／非表示を切り替えます。 | P.68 |
| | コレクション領域を表示 | A と B のコレクション領域の表示／非表示を切り替えます。 | P.52 |
| | 分類チェックマーク絞り込み表示 | 絞り込み表示を切り替えるための絞り込みパレットとサムネイル枠の分類チェックマークの表示／非表示を切り替えます。 | P.50 |
| | 登録アプリケーションを起動 | 環境設定で指定したアプリケーションソフトを起動します。 | P.79 |
| | RAW 現像 | RAW データの現像処理を行います。 | P.74 |
| | 名前の一括変更 | 複数の画像の名前を命名規則にしたがって一括変更します。 | P.84 |
| | 印刷 | 選択した画像を印刷します。 | P.100 |
| | 画像の取り込み | カメラまたはメディアからパソコンに画像を取り込みます。 | P.20 |
| | フォーマット変換 | 画像の保存形式を変換して保存します。 | P.92 |
| | E-mail 送信 | 選択した画像をサイズ変更して E-mail に添付します。 | P.117 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 環境設定 | 分類チェックマークのカスタマイズやカラーマネージメントの設定などを行います。 | P.126 |
| | ヘルプ | オンラインヘルプを表示します。 | P.150 |

ヒント

- ツールバー上のボタンを削除したり、アイコンのサイズを変更することができます。

1 ［ツール］メニューから［ツールバーのカスタマイズ］を選択する。
［ツールバーの変更］ダイアログが表示されます。

2 ツールバーボタンを追加または削除する。
追加する場合は、［利用できるツールバーボタン］欄から追加するボタンを選択し、［追加］ボタンをクリックします。削除する場合は、［現在のツールバーボタン］欄から削除するボタンを選択し、［削除］ボタンをクリックします。［上へ］［下へ］ボタンでボタンの並びを変更することができます。

3 アイコンの大きさを変更する。
［アイコンのオプション］のプルダウンリストから［大きいアイコン］または［小さいアイコン］を選択します。

4 操作が終了したら、［閉じる］ボタンをクリックする。

# 表示モードの切り替え

ブラウズウィンドウの表示モードを切り替えます。画像の閲覧、選別、比較などの目的に応じて表示モードを切り替えます。

**1 [表示] メニューから [ブラウズモード] / [ビューモード] / [ライトボックスモード] を選択する。**
**または、ツールバーの [ブラウズモード] / [ビューモード] / [ライトボックスモード] アイコンをクリックする。**

ヒント

- ブラウズモードでサムネイル表示エリアの画像をダブルクリックすると、ビューモードに切り替わります。ビューモードで単画像表示エリアの画像をダブルクリックすると、ブラウズモードに切り替わります。
- 画像を画面全体に表示することもできます。「全画面表示する」P.41

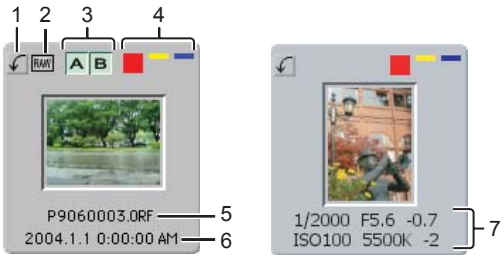
# サムネイル表示エリアの操作

ブラウズウィンドウのブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードのいずれのモードでも、サムネイル表示エリアが表示されます。
ここでは、サムネイル表示エリアの操作について説明します。

## サムネイル枠

サムネイル表示エリアで縮小表示される画像をサムネイル画像と呼びます。サムネイル画像はサムネイル枠の中にそれぞれ表示されます。サムネイル枠の中には縮小された画像だけでなく、ファイル名や撮影日時などの画像情報も表示されます。また、画像の回転や分類チェックマークの付加などの操作を行うこともできます。

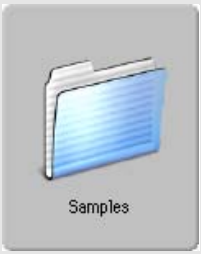
**サムネイル枠**




| 番号 | 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| 1 | 回転ボタン | クリックすると、画像が矢印の方向に回転します。[Shift] キーを押しながらクリックすると、逆方向に回転します。 | P.46 |
| 2 | RAW アイコン | 画像が RAW データのときに表示されます。 | — |
| 3 | コレクションアイコン | 画像がコレクション領域に登録されているときに表示されます。 | P.54 |
| 4 | 分類チェックマーク | 分類チェックマークを付けます。 | P.48 |
| 5 | ファイル名 | ファイル名を表示します。 | P.39 |
| 6 | 撮影日時 | 撮影日時を表示します。 | P.39 |
| 7 | 撮影情報 | シャッター速度、絞り値、露出補正、ISO、ホワイトバランス、ホワイトバランス補正の撮影情報を表示します。 | P.39 |

ヒント

- 選択したフォルダの中にさらにフォルダがある場合は、サムネイル枠にサブフォルダアイコンが表示されます。サブフォルダアイコンは表示／非表示を切り替えることができます。
「サムネイル枠の表示項目を設定する」P.39



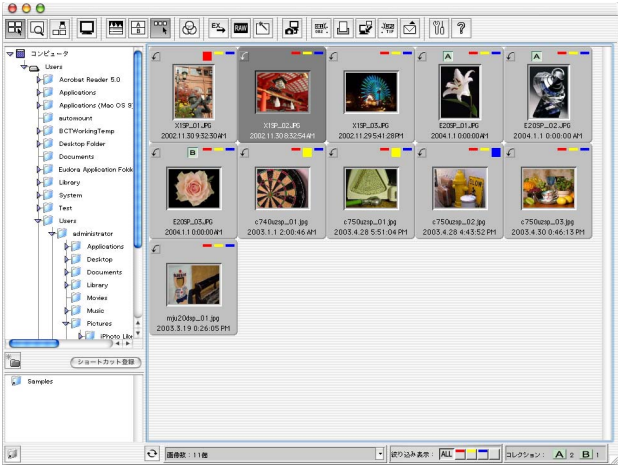
サブフォルダ
アイコン

# サムネイル一覧を表示する

**1　ブラウズモードでフォルダツリーからフォルダを選択する。**

サムネイル表示エリアに選択したフォルダ内の画像が一覧表示されます。

**ブラウズウィンドウ（ブラウズモード）**



# サムネイル枠の表示項目を設定する

ファイル名、撮影日時、撮影情報、回転ボタン、RAW アイコン、分類チェックマーク、フォルダが表示できます。ファイル名、撮影日時と撮影情報を同時に表示することはできません。

**1　［表示］メニューの［サムネイル一覧の表示項目］から表示させたい項目にチェックマークを付ける。**

## サムネイルの表示順を設定する

ファイル名、撮影日時、分類チェックマーク、またはフォーマットのいずれかの順にサムネイルを表示することができます。さらに、昇順と降順を入れ替えることもできます。

**1** **［表示］メニューの［並べ替え］から表示順を選択する。**

**2** **［表示］メニューの［並べ替え］から［昇順］または［降順］を選択する。**

ヒント

- 撮影日時順、分類チェックマーク順、またはフォーマット順のいずれかを選択した場合で、撮影日時、分類チェックマーク、またはフォーマットが同じ画像が複数ある場合は、ファイル名で並び順が決められます。



## サムネイルの表示サイズを設定する

表示サイズは最小（80 × 80 ピクセル）、小（120 × 120 ピクセル）、中（160 × 160 ピクセル）、大（200 × 200 ピクセル）、最大（240 × 240 ピクセル）の 5 種類から選択できます。

**1** **［表示］メニューの［サムネイル表示サイズ］から表示サイズを選択する。**

# 全画面表示／スライドショー表示

ブラウズウィンドウのブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードで画像を全画面表示、スライドショー、マルチモニタで表示する操作について説明します。

## 全画面表示する

選択した画像を画面全体に表示します。ツールパレットが表示されますので、ツールパレットのボタン操作で画像の削除、拡大、分類チェックマークを付けるなどの操作を行うことができます。

**1** **［表示］メニューから［全画面表示／スライドショー］を選択する。または、ツールバーの［全画面表示／スライドショー］アイコンをクリックする。**

全画面表示する画像をサムネイル表示エリア、単画像表示エリア、コレクション領域から選択し、メニューまたはアイコンを選択します。

画像が画面全体に表示されます。

**全画面表示**

### その他の操作で全画面表示するには

次の操作で全画面表示することもできます。

- サムネイル表示エリア、単画像表示エリア、コレクション領域で画像を選択して、［Shift］キーを押しながらダブルクリックする。
- サムネイル表示エリア、単画像表示エリア、コレクション領域で画像を選択して、［Shift］キーを押しながら［Enter］キーを押す。
- 画像比較エリアで、画像をダブルクリックする。

### 全画面表示を解除するには

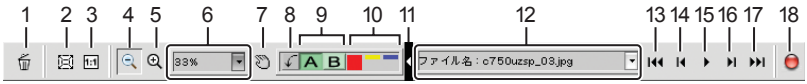
次の操作で全画面表示を解除します。

- ［Esc］キーを押す。
- 画像をダブルクリックする。



## ツールパレット

### ツールパレット




| 番号 | 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| 1 | 削除 | 画像を削除します。 | — |
| 2 | 画面にフィット | 画像全体が画面に表示されるように表示倍率を自動調整して表示します。 | — |
| 3 | 実サイズで表示 | 画像の実際のサイズで表示します。 | — |
| 4 | ズームアウトモード | カーソルが虫眼鏡カーソル（−）に変わります。画像上でクリックすると、縮小表示します。 | — |
| 5 | ズームインモード | カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に変わります。画像上でクリックすると、拡大表示します。 | — |
| 6 | 表示倍率 | 現在の表示倍率が表示されます。プルダウンリストから表示倍率を選択して、画像を拡大表示したり、縮小表示したりできます。 | — |
| 7 | スクロールモード | カーソルが手のひらカーソルに変わります。画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。 | — |
| 8 | 回転 | 画像を左または右方向に 90 度回転させます。 | P.46 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9 | コレクション ボタン | 単画像表示エリアに表示されている画像をコレクション領域に画像を振り分けます。 | P.53 |
| 10 | 分類チェック マーク | ［赤］［黄］［青］のアイコンをクリックして、画像をグループに分けます。同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。 | P.48 |
| 11 | ツールパレット全体表示 | ツールパレットの全体を表示したり、一部を非表示にしたりします。 | — |
| 12 | ステータス ボックス | 全画面表示されている画像に関する情報（ファイル名、撮影日時、表示位置、または表示倍率）を表示します。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。 | — |
| 13 | 最初の画像 | サムネイル表示エリアの表示順で、最初に表示されている画像を表示します。 | — |
| 14 | 前の画像 | サムネイル表示エリアの表示順で、表示されている画像の一つ前の画像を表示します。 | — |
| 15 | スライドショー | 選択したフォルダ内の画像を一定間隔で順に再生します。 | P.44 |
| 16 | 次の画像 | サムネイル表示エリアの表示順で、表示されている画像の次の画像を表示します。 | — |
| 17 | 最後の画像 | サムネイル表示エリアの表示順で、最後に表示されている画像を表示します。 | — |
| 18 | ツールパレットを隠す | ツールパレットを閉じます。 | — |

**注意**

- コレクション領域の画像を全画面表示しているときは、画像の削除はできません。
- 画像比較エリアの画像を全画面表示しているときは、［前の画像］［次の画像］ボタンなどを操作して前後の画像を表示することはできません。

**ヒント**

- 全画面表示中に画面をクリック（Macintosh の場合は［Control］キーを押しながらクリック、Windows の場合は右クリック）すると、メニューが表示されます。メニューでは、ツールパレットと同様の操作ができます。
- マルチモニタの設定をしているときは、ブラウズモードでサムネイル表示エリアの画像をダブルクリックすると、別のモニタに選択した画像が全画面表示されます。「マルチモニタで表示する」P.45
- 画像と画面の間にできる余白の有無と余白部分の色を設定することができます。「［全画面表示］タブを設定する」P.132

# スライドショーを表示する

全画面表示中の画像と同一フォルダ内の画像を一定間隔で順に再生します。再生の間隔は 5 秒（初期設定）です。

### 1 画像を全画面表示する。

「全画面表示する」P.41

### 2 ツールパレットの［スライドショー］アイコンをクリックする。

スライドショーが開始されます。

［スライドショー］アイコンが［一時停止］アイコンに自動的に変わります。

**スライドショーを停止するには**

スライドショー中に、ツールパレットの［一時停止］アイコンをクリックすると、スライドショーが停止します。

**注意**

- 画像比較エリアの画像は、スライドショーをすることができません。
- スライドショーを行っている間は、ツールパレットの一部の機能は使えません。

**ヒント**

- 再生の間隔を変更することができます。「［全画面表示］タブを設定する」P.132
- 最後の画像を表示した後に最初の画像に戻って再生を続ける（ループ再生）ことができます。「［全画面表示］タブを設定する」P.132

# マルチモニタで表示する

複数のモニタを使用している場合に、別のモニタに対して全画面表示を行うことができます。マルチモニタの設定は環境設定で行います。
「[全画面表示] タブを設定する」P.132

以下の操作を行ったときに、マルチモニタに画像が全画面表示されます。
- ブラウズモードのサムネイル表示エリアで画像を選択して、全画面表示させたとき
- ビューモードで単画像表示エリアに画像を表示させたとき

- マルチモニタに設定している場合、マルチモニタに表示されるツールパレットの一部の機能は使えません。この場合、OLYMPUS Viewer を起動しているモニタ（メインモニタ）で操作してください。

# 画像の回転

サムネイル枠の［回転］ボタンまたはメニューバーの［画像の回転］を選択して、画像を回転します。

ヒント

**JPEG 画像のロスレス回転について**

- OLYMPUS Viewer では、JPEG の画像データを再圧縮することなく回転することができます。これを、ロスレス回転といいます。JPEG は、不可逆圧縮方式（圧縮時にデータが劣化する）のため、一度圧縮した画像を回転し、保存しただけで画像中に JPEG 特有のノイズがのってしまいます。ロスレス回転では、このような再圧縮処理を行わず JPEG を回転させることが可能です。ただし、画像の幅および高さが 8 の倍数でない JPEG の画像データを回転させたときは、ロスレス回転がすぐに実行されずに、処理方法を選択するためのダイアログが表示されます。ダイアログでは、画像をトリミングしてロスレス回転を実行するか、画像をトリミングしないで通常の回転を実行するか、を選択します。

## 1 サムネイル表示エリアで回転する画像を選択する。

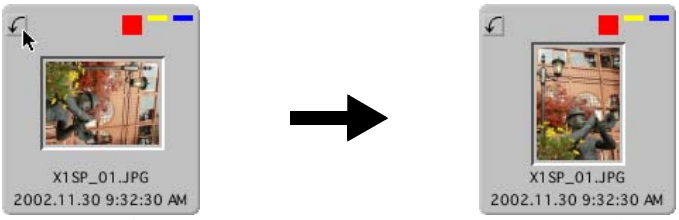
複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー

## 2 ［編集］メニューの［画像の回転］から［右 90 度］［左 90 度］［180 度］を選択する。または、サムネイル枠の［回転］ボタンを繰り返しクリックする。

選択した画像が指定した方向に回転します。

**サムネイル枠**




クリックする　　回転します

注意

- RAW 画像ファイルの場合は、回転の操作を行うと表示は回転しますが、画像データ自体は変更されず、回転の情報を画像情報として記録します。

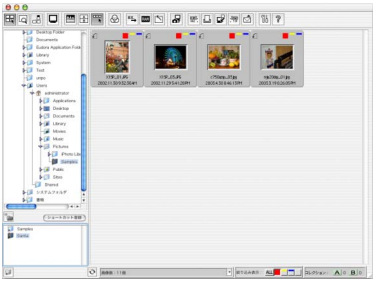
ヒント

- サムネイル枠の［回転］ボタンをクリックして画像を回転させると、左方向に 90 度回転します。［回転］ボタンの動作を「左 90 度」から「右 90 度」に変更することができます。「［ブラウズ］タブを設定する」P.130
- ［Shift］キーを押しながら［回転］ボタンをクリックすると、逆方向に回転します。
- Exif 画像を回転させる場合は、画像情報のみを変更し画像データ自体は回転させないか、画像データ自体も回転させるかを設定することができます。「［ブラウズ］タブを設定する」P.130

# 分類チェックマークを使う

一つ一つの画像に対して分類チェックマーク機能を利用すると、3 つのカテゴリーに分類することができます。
分類した画像はブラウズウィンドウのすべての表示モードでサムネイル表示エリアにカテゴリー別に表示することができます。

• 分類マークを付ける



• 分類チェックマークごとに絞り込み表示する



## 分類チェックマークを付ける

分類チェックマークは、サムネイル枠の右上に表示されています。分類チェックマークの初期設定は赤、黄、青の 3 色のアイコンが用意されています。3 色のアイコンのいずれかをクリックすると、画像に分類チェックマークが付いた（分類された）状態になります。

### *1* サムネイル枠の分類チェックマークをクリックする。

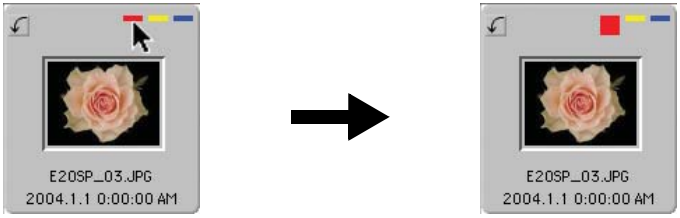
3 色のアイコンのいずれかをクリックします。

[1]、[2]、[3] の各キーを押して、分類チェックマークを付けることもできます。

複数の画像を選択した状態で分類チェックマークを付けると、すべての画像に同じ分類チェックマークが付きます。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー




クリックする　　分類された状態

**注意**

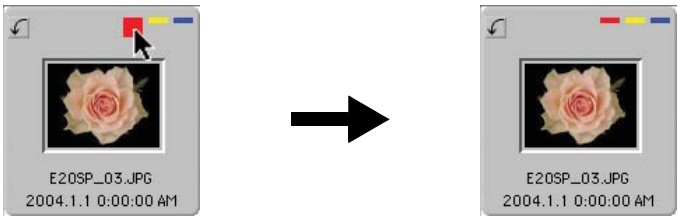
- サムネイル枠に分類チェックマークが表示されていないときは、［表示］メニューから［サムネイル一覧の表示項目－分類チェックマーク］を選択します。「サムネイル枠の表示項目を設定する」P.39
- 1 つの画像に付けられる分類チェックマークは 1 種類です。
- 書き込み禁止のメディア（CD-ROM など）の画像に対して、分類チェックマークを付けたり、チェックマークの状態を変更することはできません。

**ヒント**

- 単画像表示エリアでは、単画像表示している画像に対してエリア右上の分類チェックマークアイコンを使って分類チェックマークを付けることができます。「ビューモード」P.30
- 全画面表示のツールパレットからも、分類チェックマークを付けることができます。「全画面表示する」P.41

## 分類チェックマークを解除する

### *1* 分類された状態の分類チェックマークをクリックする。




分類された状態　　解除されます

**注意**

**分類チェックマークのデータファイルについて**

- 分類チェックマークの情報は、「データファイル」に記憶されます。データファイルは、分類チェックマークを付けると自動的に作成され、チェックマークを付けた画像のあるフォルダ内に保存されます。
- 他のアプリケーションソフトで分類チェックマークのデータファイルを削除すると、分類チェックマークが画像から消えてしまいますのでご注意ください。

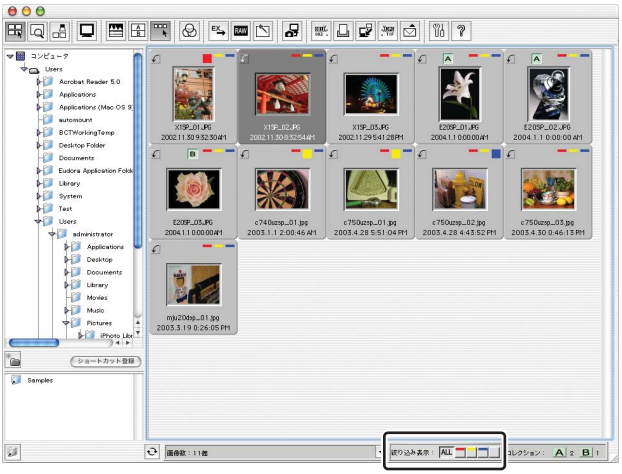
**ヒント**

- 分類チェックマークのアイコンを、お好きな色や記号にカスタマイズすることができます。「［分類チェックマーク］タブを設定する」P.135
- 分類チェックマークを記憶するデータファイルを一括削除することができます。「［分類チェックマーク］タブを設定する」P.135

# 絞り込み表示する

絞り込みパレットを使って、サムネイル表示エリアに分類チェックマークの種類別に画像を表示します。絞り込みパレットを使うと、分類チェックマークごとの画像の表示切り替えが簡単にできます。

**1　［表示］メニューから［分類チェックマーク絞り込み表示－絞り込みパレットを表示］を選択する。**
**または、ツールバーの［分類チェックマーク絞り込み表示］アイコンをクリックする。**



絞り込みパレットがウィンドウ下部に表示されます。

**2　絞り込みパレットを操作して、サムネイル表示エリアの表示を切り替える。**

**絞り込みパレット**

［ALL］：フォルダ内のすべての画像を表示します。
［赤］　：［赤］の分類チェックマークを付けた画像のみを表示します。
［黄］　：［黄］の分類チェックマークを付けた画像のみを表示します。
［青］　：［青］の分類チェックマークを付けた画像のみを表示します。
［無し］：分類チェックマークの付いていない画像のみを表示します。

ヒント

- 絞り込みパレットでは、複数の選択を組み合わせて表示を切り替えることができます。［赤］と［青］を選択した場合、［赤］と［青］のどちらかの分類チェックマークが付いた画像がサムネイル表示エリアに表示されます。
- 絞り込みパレットの［赤］、［黄］、［青］、［無し］のすべてを選択すると、自動的に［ALL］が選択状態になり、サムネイル表示エリアにフォルダ内のすべての画像が表示されます。

# コレクション領域を使う

ブラウズウィンドウには、サムネイル表示エリアの画像を一時的に保存しておくコレクション領域があります。A と B の 2 つのコレクション領域を利用して、画像の振り分け・整理などを行います。
コレクション領域は、仮の領域です。画像をコレクション領域に振り分けただけでは、画像の保存場所は変わりません。画像を振り分けた後、現在の保存場所とは別のフォルダにコレクション別に保存したい場合は、画像を移動したり、コピーすることができます。
コレクション領域は、表示モードによって表示方法および形式が異なります。

**1 サムネイル表示エリアで画像を選択し、コレクション領域 A、B に振り分ける。**

「画像を振り分ける」P.54

**2 コレクション領域 A、B それぞれに振り分けられた画像を確認する。**

「確認する」P.56

**3 確認した画像を別フォルダにコピーまたは移動する。**

「保存する」P.58

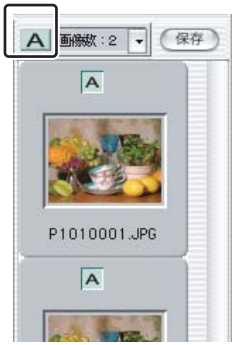
## ●ブラウズモードでコレクション領域を使う

［表示］メニューから［コレクション領域を表示］を選択するか、ツールバーの［コレクション領域を表示］アイコンをクリックすると、コレクション領域が表示されます。コレクション領域が非表示のときは、ウィンドウの下部にあるコレクションボタンを使って画像の振り分けを行うことができます。

- **コレクション領域を表示**

**コレクション領域**

**コレクションボタン**




- **コレクション領域を非表示**

**コレクションボタン**

## ●ビューモードでコレクション領域を使う

ビューモードにはコレクション領域はありません。単画像表示エリアの右上にあるコレクションボタンをクリックして、画像の振り分けを行います。

**コレクションボタン**

## ●ライトボックスモードでコレクション領域を使う

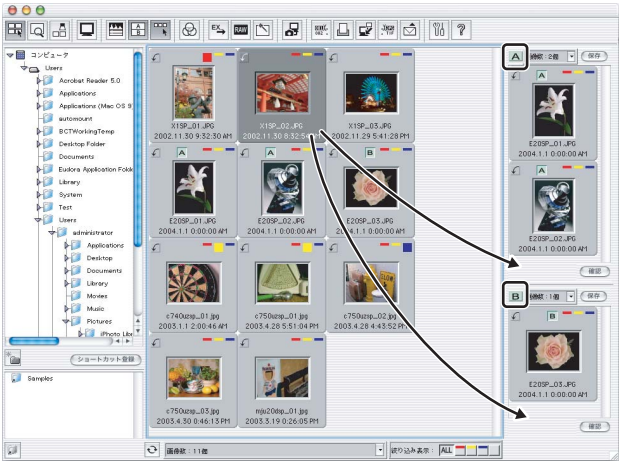
ブラウズモードと同じコレクション領域が表示されます。ただし、コレクション領域を非表示にすることはできません。

# 画像を振り分ける

サムネイル表示エリアの画像をコレクション領域に振り分けます。

**1　サムネイル表示エリアの画像をコレクション領域へドラッグ＆ドロップする。**
**または、サムネイル表示エリアで画像を選択して、［A］または［B］のコレクションボタンをクリックする。**

**コレクション領域**

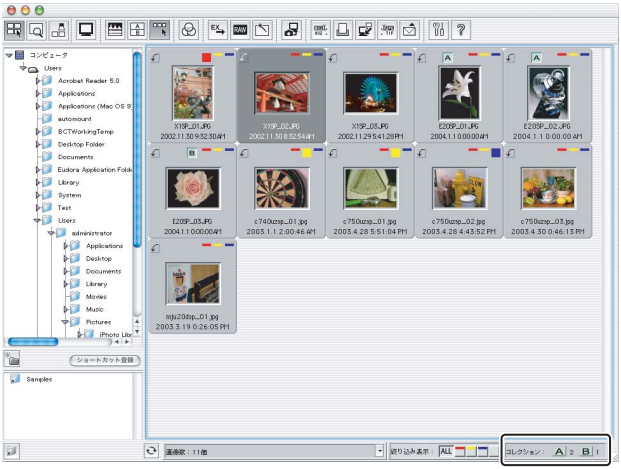


サムネイル枠にコレクションアイコンが表示されます。

**サムネイル枠**

コレクション領域非表示時でも、ボタンによる振り分けが可能です。［A］または［B］のコレクションボタンをクリックするか、ボタン横のファイル数が表示されている場所に画像をドラッグ＆ドロップします。

**コレクション領域非表示**



## 画像の振り分けを解除する

コレクション領域で解除する画像を選択し、以下のいずれかの操作を行います。

- サムネイル表示エリアにドラッグ＆ドロップする。
- ［ファイル］メニューから［削除］を選択する。
- ［Delete］キーを押す。

**注意**

- ブラウズウィンドウを終了すると、コレクション領域に振り分けた結果は保持されません。次回起動したとき、前回振り分けた結果は表示されません。

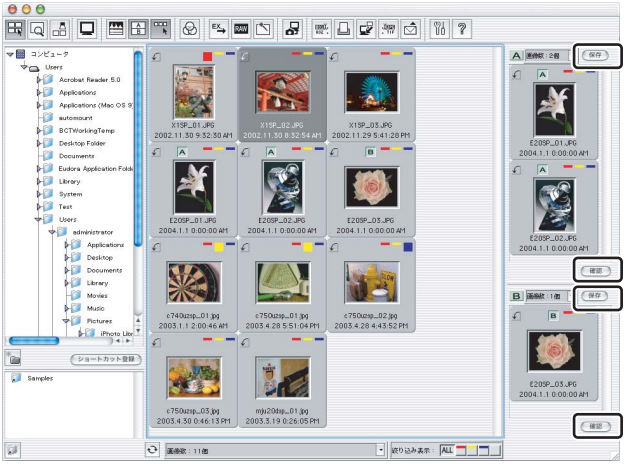
**ヒント**

- AとBのコレクション領域間で画像をドラッグ＆ドロップして、画像を移動することができます。Macintosh では［Option］キーを押しながら、Windows では［Ctrl］キーを押しながらコレクション領域間でドラッグ＆ドロップすると、画像はコピーされます。
- 1つの画像をAとB両方のコレクション領域に振り分けることができます。

# 振り分けた画像の確認と保存

コレクション領域へ登録した画像は、一覧表示して確認することができます。また必要に応じて、コレクションごとにまとめて現在のフォルダとは別フォルダにコピーまたは移動することもできます。
画像の確認と保存は、コレクション領域で行います。コレクション領域が非表示のときや、ビューモードでは、確認と保存の操作はできません。

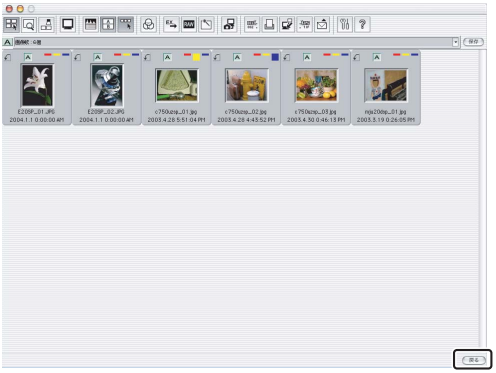
**コレクション領域**



## ●確認する

### *1* コレクション領域の［確認］ボタンをクリックする。

登録した画像がサムネイル一覧表示されます。
ウィンドウ右下の［戻る］ボタンをクリックすると、元の表示モードに戻ります。

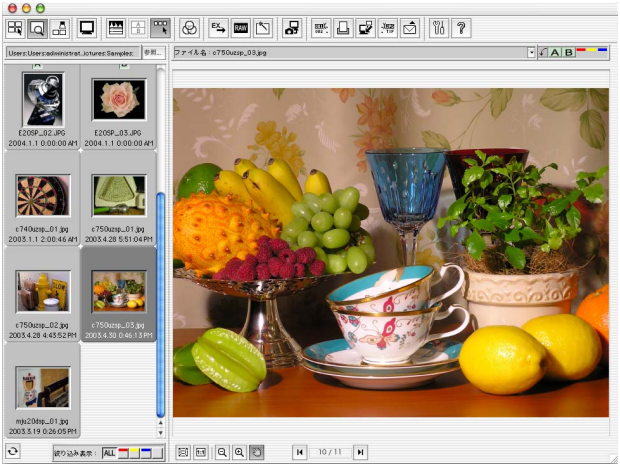


**2　拡大表示して確認したい画像のサムネイルをダブルクリックする。**

コレクションビューモードが表示されます。

単画像表示エリアをダブルクリックするか、［Esc］キーを押すと、元の表示モードに戻ります。

**コレクションビューモード**



ヒント

**コレクションビューモードについて**

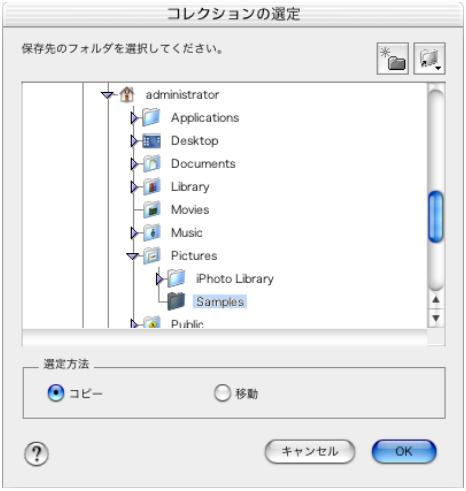
- ビューモードと同様の画面で、コレクション領域に登録されている画像を表示します。画像を拡大表示して、細部を確認することができます。
「ビューモード」P.30

## ●保存する

### 1 コレクション領域の［保存］ボタンをクリックする。

［コレクションの選定］ダイアログが表示されます。

**［コレクションの選定］ダイアログ**




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 場所 | 選択したファイルの保存先を指定します。 |
| ［ショートカット参照］ | 登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。「フォルダのショートカットを作成する」P.95 |
| フォルダツリー | 保存先のフォルダを選択します。 |
| ［新規フォルダ］ | 選択したファイルの保存先として、フォルダを新規作成する場合にクリックします。フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。 |
| 選定方法 | 画像の保存方法を［コピー］、または［移動］から選択します。［移動］を選択すると元の保存先から削除されますので、注意してください。 |
| ［キャンセル］ | コレクションの選定を取り消します。 |
| ［OK］ | 画像をフォルダツリーで選択したフォルダにコピー、または移動します。 |

### 2 保存先のフォルダを選択する。

フォルダを新規作成することができます。[新規フォルダ] ボタンをクリックすると、選択したドライブまたはフォルダ内に新規でサブフォルダを作成します。

### 3 選定方法を選択する。

［コピー］または［移動］のボタンをクリックします。

### 4 ［OK］ボタンをクリックする。

選択したフォルダまたは新規作成したサブフォルダにコレクション領域の画像が保存されます。

*注意*

- AとB両方のコレクション領域に登録されている画像に対しては、手順3で［移動］を選択してもコピーが実行されます。
- 読み取り専用のメディア内の画像ファイルに対して［移動］を選択すると、確認のメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、移動ではなくコピーが実行されます。
- コレクション領域に振り分けた画像を保存せずにブラウズウィンドウを終了すると、警告メッセージが表示されて振り分けた結果は失われます。

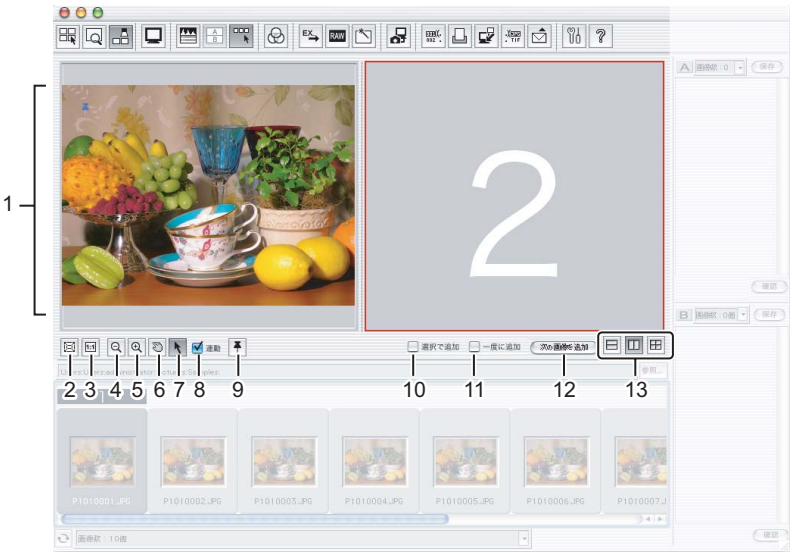
# 画像比較エリアを使う

画像比較エリアでは、サムネイル表示エリアから選択した画像を並べて表示することができます。画像を比較・吟味して複数枚の候補からベストショットを選び出すのに便利な機能です。
画像比較エリアは、表示モードをライトボックスモードに切り替えて使用します。
「表示モードの切り替え」P.36

## 画像比較エリアについて

画像比較エリアの各部名称と機能について説明します。

**ライトボックスモード**




表示レイアウトが横 2 分割の場合

| 番号 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 画像比較エリア | サムネイル表示エリアの画像を登録して表示し、複数の画像の比較を行います。画像比較エリアの番号が表示され、表示レイアウトが 2 分割の時は 1、2 が、4 分割の時は 1、2、3、4 が表示されます。表示レイアウトは［表示レイアウト切り替え］ボタンで変更することができます。 |
| 2 | 画面にフィット | 画像全体が画像比較エリアに表示されるように画像の表示倍率を自動調整して表示します。 |
| 3 | 実サイズで表示 | 画像の実際のサイズで表示します。 |
| 4 | ズームアウトモード | カーソルが虫眼鏡カーソル（−）に変わります。画像上でクリックすると、縮小表示します。 |
| 5 | ズームインモード | カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に変わります。画像上でクリックすると、拡大表示します。 |
| 6 | スクロールモード | カーソルが手のひらカーソルに変わります。画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。［Shift］キーを押しながらカーソルを動かすと、一時的にポインタツールに切り替わります。 |
| 7 | ポインタツール | 画像を選択したり、コレクション領域へドラッグ＆ドロップするときに使用します。 |
| 8 | 連動 | チェックマークを付けると、画像比較エリアの 1 画像に対して行った操作（ズームイン、スクロールなど）が、画像比較エリアの他の画像にも連動して適用されます。ただし、各比較領域の現在のスクロール位置は、チェックマークを付けても変化しません。同じ構図で設定値のみを変えて撮影した複数の画像を比較したい場合、画像比較エリアにそれらの画像を表示して、画像のある部分を同時に拡大して比較する、というような使い方ができます。［Shift］キーを押しながら操作すると、一時的に連動機能がオフになります。 |
| 9 | 画鋲 | 比較して気に入った画像や比較の対象になる画像を、画像比較エリアに保持しておくことができます。［画鋲］ボタンをクリックすると、画像比較エリアに［画鋲］アイコンが表示されます。この画像比較エリアには、他の画像を登録することができません。［画鋲］ボタンを再度クリックする、または［画鋲］アイコンをクリックすると、画鋲は外れます。 |
| 10 | 選択で追加 | チェックマークを付けると、サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）するだけで画像比較エリアに登録されます。 |
| 11 | 一度に追加 | チェックマークを付けると、1 つの画像を選択するだけで画鋲アイコンが表示されていない比較エリアに複数の画像が自動的に登録されます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 12 | [次の画像を追加] | サムネイル表示エリアで選択している画像の次の画像が画像比較エリアに登録されます。 |
| 13 | [表示レイアウト切り替え] | 画像比較エリアのレイアウトを 縦 2 分割、横 2 分割、4 分割にそれぞれ切り替えます。 |

# 画像比較エリアに画像を表示する

画像比較エリアにサムネイル表示エリアの画像を登録し、表示させます。
登録方法は以下の 5 通りがあります。

- 画像をドラッグ & ドロップ
- 画像をダブルクリック
- ［選択で追加］チェックボックス
- ［一度に追加］チェックボックス
- ［次の画像を追加］ボタン

画像を画像比較エリアに表示するときは、以下について注意してください。

- 赤色の枠で表示されているエリアが画像の対象エリアとなりますので、画像を登録する前に対象エリアを選択して赤色の枠で表示させます。
- ドラッグ＆ドロップで画像を登録する場合は、画像比較エリアの選択状態に関わらず、自由に画像を登録できます。
- 画鋲の留めてあるエリアには画像を登録することはできません。
- 1 つの画像を複数のエリアに登録することはできません。

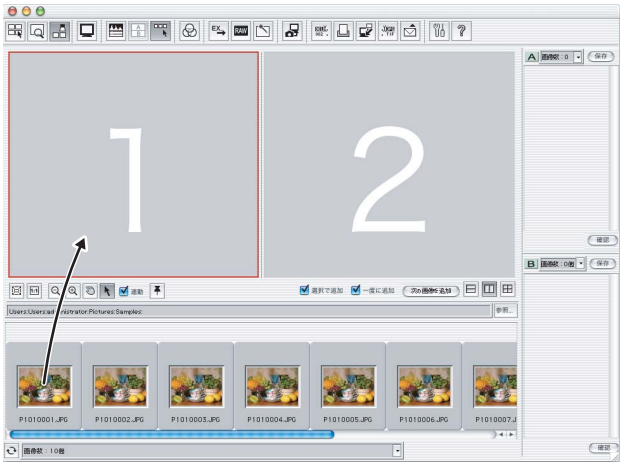
## ●画像をドラッグ＆ドロップする

画像をドラッグ＆ドロップして、画像比較エリアに登録します。

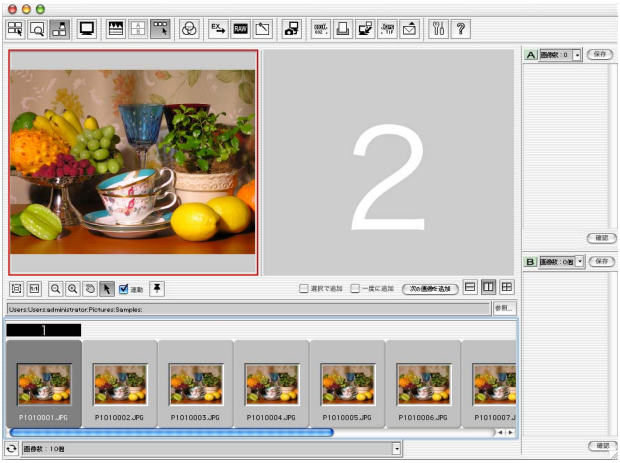
### *1* サムネイル表示エリアの画像を画像比較エリアにドラッグ＆ドロップする。

複数の画像を選択して、ドラッグ＆ドロップすることもできます。

**ライトボックスモード**



画像比較エリアに選択した画像が登録されます。




ヒント

- 画像比較エリアに登録すると、サムネイル枠の上部（4分割時）または左側（2 分割時）に画像比較エリア番号が表示されます。4 分割表示から 2 分割表示に変更して 3 と 4 の領域が隠れると淡色表示されます。

## ●画像をダブルクリックする

画像をダブルクリックして、画像比較エリアに登録します。

**1** **画像を登録する画像比較エリアを選択する。**

**2** **サムネイル表示エリアの画像をダブルクリックする。**

画像比較エリアに選択した画像が登録されます。

## ●[選択で追加]チェックボックスを使う

サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）するだけで、画像を画像比較エリアに登録できます。

**1** **[選択で追加]にチェックマークを付ける。**

**2** **画像を登録する画像比較エリアを選択する。**

**3** **サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）する。**

画像比較エリアに選択した画像が登録されます。

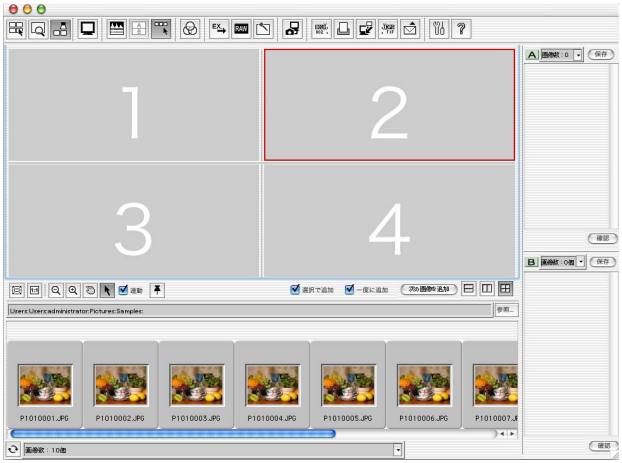
## ●[一度に追加]チェックボックスを使う

1 つの画像を選択するだけで、複数の画像を画像比較エリアに登録できます。

**1** **[一度に追加]にチェックマークを付ける。**

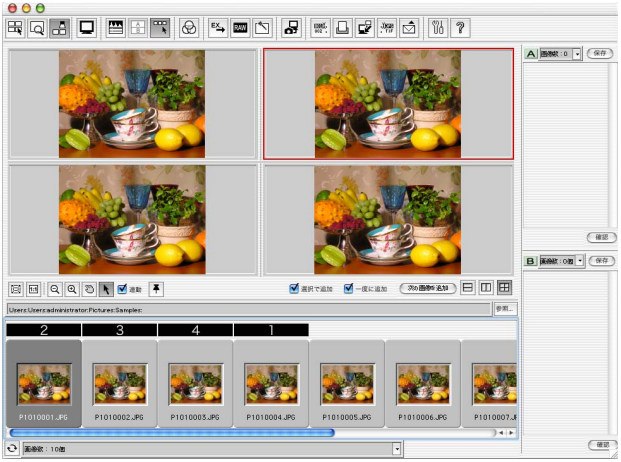
**2** **画像を登録する画像比較エリアを選択する。**

ここでは 2 を選択しています。



### 3 サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）する。

手順 2 で選択した番号以降の画像比較エリアに、サムネイル表示エリアで選択した連続する画像が登録されます。ここでは 2、3、4、1 に画像が登録されます。

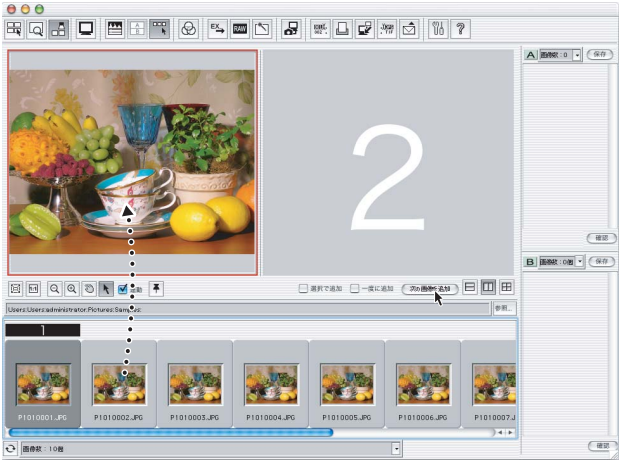


## ●［次の画像を追加］ボタンを使う

［次の画像を追加］ボタンをクリックするたびに、サムネイル表示エリアで選択されている画像の次の画像が画像比較エリアに登録されます。［画鋲］ボタンと組み合わせて使うと便利な機能です。

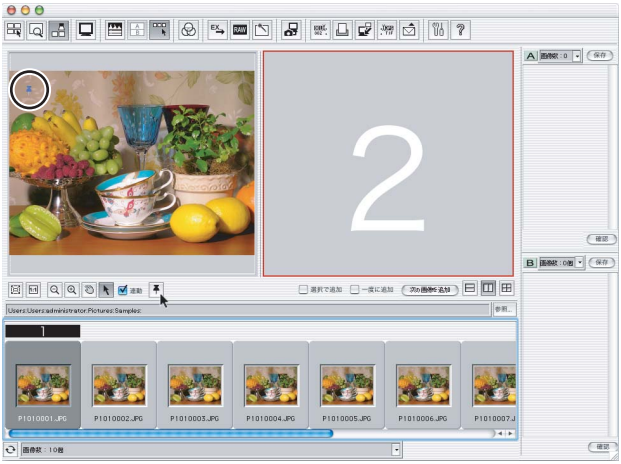
### 1 ［次の画像を追加］ボタンをクリックする。

選択した画像比較エリアに、サムネイル表示エリアで選択されている画像の次の画像が登録されます。ベストショット候補となる画像が見つかるまで、繰り返し［次の画像を追加］ボタンをクリックします。



### 2 候補となる画像が見つかったら、［画鋲］ボタンをクリックする。

選択している画像比較エリアの画像上に［画鋲］アイコンが表示されます。
自動的に、次の画像比較エリアが選択された状態になります。




### 3 再度［次の画像を追加］ボタンをクリックする。

手順 2 で選択された画像比較エリアに、サムネイル表示エリアで選択されている画像の次の画像が登録されます。ベストショット候補となる画像が見つかるまで、繰り返し［次の画像を追加］ボタンをクリックします。

## ● 画像比較エリアから画像を削除する

画像比較エリアに登録した画像を削除して、空きエリアにする方法を説明します。

### 1 画像比較エリアで画像を選択して、［Delete］キーを押す。

画像比較エリアの画像が削除されます。

ヒント

- 画像比較エリアを使って選び出したベストショットは、コレクション領域に振り分けて、別のフォルダにコピーまたは移動することができます。
「画像を振り分ける」P.54、「振り分けた画像の確認と保存」P.56

# 画像情報の表示

サムネイル表示エリアに表示された画像のヒストグラムやシャッター速度、画素数などの画像情報は、プロパティ領域に表示されます。プロパティ領域の表示は、初期設定では非表示に設定されています。ブラウズウィンドウのブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードの表示モードごとに、プロパティ領域の表示／非表示を設定することができます。

表示される内容は、カメラおよび記録形式によって異なります。
また、撮影情報はカメラの撮影時の設定内容が表示されます。

## プロパティ領域を表示する



**1　サムネイル表示エリアで、プロパティを表示する画像を選択する。**

**2　ブラウズウィンドウで［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択する。**
**または、ツールバーの［プロパティ］アイコンをクリックする。**

ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードの表示モードとも、ウィンドウの右側にプロパティ領域が表示されます。

プロパティ領域表示中に別の画像を選択すると、プロパティ領域の表示内容が切り替わります。

### プロパティ領域

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ヒストグラム | 画像の輝度分布を表示します。左側の境界線より外側に分布が集中しているときは、画像が黒くつぶれ気味であることを示します。右側の境界線より外側に分布が集中しているときは、画像が白くとび気味であることを示します。 |
| ［一般］タブ | 一般的な撮影情報が、機材情報、撮影情報、画像情報の 3 つのカテゴリーに分類されて表示されます。撮影日時およびコメントの編集は［一般］タブで行います。<br>撮影情報はカメラの撮影時の設定内容が表示されます。 |
| ［Exif］タブ | Exif に対応したカメラで撮影された画像の Exif タグの内容をすべて表示します。 |

## ［一般］タブ

各カテゴリーのタイトルの左側にある［▼］アイコンをクリックすると、カテゴリーの表示／非表示を切り替えることができます。

［一般］タブ

各カテゴリーで表示される情報は以下の通りです。

### 機材情報

ファイル名、モデル名、カメラ ID、レンズ情報

### 撮影情報

焦点距離、シャッター速度、絞り値、露出補正、フラッシュ（+ フラッシュ補正）*、ホワイトバランス（+ ホワイトバランス補正）*、彩度、コントラスト、シャープネス、カラー設定、撮影モード（+AE ロック）*、測光モード、ISO 感度、フォーカスモード、マクロ、ドライブ

*（ ）内の情報は設定値があるときのみ表示されます。

### 画像情報

フォーマット、画素数、色数、ファイルサイズ、ファイルの場所、更新日時、撮影日時、コメント

## ［Exif］タブ

［Exif］タブに表示される情報には、以下の項目があります。

画像タイトル、画像入力機器のメーカー名、画像入力機器のモデル名、画像方向、ファイル変更日時、露出時間、F ナンバー、露出プログラム、
ISO スピードレート、Exif バージョン、原画像データの生成日時、ディジタルデータの作成日時、露光補正値、レンズ最小 F 値、測光方式、光源、フラッシュ、レンズ焦点距離、ユーザーコメント、対応フラッシュピックスバージョン、色空間情報、個別画像処理、露出モード、ホワイトバランス、ディジタルズーム倍率、撮影シーンタイプ、ゲイン制御、撮影コントラスト、撮影彩度、撮影シャープネス　など

**［Exif］タブ**

**注意**

- カメラおよびファイルの記録形式によっては、プロパティ領域に表示されない項目もあります。

# コメントを編集する

Exif-JPEG、Exif-TIFF、RAW データの画像ファイルは、コメントを入力、変更することができます。

## 1 プロパティ領域の［一般］タブから画像情報を表示し、コメントの［編集］ボタンをクリックする。

［コメント編集］ダイアログが表示されます。

**［コメント編集］ダイアログ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| コメント | コメントを入力します。半角 117 文字まで入力することができます。すでにコメントが入力されている場合は、コメントが表示されます。 |
| ［キャンセル］ | コメントの編集を取り消します。 |
| ［OK］ | 入力したコメントを保存します。 |

## 2 コメント欄に入力し、［OK］ボタンをクリックする。

入力したコメントがプロパティ領域に表示されます。

注意

- Exif-JPEG、Exif-TIFF の場合、ファイルの記録状態によってはコメントの入力が行えない場合があります。

# 撮影日時を編集する

Exif-JPEG、Exif-TIFF、RAW データの画像ファイルは、撮影日時を変更することができます。

### 1 プロパティ領域の［一般］タブから画像情報を表示し、撮影日時の［修正］ボタンをクリックする。

［撮影日時の修正］ダイアログが表示されます。

**［撮影日時の修正］ダイアログ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 現在の日時 | すでに設定されている撮影日時が表示されます。 |
| 新しい日時 | 変更する撮影日時を設定します。プルダウンリストから年月日を選択し、 ボタンで時間を選択します。 |
| ［キャンセル］ | 撮影日時の修正を取り消します。 |
| ［OK］ | 変更した撮影日時を保存します。 |

### 2 新しい日時を設定し、［OK］ボタンをクリックする。

変更した撮影日時がプロパティ領域に表示されます。

# RAW 現像

RAW データの現像処理を行い、結果を画像ファイルに保存します。編集対象の画像ファイルが RAW Data（*.orf）形式の場合のみ設定可能です。複数の RAW データを一括して現像することもできます。
RAW データとは、ホワイトバランス、シャープネス、コントラスト、色変換などの現像処理を行っていない未加工のデータを指します。

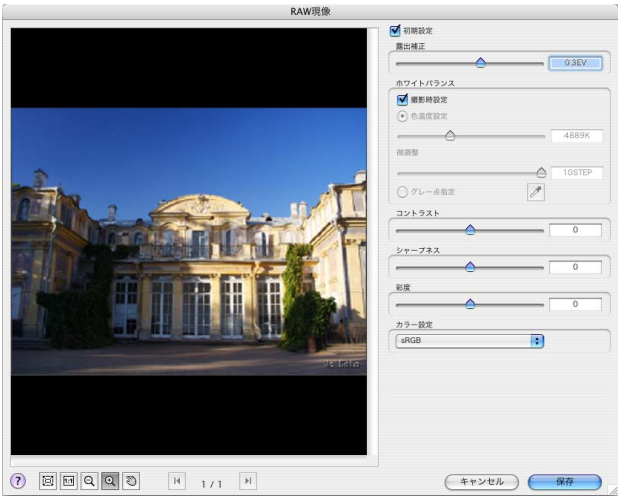
### 1 RAW データの画像を選択する。

画像ファイルが RAW Data（*.orf）形式の場合のみ選択できます。

### 2 ［編集］メニューから［RAW 現像］を選択する。または、ツールバーの［RAW 現像］をクリックする。

［RAW 現像］ダイアログが表示されます。

**［RAW 現像］ダイアログ**




注意

- RAW 現像は、RAW 形式の画像にのみ使用できます。その他の保存形式の画像を選択すると［RAW 現像］は淡色表示となり、設定できません。

### 3 項目を設定する。

手順 1 で選択した全ての RAW のデータに共通の設定が適用されます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| プレビュー領域 | 設定した現像処理の結果が表示されます。複数の RAW データの画像をサムネイル表示エリアで選択した場合は、[⏮] [⏭] をクリックしてプレビューする画像を切り替えることができます。 |
| 初期設定 | チェックマークを付けると、すべての設定項目を初期設定に戻します。初期状態ではチェックマークが付けられていますが、設定を変更すると自動的にチェックマークが外れます。 |
| 露出補正 | 画像の露出を調整します。<br>スライダーのつまみを左右にドラッグして、露出を手動で調整します。0.1EV 単位で –2.0 ～ +2.0 の範囲で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。 |
| ホワイトバランス | 画像のホワイトバランスを調整します。<br>• 撮影時設定：<br>チェックマークを付けると、撮影時のホワイトバランスの設定を使用します。プリセットホワイトバランスが設定されている場合は［5300K +3 STEP］のように表示され、ワンタッチホワイトバランスが設定されている場合は［ワンタッチ WB1］のように表示されます。表示される内容は機種により異なります。<br>• 色温度設定：<br>スライダーのつまみを左右にドラッグして、色温度を手動で調整します。100K 単位で 2000 ～ 10000K の範囲で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。<br>微調整：スライダーのつまみを左右にドラッグして、色温度を手動で調整します。–10 ～ +10 STEP の範囲で 21 段階の設定ができます。<br>• グレー点指定：<br>［スポイト］ボタンをクリックすると、マウスカーソルがスポイト状になります。プレビュー領域の画像上の任意の点をクリックしてグレー点を指定します。（このとき、クリックした点の RGB 平均値が［R］、［G］、［B］それぞれに表示されます。） |
| コントラスト | 画像のコントラストを調整します。<br>スライダーのつまみを左右にドラッグして、コントラストを手動で調整します。–5 ～ +5 の範囲で 11 段階の設定ができます。 |
| シャープネス | 画像の鮮鋭度を調整します。<br>スライダーのつまみを左右にドラッグして、シャープネスを手動で調整します。–5 ～ +5 の範囲で 11 段階の設定ができます。 |

| | |
|---|---|
| 彩度 | 画像の色の鮮やかさを調整します。<br>スライダーのつまみを左右にドラッグして、彩度を手動で調整します。–5 ～ +5 の範囲で 11 段階の設定ができます。 |
| カラー設定 | 画像のカラー設定を行います。<br>リストの［sRGB］／［Adobe RGB］／［ProPhoto RGB］からカラー設定を選択します。 |
| ［キャンセル］ | RAW 現像の設定を取り消します。 |
| ［保存］ | 現像処理後のファイル名やフォーマットを選択するための［保存先の指定］ダイアログが表示されます。 |

## 4 ［保存］ボタンをクリックします。

［保存先の指定］ダイアログが表示されます。

**［保存先の指定］ダイアログ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| フォルダ | ［参照］ボタンをクリックして、画像の保存場所を指定します。 |
| ファイル名 | 以下のいずれかのファイル名を使用します。<br>• オリジナルのファイル名：<br>現像処理の対象となった画像ファイルと同じ名前で保存します。<br>［フォーマット］で異なるファイル形式が選択された場合は、拡張子のみが変更され別ファイルとして保存されます。<br>• 任意のファイル名：<br>チェックマークを付けると、ファイル名が自動的に付けられ保存されます。［命名規則］ボタンをクリックして［命名規則］ダイアログを表示し、命名規則を設定することもできます。 |
| フォーマット | リストから保存する画像のフォーマットを指定します。 |
| 圧縮率 | ［フォーマット］から［Exif-JPEG］または［JPEG］を選択した場合のみ、指定することができます。［高画質］、［標準画質］、［低画質］から選択します。 |
| コメント | チェックマークを付けると、画像保存時に付加するコメントを入力することができます。<br>［フォーマット］から［Exif-JPEG］または［Exif-TIFF］を選択した場合のみ、チェックマークを付けることができます。それ以外は淡色表示されます。 |
| 保存後、登録アプリケーションで開く | チェックマークを付けると、現像処理終了後、自動的に登録アプリケーションで現像処理後の画像が表示されます。 |

| | |
|---|---|
| ［開始］ | 設定した条件で現像処理を実行します。 |
| ［キャンセル］ | 保存先の指定を取り消します。 |

### 5 項目を指定し、［開始］ボタンをクリックする。

［開始］ボタンをクリックすると、設定した現像処理が実行され、［保存先の指定］ダイアログで設定した内容で画像が保存されます。

# 登録アプリケーションの起動

OLYMPUS Viewer 以外の画像編集用のアプリケーションソフトウェアを起動して画像を開くことができます。起動するアプリケーションソフトウェアは、事前に環境設定で登録する必要があります。

### 1 サムネイル表示エリアで、登録アプリケーションソフトウェアで開く画像を選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー

### 2 ［編集］メニューから［登録アプリケーションを起動］を選択する。または、ツールバーの［登録アプリケーションを起動］アイコンをクリックする。

登録されているアプリケーションソフトウェアが起動します。

起動したアプリケーションソフトウェア上に、画像が表示されます。

操作についての詳細は、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。

**注意**

**アプリケーションの事前登録**

- アプリケーションソフトウェアは事前に登録する必要があります。登録は、［ツール］メニューから［環境設定］を選択すると表示される［環境設定］ダイアログで行います。☞「［一般］タブを設定する」P.128

**ヒント**

- RAW 画像データは、OLYMPUS Viewer により標準の設定で現像が行われた後、登録アプリケーション上に表示されます。

# フォルダ・ファイルの操作

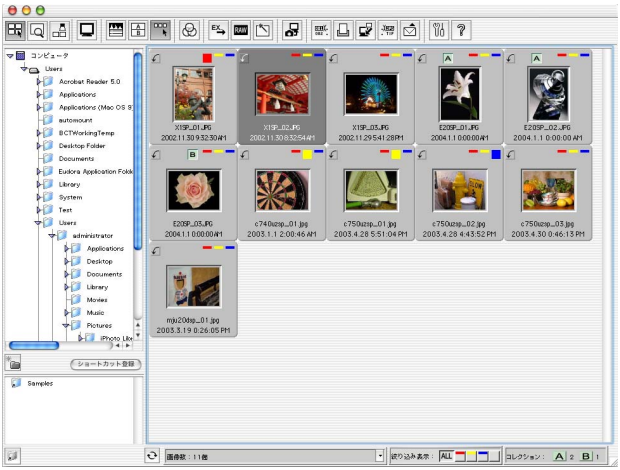
パソコンに取り込んだ画像は、ファイル名を分かりやすく変更することや、新しいフォルダに分けて整理することなどができます。ここでは、こうした整理に必要なフォルダ・ファイルの操作を説明します。

## フォルダを新規作成する

**1** **表示モードをブラウズモードにする。**

「表示モードの切り替え」P.36

**2** **フォルダツリーで、新規フォルダを作成するドライブまたはフォルダを選択する。**



**3** **［ファイル］メニューから［フォルダの新規作成］を選択する。**

選択したドライブまたはフォルダ内に新規サブフォルダが作成されます。

**4** **新規フォルダに名前を入力する。**

# ファイルを新規サブフォルダに移動する

選択したファイルを、そのファイルが保存されているフォルダの中にサブフォルダを新規作成して移動します。

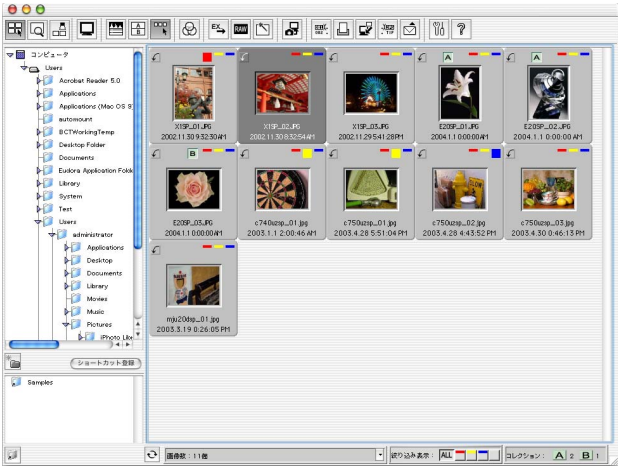
### 1 表示モードをブラウズモードにする。

「表示モードの切り替え」P.36

### 2 サムネイル表示エリアで、移動したいファイルを選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー



### 3 ［ファイル］メニューから［選択ファイルを新規サブフォルダに移動］を選択する。

選択したファイルが保存されているフォルダに［移動先のフォルダ］という名称のフォルダが新規作成され、選択したファイルがこのサブフォルダに移動します。

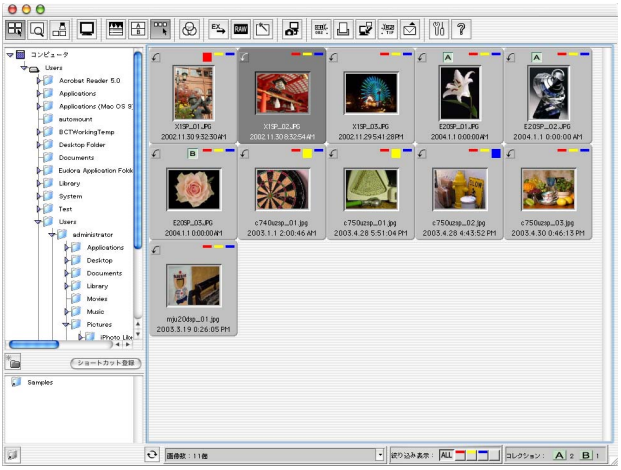
### 4 ［移動先のフォルダ］に名前を入力する。

**注意**

- Windows の場合は移動するファイルに読み取り専用のファイルが含まれる場合は、確認メッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると読み取り専用のファイルが移動します。
- 読み取り専用のメディア内のファイルは移動できません。

# ファイル名・フォルダ名を変更する

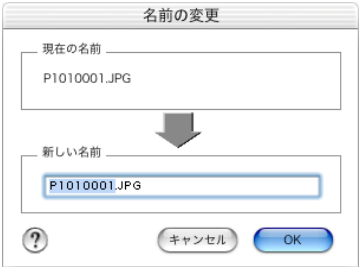
**1** **サムネイル表示エリアで、名前を変更したいフォルダまたはファイルを選択する。**



**2** **［ファイル］メニューから［名前の変更］を選択する。**

［名前の変更］ダイアログが表示されます。

**［名前の変更］ダイアログ**




| 項目名 | 内容 |
|---|---|
| 現在の名前 | 変更前の名前が表示されます。 |
| 新しい名前 | 新たな名前を入力します。 |
| ［キャンセル］ | 名前の変更を取り消します。 |
| ［OK］ | 名前を変更します。 |

### 3 ［新しい名前］に新たな名前を入力する。

### 4 ［OK］ボタンをクリックする。

選択したフォルダまたはファイルの名前が変更されます。

注意

- 読み取り専用のメディア内のファイル名・フォルダ名は変更できません。
- ［新しい名前］に入力したファイル名・フォルダ名がすでに存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。

ヒント

- フォルダ名はフォルダツリー上で直接入力して変更することもできます。
- Windows の場合は、フォルダまたはファイルを選択後［F2］キーを押して名前を変更することができます。

# ファイル名を一括変更する

複数ファイルの名前を一括して変更します。一括変更は命名規則を設定して行います。同じ撮影日のファイルがファイル名から一目でわかったり、連番を付けたファイル名に変更することができます。

## ● 命名規則について

ファイル名を［先頭］［中間］［末尾］の 3 ブロックに分けて設定します。各ブロックの間には任意の区切り文字を設定することができます。拡張子は変更前と同じ拡張子になります。
各ブロックは以下の 6 種類からそれぞれ選択します。項目によっては選択後、さらに文字列を入力したりボックスから選択したりします。

| | |
|---|---|
| 無し | そのブロックを設定しない場合に選択します。 |
| 元ファイル名 | 現在のファイル名を使用します。 |
| 任意文字列 | 新たにファイル名を入力または選択します。下側に表示されるボックスに直接入力するか、過去の入力文字列から選択します。入力文字列は最大 5 つまでプルダウンリストに表示され、選択することができます。 |
| 撮影日 | 撮影日を設定します。撮影日のフォーマットは下側に表示されるボックスで以下の 6 種類から選択します。撮影日が未記録のファイルは、撮影日のかわりに更新日が使用されます。<br>• ［YYYYMMDD］<br>• ［YYMMDD］<br>• ［MMDDYYYY］<br>• ［MMDDYY］<br>• ［DDMMYYYY］<br>• ［DDMMYY］ |
| 撮影日時 | 撮影日時を設定します。撮影日時のフォーマットは下側に表示されるボックスで以下の 6 種類から選択します。撮影日時が未記録のファイルは、撮影日時のかわりに更新日時が使用されます。<br>• ［YYYYMMDD_HHMMSS］<br>• ［YYMMDD_HHMMSS］<br>• ［MMDDYYYY_HHMMSS］<br>• ［MMDDYY_HHMMSS］<br>• ［DDMMYYYY_HHMMSS］<br>• ［DDMMYY_HHMMSS］ |
| 連番 | 最大値 9999 までの連番を設定します。下側に表示される 2 つのボックスから、開始番号と最大 4 桁までの桁数を選択します。選択した桁数では足りない場合は、自動的に桁数が 1 繰り上げられます。 |

注意

- 連番の［桁数］に 4 を選択した場合で、9999 を越える連番が必要になると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、［OK］ボタンをクリックして、桁数または開始番号を設定し直してください。

ヒント

- 同じフォルダに設定したファイル名がすでに存在する場合は、新しいファイル名の末尾に自動的に連番が付けられます。

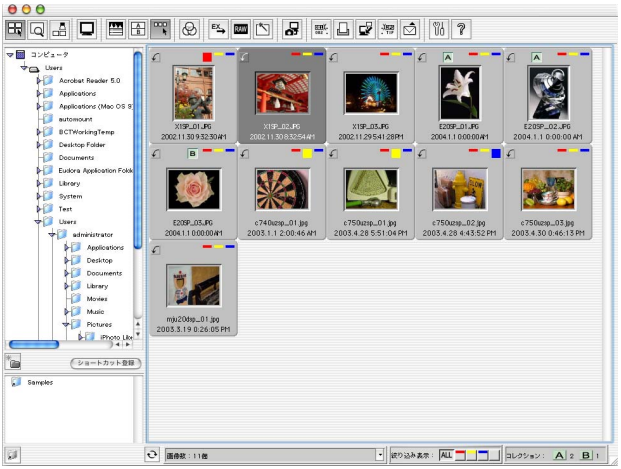
  例）フォルダ内に Snap_0001.jpg、Snap_0003.jpg というファイルが存在する場合

| 変更予定のファイル名 | | 一括変更後のファイル名 |
|---|---|---|
| Snap_0001.jpg | → | Snap_0001_01.jpg |
| Snap_0002.jpg | → | Snap_0002.jpg |
| Snap_0003.jpg | → | Snap_0003_01.jpg |

## 1 サムネイル表示エリアで、名前を一括変更したいファイルを選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9)：［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X)：［Shift］または［Command］キー
- Windows　　：［Ctrl］キー



## 2 ［ファイル］メニューから［名前の一括変更］を選択する。または、ツールバーの［名前の一括変更］アイコンをクリックする。

［名前の一括変更］ダイアログが表示されます。

**［名前の一括変更］ダイアログ**

| 項目名 | 内容 |
|---|---|
| 命名規則 | ［先頭］［中間］［末尾］の 3 ブロックごとに、6 種類の項目から選択して設定します。項目によっては、さらにボックスに入力または選択します。 |
| □（区切り文字） | 各ブロックの区切り文字を入力します。未入力時は、区切り文字なしとなります。区切り文字は半角または全角で 1 文字入力できます。 |
| （任意文字列設定ボックス） | 各ブロックに［任意文字列］を選択した場合に表示されます。直接入力するか、プルダウンリストから過去に入力した文字列を選択します。 |
| （撮影日設定ボックス） | 各ブロックに［撮影日］を選択した場合に表示されます。プルダウンリストから撮影日のフォーマットを選択します。 |
| （撮影日時設定ボックス） | 各ブロックに［撮影日時］を選択した場合に表示されます。プルダウンリストから撮影日時のフォーマットを選択します。 |
| 開始番号 | 各ブロックに［連番］を選択した場合に表示されます。連番の開始番号を入力します。 |
| 桁数 | 各ブロックに［連番］を選択した場合に表示されます。連番の桁数を入力します。 |
| 現在の名前 | 選択したファイルの名称が表示されます。 |

| | |
|---|---|
| 新しい名前 | 設定した［命名規則］にしたがって付けられたファイル名が表示されます。 |
| ［キャンセル］ | ファイル名の一括変更を取り消します。 |
| ［OK］ | 設定した命名規則にしたがってファイル名を一括変更します。 |

### 3 命名規則を設定する。

命名規則の［先頭］［中間］［末尾］の 3 ブロックをそれぞれ設定します。

［任意文字列］を選択した場合は、下側に表示されるボックスに任意の文字列を入力するか、プルダウンリストから選択します。

［撮影日］［撮影日時］を選択した場合は、下側に表示されるプルダウンリストから選択します。

［連番］を選択した場合は、開始番号と桁数を入力します。

また、必要に応じて各ブロック間に区切り文字を入力します。

各ブロックを設定すると、［新しい名前］欄に変更後のファイル名が表示されます。

### 4 ［OK］ボタンをクリックする。

選択したファイルの名前が一括変更されます。

ヒント

- コレクション領域のファイルを選択して名前の一括変更を行うことができます。

注意

- ファイルの拡張子は、変更前のファイル名と同じ拡張子になります。名前の一括変更で変更することはできません。拡張子を変更する場合は、フォーマット変換を行います。「ファイルフォーマットを変換する」P.92
- 読み取り専用のメディア内のファイル名は変更できません。

# ファイルをコピーする

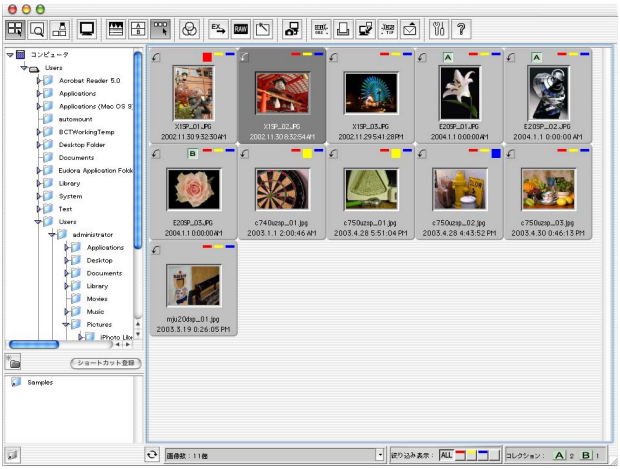
**1** **表示モードをブラウズモードにする。**

「表示モードの切り替え」P.36

**2** **サムネイル表示エリアで、コピーしたいファイルを選択する。**

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー



**3** **［編集］メニューから［コピー］を選択する。**

**4** **フォルダツリーで、コピー先のフォルダを選択する。**

**5** **［編集］メニューから［貼り付け］を選択する。**

選択したファイルが指定したフォルダにコピーされます。

**ヒント**

- コピーするファイルを選択してコピー先のフォルダにドラッグ＆ドロップし、ファイルをコピーすることもできます。同じドライブ間でファイルをコピーするときは、Macintosh では［Option］キーを押しながら、Windows では［Ctrl］キーを押しながら、ファイルをドラッグ＆ドロップします。

# 画像をコピーする

選択した画像を、他のアプリケーションソフトで作成した文書や表などに貼り付けます。

**1　サムネイル表示エリアで、コピーしたい画像ファイルを選択する。**

**2　［編集］メニューから［画像コピー］を選択する。**

**3　他のアプリケーションソフト上で［貼り付け］の操作をする。**

選択した画像が貼り付けられます。

*注意*

- ［貼り付け］の操作については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。

# ファイルを移動する

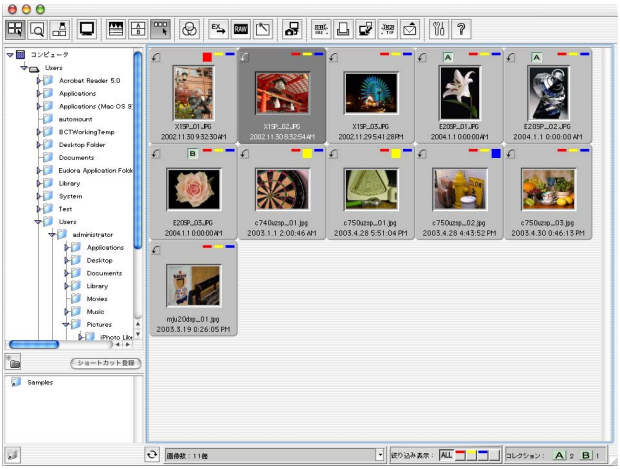
**1** **表示モードをブラウズモードにする。**

「表示モードの切り替え」P.36

**2** **サムネイル表示エリアで、移動したいファイルを選択する。**

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : ［Shift］キー
- Macintosh (Mac OS X) : ［Shift］または［Command］キー
- Windows : ［Ctrl］キー



**3** **［編集］メニューから［切り取り］を選択する。**

**4** **フォルダツリーで、移動先のフォルダを選択する。**

**5** **［編集］メニューから［貼り付け］を選択する。**

選択したファイルが指定したフォルダに移動します。

**ヒント**

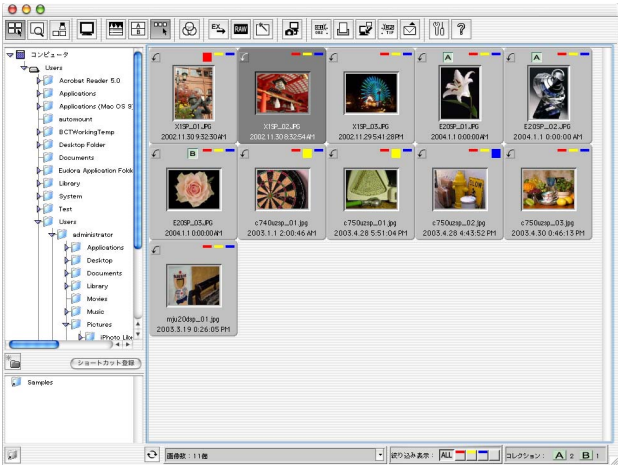
- 移動するファイルを選択して移動先のフォルダにドラッグ＆ドロップし、ファイルを移動することもできます。異なるドライブ間でファイルを移動するときは、Macintosh では［Command］キーを押しながら、Windows では［Shift］キーを押しながら、ファイルをドラッグ＆ドロップします。

# ファイルフォーマットを変換する

選択したファイルのファイルフォーマットを変換し、指定したフォルダに別ファイルとして保存します。ファイルフォーマット変換前のファイルは、元のフォルダに残ります。
以下の形式に変換することができます。

- Exif-JPEG
- JPEG
- Exif-TIFF
- TIFF［8bit/ch］
- TIFF［16bit/ch］
- PICT（Macintosh 版のみ）
- Bitmap（Windows 版のみ）

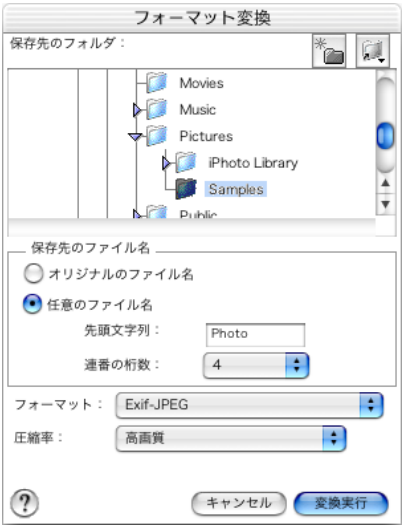
**1　サムネイル表示エリアで、ファイルフォーマットを変更したいファイルを選択する。**



## 2 ［ツール］メニューから［フォーマット変換］を選択する。

［フォーマット変換］ダイアログが表示されます。

**［フォーマット変換］ダイアログ**




| 項目名 | 内容 |
|---|---|
| 保存先のフォルダ | フォーマット変換したファイルの保存先を指定します。 |
| ［新規フォルダ］ | フォーマット変換したファイルの保存先として、フォルダを新規作成する場合にクリックします。フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。 |
| ［ショートカット参照］ | 登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。<br>「フォルダのショートカットを作成する」P.95 |
| フォルダツリー | 保存先のフォルダを選択します。 |
| 保存先のファイル名 | フォーマット変換したファイルに付ける名前を設定します。［オリジナルのファイル名］または［任意のファイル名］を選択します。<br>• オリジナルのファイル名：<br>フォーマット変換したファイルに変換前と同じ名前を付ける場合に選択します。<br>• 任意のファイル名：<br>フォーマット変換したファイルに新たな名前を付ける場合に選択します。［先頭文字列］を入力し［連番の桁数］を指定します。 |

| | |
|---|---|
| フォーマット | 変換するファイルフォーマットを［Exif-JPEG］［JPEG］［Exif-TIFF］［TIFF［8bit/ch］］［TIFF［16bit/ch］］［PICT］（Macintosh 版のみ）［Bitmap］（Windows 版のみ）から選択します。 |
| 圧縮率 | ファイルフォーマットで［Exif-JPEG］または［JPEG］を選択した場合の圧縮率を［高画質］［標準画質］［低画質］から選択します。 |
| ［キャンセル］ | フォーマット変換を取り消します。 |
| ［変換実行］ | 設定した条件でファイルフォーマットを変換します。 |

### 3 各項目を設定する。

### 4 ［変換実行］ボタンをクリックする。

選択したファイルがフォーマット変換されます。

- RAW データを「フォーマット変換」で別のファイルフォーマットに変換することはできません。RAW データを変換するには、「RAW 現像」をご使用ください。「RAW 現像」P.74

# フォルダのショートカットを作成する

フォルダツリーに表示されるフォルダのショートカットを作成することができます。使用頻度の高いフォルダをショートカット登録しておくと、フォルダツリーからフォルダを探す手間が省けて便利です。
ショートカットは、ブラウズモードのフォルダツリー下部のショートカット領域に表示されます。ショートカット領域は、ウィンドウ左下の［ショートカット］ボタンで表示／非表示を切り替えます。
登録したショートカットをダブルクリックすると、フォルダツリーのフォルダにジャンプします。サムネイル表示エリアの画像をショートカットにドラッグ＆ドロップし、移動やコピーを行うこともできます。

**ショートカットボタン**

**ショートカット領域**

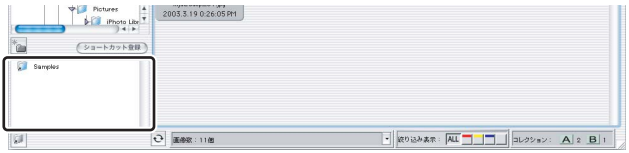
### 1 表示モードをブラウズモードにする。

「表示モードの切り替え」P.36

### 2 ［表示］メニューから［ショートカット領域を表示］を選択する。または、［ショートカット］ボタンをクリックする。

ショートカット領域が表示されます。

**ショートカット領域**




### 3 フォルダツリーからショートカットとして登録したいフォルダを選択する。

**4** **［ショートカット登録］ボタンをクリックする。**

選択したフォルダをショートカット領域にドラッグ＆ドロップして登録することもできます。

## ●ショートカット領域からショートカットを削除するには

**1** **ショートカット領域で、削除したいショートカットを選択する。**

**2** **［Delete］キーを押す。または、［ファイル］メニューから［削除］を選択する。**

選択したショートカットがショートカット領域から削除されます。

## ●ショートカットの名前を変更するには

**1** **ショートカット領域で、名前を変更したいショートカットを選択する。**

**2** **［ファイル］メニューから［名前の変更］を選択して、直接名前を入力します。**

ヒント

- Windows の場合は、ショートカットを選択後［F2］キーを押して名前を変更することができます。

# 画像の検索

指定した条件で画像ファイルを検索します。検索結果はサムネイル表示エリアに表示されます。画像の検索は、ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードのいずれのモードでも行うことができます。

## 1 ［ファイル］メニューから［検索］を選択する。

［検索］ダイアログが表示されます。

**［検索］ダイアログ**

| 項目名 | 内容 |
|---|---|
| 検索条件 | 検索条件を［ファイル名］［撮影日］［コメント］［分類］の中から 1 項目以上設定します。設定したい項目のチェックボックスにチェックマークを付けます。<br>• ファイル名：<br>検索するファイル名の一部または全部を入力します。<br>• 撮影日：<br>検索するファイルの撮影日の期間を設定します。日付を直接入力するか、プルダウンリストに表示される日付を選択します。<br>• コメント：<br>検索するファイルのコメントの一部または全部を入力します。<br>• 分類：<br>検索するファイルの分類チェックマークを［赤］［黄］［青］［無し］から選択します。 |
| 検索場所 | 検索するドライブまたはフォルダのパス名が表示されます。 |
| ［参照］ | 検索場所を指定する場合に選択します。選択すると［フォルダ選択］ダイアログが表示されます。 |
| ［キャンセル］ | 検索を取り消します。 |
| ［検索開始］ | 設定した条件で画像ファイルを検索します。 |

### 2 検索条件を設定する。

検索条件を設定したい項目にチェックマークを付け、項目ごとに検索条件を指定します。

### 3 検索場所を指定する。

［参照］ボタンをクリックして、検索場所を指定します。サブフォルダも検索の対象となります。パソコン上の全ドライブを検索対象にする場合は、Windows ではマイコンピュータを選択します。

［検索場所］に指定したドライブまたはフォルダのパス名が表示されます。

### 4 ［検索開始］ボタンをクリックする。

検索が実行されます。検索が終了すると、［検索］ダイアログが自動的に閉じて、検索結果がサムネイル表示エリアに表示されます。

ヒント

- 検索結果の表示画面から通常のブラウズウィンドウに戻る場合は、別のフォルダを選択します。検索結果を表示している間は、［検索結果］という仮想フォルダが選択されている状態になります。

# 画像の削除

不要な画像ファイルを削除します。

**1　サムネイル表示エリアで、削除したいファイルを選択する。**

**2　［ファイル］メニューから［削除］を選択する。**
**または、［Command］キーを押しながら［Delete］キーを押す。**

Windows の場合は、［Delete］キーを押します。

削除を確認するダイアログが表示されます。

**3　［はい］ボタンをクリックする。**

選択した画像ファイルが削除されます。

注意

- OLYMPUS Viewerで画像の削除を行うと、Mac OSやWindowsのゴミ箱にいったんファイルが移動するのではなく、完全に削除される場合があります。この場合、ゴミ箱から元に戻すことはできません。ゴミ箱へ移動するかどうかは、ダイアログに表示される確認メッセージで確認することができます。

# 画像の印刷

ブラウズウィンドウで選択した画像を印刷します。
画像の印刷はフォト印刷、インデックス印刷、コンタクトシート印刷の 3 種類があります。
ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードのいずれのモードでも印刷を行うことができます。

## 印刷の種類



### ● フォト印刷 ☞ P.106

画像を中心に印刷します。

### ● インデックス印刷 ☞ P.110

複数の画像を指定して印刷します。ファイル名、撮影日時を印刷することができます。

● コンタクトシート印刷 ☞ P.114

複数の画像を指定して印刷します。各画像に設定されている詳細情報を印刷することができます。
コンタクトシート印刷で印刷項目に設定できる詳細情報については、「コンタクトシート印刷」をご覧ください。☞P.114

# ［印刷］ダイアログ

ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、［ファイル］メニューから［印刷］を選択すると、［印刷］ダイアログが表示されます。印刷の種類や印刷時の各種設定は、［印刷］ダイアログで行います。

**［印刷］ダイアログ**

| 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|
| ［フォト］タブ | ［フォト印刷］をしたいときに選択します。 | P.106 |
| ［インデックス］タブ | ［インデックス印刷］をしたいときに選択します。 | P.110 |
| ［コンタクトシート］タブ | ［コンタクトシート印刷］をしたいときに選択します。 | P.114 |
| ［プリンタの設定］ | ［プリンタの設定］または［ページ設定］ダイアログが表示されます。 | P.104 |
| プレビュー領域 | 印刷する画像がプレビュー表示されます。印刷対象に複数の画像ファイルを選択している場合、左右の矢印ボタンで表示ページを切り替えることができます。左右の矢印ボタンの間には、現在表示しているページ番号と総ページ数が表示されます。プレビュー領域上で、ドラッグ＆ドロップにより画像を入れ替えることができます。 | — |

| | | |
|---|---|---|
| 領域のタイプ | 用紙上に印刷する画像領域の形を選択します。<br>• 横画像優先：<br>画像領域を 4:3 の横向き長方形で印刷します。<br>横向きの画像だけを印刷するときに便利です。<br>• 縦画像優先：<br>画像領域を 3:4 の縦向き長方形で印刷します。<br>縦向きの画像だけを印刷するときに便利です。<br>• 混在：<br>領域を 1:1 の正方形で印刷します。<br>横向き、縦向きの画像が混在しているときに便利です。 | — |
| 余白を均等にする | チェックマークを付けると、上下または左右の余白を均等に設定し、用紙の中央に印刷されます。<br>チェックマークを付けないと、プリンタで設定されている上下左右の余白の設定で印刷されます。 | — |
| 部数 | 印刷する部数を設定します。 | — |
| 用紙方向 | 用紙の方向を［縦］［横］から選択します。 | — |
| ［キャンセル］ | 画像の印刷を取り消します。 | — |
| ［印刷］ | 設定した条件で画像を印刷します。 | — |

# プリンタの設定

画像を印刷する前にプリンタの設定を確認し、必要に応じて設定します。
プリンタの詳細設定についてはご使用のプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

## ● Macintosh

### 1 ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、［ファイル］メニューから［印刷］を選択する。
### または、ツールバーの［印刷］アイコンをクリックする。

［印刷］ダイアログが表示されます。「［印刷］ダイアログ」P.102

### 2 ［プリンタの設定］ボタンをクリックする。

［ページ設定］ダイアログが表示されます。

**［ページ設定］ダイアログ**

### 3 プリンタを選択する。

必要に応じて［ページ設定］ダイアログ内の各項目を設定します。

### 4 ［OK］ボタンをクリックする。

設定した内容が登録されて、［ページ設定］ダイアログが閉じます。

## ● Windows

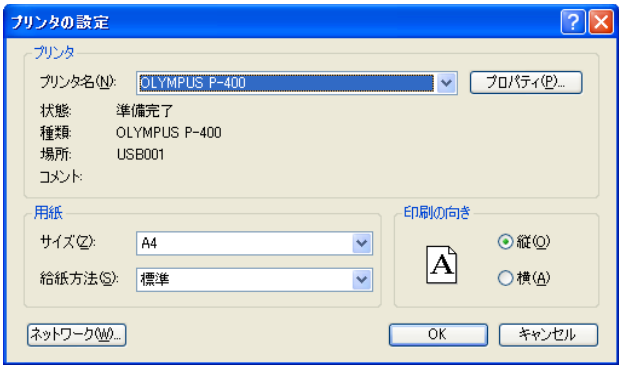
**1** **ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、［ファイル］メニューから［印刷］を選択する。**
**または、ツールバーの［印刷］アイコンをクリックする。**

［印刷］ダイアログが表示されます。「［印刷］ダイアログ」P.102

**2** **［プリンタの設定］ボタンをクリックする。**

［プリンタの設定］ダイアログが表示されます。

**［プリンタの設定］ダイアログ**




**3** **［プリンタ名］を選択する。**

必要に応じて［プロパティ］ボタンをクリックし、選択したプリンタの詳細設定をします。

**4** **用紙サイズを選択する。**

**5** **印刷の向きを選択する。**

**6** **［OK］ボタンをクリックする。**

設定した内容が登録されて、［プリンタの設定］ダイアログが閉じます。

# フォト印刷

**1　ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、［ファイル］メニューから［印刷］を選択する。**
**または、ツールバーの［印刷］アイコンをクリックする。**

［印刷］ダイアログが表示されます。「［印刷］ダイアログ」P.102

**2　［フォト］タブを選択する。**

**［印刷］ダイアログ ［フォト］タブ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| レイアウト | 用紙の種類を選択し、レイアウトを指定します。<br>• 通常用紙：<br>印刷する画像のレイアウトを行×列で 1 ～ 4 の範囲で指定します。<br>• 分割用紙：<br>オリンパスプリンタ用の分割専用紙のレイアウト［P-A4P（A4 2 分割)］［P-A4L（A4 4 分割)］から選択します。 |
| 印刷サイズ指定 | 印刷する画像のサイズを変更したいときにチェックマークを付け、サイズを入力します。 |
| 縦横比固定 | 画像の縦横比率を固定したままサイズを変更するときにチェックマークを付けます。 |
| 単位 | ［mm］［インチ］から選択します。 |

| | |
|---|---|
| 1 枚の画像を印刷する回数 | 印刷回数を指定します。 |
| 自動回転 | 画像を［領域のタイプ］の設定に合わせて回転する場合にチェックマークを付けます。［横画像優先］に設定した場合は、縦画像が横向きに回転して印刷されます。［縦画像優先］に設定した場合は、横画像が縦向きに回転して印刷されます。回転の方向を［右回転］（右方向 90 度）［左回転］（左方向 90 度）から選択します。<br>ただし、［領域のタイプ］を［混在］に設定した場合は淡色表示され選択できません。 |
| 領域全体に印刷 | チェックマークを付けないと、画像全体が印刷されます。チェックマークを付けると、印刷領域に合わせ画像をトリミングして印刷します。 |
| 余白が出ないように領域を配置 | チェックマークを付けると、印刷領域の縦横比を無視して印刷可能領域全体に印刷されます。 |
| 撮影日印刷 | 撮影日を入れて印刷する場合にチェックマークを付けると、画像上の右下に撮影日が印刷されます。［日付］［日時］から選択します。 |
| ［フォント］ | ［フォント］ダイアログが表示されます。印刷する撮影日のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。 |
| ［影を付ける］ | 印刷する撮影日の文字の背景に影を付ける場合にチェックマークを付けます。 |

### *3* フォト印刷の各項目を設定する。

必要に応じて設定します。

**［レイアウト］を設定するには**

印刷用紙の種類を［通常用紙］［分割用紙］から選択します。
［通常用紙］を選択した場合は、印刷する画像のレイアウトを［行］［列］でそれぞれ設定します。
［分割用紙］を選択した場合は、用紙のサイズを［P-A4P（A4 2 分割）］［P-A4L（A4 4 分割）］から選択します。

**［印刷サイズ指定］を設定するには**

印刷する画像のサイズを変更する場合にチェックマークを付けます。［縦］［横］それぞれのサイズと［単位］を設定します。［単位］は、［mm］［インチ］から選択します。画像の縦横比率を固定する場合は、［縦横比固定］にチェックマークを付けます。

**［1 枚の画像を印刷する回数］を設定するには**

印刷回数を設定します。

**［自動回転］を設定するには**

画像を回転する場合にチェックマークを付け、回転方向を［右回転］［左回転］から選択します。

**［領域全体に印刷］を設定するには**

印刷領域に合わせて画像をトリミングする場合に、チェックマークを付けます。

**［余白が出ないように領域を配置］を設定するには**

印刷可能領域全体に印刷する場合に、チェックマークを付けます。

**［撮影日印刷］を設定するには**

画像上に撮影日を印刷する場合にチェックマークを付け、印刷するフォーマットを［日付］［日時］から選択します。印刷する文字を変更する場合は［フォント］ボタンを選択し、［フォント］ダイアログで設定します。

**［影を付ける］を設定するには**

印刷する撮影日の文字の背景に影を付ける場合に、チェックマークを付けます。

**［フォント］ダイアログ**

| 項目名 | 内容 |
|---|---|
| フォント名 | 文字フォントの種類を一覧から選択します。 |
| サイズ | 文字サイズを設定します。 |
| スタイル | 文字スタイルを一覧から選択します。 |
| 色 | 文字の色をプルダウンリストから選択します。 |
| サンプル | 設定した文字が表示されます。 |
| ［キャンセル］ | フォントの設定を取り消します。 |
| ［OK］ | 設定した内容を登録します。 |

## *4* ［領域のタイプ］を設定する

用紙上に印刷する画像領域の形を、［横画像優先］［縦画像優先］［混在］から選択します。

### 5 ［余白を均等にする］を設定する。

用紙の上下または左右の余白を均等に設定する場合に、チェックマークを付けます。

### 6 ［部数］を設定する。

印刷する部数を設定します。

### 7 ［用紙方向］を設定する。

印刷用紙の向きを［縦］［横］から選択します。

### 8 ［印刷］ボタンをクリックする。

Macintosh の場合は［プリント］ダイアログが表示されます。

**［プリント］ダイアログ**

Windows の場合はフォト印刷が実行されます。

### 9 Macintosh の場合は［プリント］ボタンをクリックする。

フォト印刷が実行されます。

印刷が実行されている間、進行状況を示すダイアログが表示されます。

**進行状況を示すダイアログ**

印刷を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

# インデックス印刷

**1　ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、［ファイル］メニューから［印刷］を選択する。**
**またはツールバーの［印刷］アイコンをクリックする。**

［印刷］ダイアログが表示されます。「［印刷］ダイアログ」P.102

**2　［インデックス］タブを選択する。**

**［印刷］ダイアログ ［インデックス］タブ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| レイアウト | 印刷する画像のレイアウトを行×列で1～12の範囲で指定します。 |
| 付加情報 | 印刷する項目を［ファイル名］［撮影日時］から選択します。 |
| ［フォント］ | ［フォント］ダイアログが表示されます。付加情報として印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。 |
| ヘッダ・フッタ | ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。 |
| ［書式］ | ［ヘッダ・フッタ］ダイアログが表示されます。 |
| ［フォント］ | ［フォント］ダイアログが表示されます。ヘッダ・フッタとして印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。 |

## 3 インデックス印刷の各項目を設定する。

必要に応じて設定します。

**［レイアウト］を設定するには**

1 ページに印刷する画像のレイアウトを［行］［列］でそれぞれ設定します。

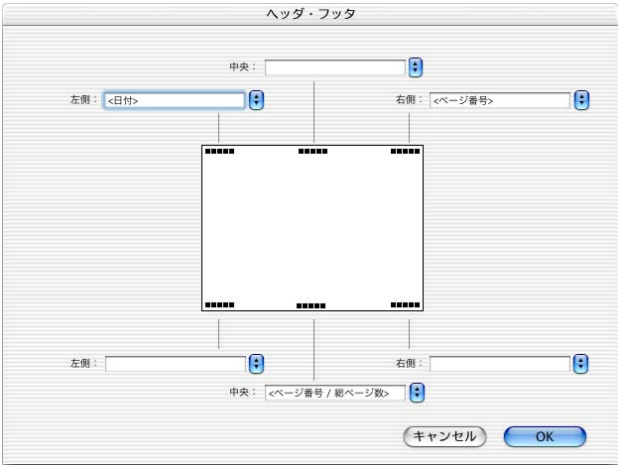
**［付加情報］を設定するには**

印刷する項目を［ファイル名］［撮影日時］から選択します。両方設定することもできます。印刷する文字のフォントを変更する場合は［フォント］ボタンをクリックし、［フォント］ダイアログで設定します。☞P.108

**［ヘッダ・フッタ］を設定するには**

ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。ヘッダ・フッタの編集を行う場合は［書式］ボタンをクリックし、［ヘッダ・フッタ］ダイアログで設定します。

**［ヘッダ・フッタ］ダイアログ**




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 左側／中央／右側（画面上）<br>左側／中央／右側（画面下） | 印刷する位置の項目を設定します。［日付］［ページ番号］［ページ番号／総ページ数］の中から選択します。直接文字を入力することもできます。 |
| ［キャンセル］ | ヘッダ・フッタの設定を取り消します。 |
| ［OK］ | 設定した内容を登録します。 |

### 4 ［領域のタイプ］を設定する。

用紙上に印刷する画像領域の形を［横画像優先］［縦画像優先］［混在］から選択します。

### 5 ［余白を均等にする］を設定する。

用紙の上下または左右の余白を均等に設定する場合に、チェックマークを付けます。

### 6 ［部数］を設定する。

印刷する部数を設定します。

### 7 ［用紙方向］を設定する。

印刷用紙の向きを［縦］［横］から選択します。

### 8 ［印刷］ボタンをクリックする。

Macintosh の場合は［プリント］ダイアログが表示されます。

**［プリント］ダイアログ**

Windows の場合はインデックス印刷が実行されます。

**9** **Macintosh の場合は［プリント］ボタンをクリックする。**

インデックス印刷が実行されます。

印刷が実行されている間、進行状況を示すダイアログが表示されます。

**進行状況を示すダイアログ**

印刷を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

*注意*

- 印刷する画像のレイアウトに問題があった場合は、［印刷］ボタンをクリックしたときにエラーメッセージが表示されます。

# コンタクトシート印刷

**1　ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、［ファイル］メニューから［印刷］を選択する。**
**または、ツールバーの［印刷］アイコンをクリックする。**

［印刷］ダイアログが表示されます。「［印刷］ダイアログ」P.102

**2　［コンタクトシート］タブを選択する。**

**［印刷］ダイアログ ［コンタクトシート］タブ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| レイアウト | 印刷する画像のレイアウトを行×列で1～12の範囲で指定します。 |
| 付加情報 | 印刷する項目を以下から選択します。<br>ファイル名、モデル名、カメラ ID、レンズ情報、焦点距離、シャッター速度、絞り値、露出補正、フラッシュ、ホワイトバランス、彩度、コントラスト、シャープネス、カラー設定、撮影モード、測光モード、ISO、フォーカスモード、マクロ、ドライブ、データフォーマット、画素数、撮影日時、撮影日、コメント |
| 印刷位置 | ［付加情報］を印刷する位置を［画像の右］［画像の下］から選択します。 |
| ［フォント］ | ［フォント］ダイアログが表示されます。付加情報として印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。 |

| | |
|---|---|
| ヘッダ・フッタ | ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。 |
| ［書式］ | ［ヘッダ・フッタ］ダイアログが表示されます。 |
| ［フォント］ | ［フォント］ダイアログが表示されます。ヘッダ・フッタとして印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。 |

### 3 コンタクトシート印刷の各項目を設定する。

必要に応じて設定します。

**［レイアウト］を設定するには**

1 ページに印刷する画像のレイアウトを［行］［列］でそれぞれ設定します。

**［付加情報］を設定するには**

印刷する項目を選択します。印刷する文字のフォントを変更する場合は［フォント］ボタンを選択し、［フォント］ダイアログで設定します。P.108

付加情報の印刷位置を［画像の右］［画像の下］から選択します。

**［ヘッダ・フッタ］を設定するには**

ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。ヘッダ・フッタの編集を行う場合は［書式］ボタンをクリックし、［ヘッダ・フッタ］ダイアログで設定します。P.111

### 4 ［領域のタイプ］を設定する。

用紙上に印刷する画像領域の形を［横画像優先］［縦画像優先］［混在］から選択します。

### 5 ［余白を均等にする］を設定する。

用紙の上下または左右の余白を均等に設定する場合に、チェックマークを付けます。

### 6 ［部数］を設定する。

印刷する部数を設定します。

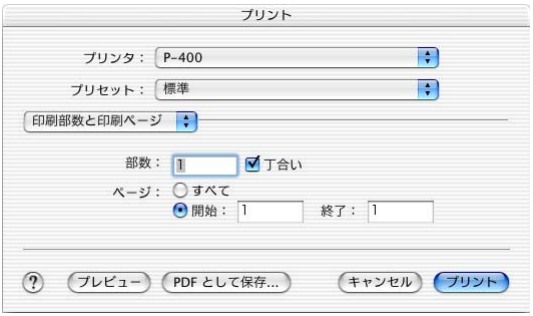
### 7 ［用紙方向］を設定する。

印刷用紙の向きを［縦］［横］から選択します。

## 8 ［印刷］ボタンをクリックする。

Macintosh の場合は、［プリント］ダイアログが表示されます。

**［プリント］ダイアログ**




Windows の場合は、コンタクトシート印刷が実行されます。

## 9 Macintosh の場合は［プリント］ボタンをクリックする。

コンタクトシート印刷が実行されます。

印刷が実行されている間、進行状況を示すダイアログが表示されます。

**進行状況を示すダイアログ**

印刷を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

注意

- 印刷する画像のレイアウトに問題があった場合は、［印刷］ボタンをクリックしたときにエラーメッセージが表示されます。

# 画像の E-mail 送信

ブラウズウィンドウで選択した画像を、送信メールに添付します。
画像の送信に使用するメールアプリケーションは、あらかじめ OS で設定しておきます。

*注意*

- メールを送信するには、指定したメールアプリケーションがメール送信可能な状態であることが必要です。

## OS でメールアプリケーションを設定する

### ● Macintosh（Mac OS 9）

**1 ［アップル］メニューから［コントロールパネル－インターネット－電子メール］を選択する。**

［インターネット］ダイアログが表示されます。

**［インターネット］ダイアログ［電子メール］タブ画面**

**2** **［使用する電子メールアプリケーション］でメールアプリケーションを選択する。**

**3** **［インターネット］ダイアログを閉じる。**

設定変更を確認するダイアログが表示されます。［保存］ボタンをクリックすると、メールアプリケーションの設定が適用されます。

## ● Macintosh（Mac OS X）

**1** **［アップル］メニューから［システム環境設定－インターネット－メール］を選択する。**

［インターネット］ダイアログが表示されます。

**［インターネット］ダイアログ［メール］タブ画面**

**2** **［デフォルトメールソフト］でメールアプリケーションを選択する。**

**3** **［インターネット］ダイアログを閉じる。**

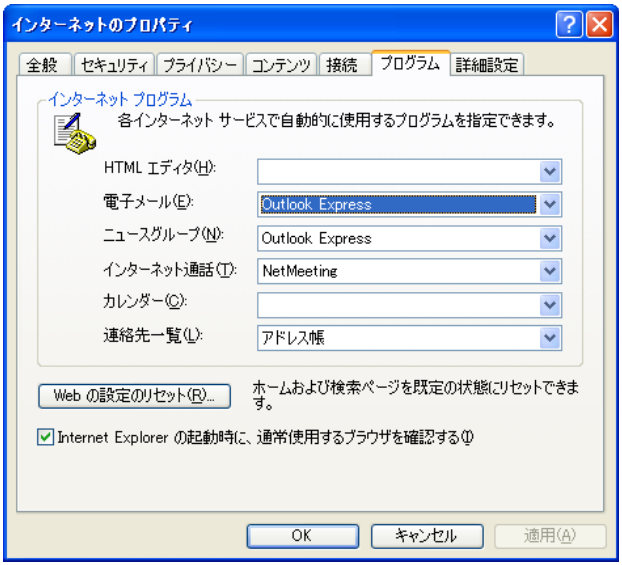
メールアプリケーションの設定が適用されます。

## ● Windows

### 1 タスクバーの［スタート］メニューから［設定－コントロールパネル－インターネットオプション－プログラム］を選択する。

［インターネットのプロパティ］ダイアログが表示されます。

**［インターネットのプロパティ］ダイアログ［プログラム］タブ画面**




### 2 ［電子メール］のプルダウンリストからメールアプリケーションを選択する。

### 3 ［OK］ボタンをクリックする。

メールアプリケーションの設定が適用され、［インターネットのプロパティ］ダイアログが閉じます。

# 画像を送信メールに添付する

**1** **ブラウズウィンドウで、メールに添付する画像を選択する。**

**2** **［ツール］メニューから［E-mail 送信］を選択する。**
**または、ツールバーの［E-mail 送信］アイコンをクリックする。**

［E-mail 送信］ダイアログが表示されます。

**［E-mail 送信］ダイアログ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| サイズ変更 | 添付する画像のサイズを変更したい場合に必要に応じて項目を設定します。 |
| 指定したサイズに縮小 | 添付する画像のサイズを縮小したい場合にチェックマークを付け、サイズを入力します。 |
| JPEG に変換 | 添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換したい場合にチェックマークを付けます。 |
| 圧縮率 | 添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換する場合、または現在の JPEG 画像のサイズを変更したい場合、ファイルの圧縮率を［高画質］［標準画質］［低画質］から選択します。 |
| 使用するメールアプリケーション | OS で設定されているメールアプリケーションが表示されます。 |
| ［キャンセル］ | 画像の添付を中止し、［E-mail 送信］ダイアログを閉じます。 |
| ［OK］ | 設定した条件で画像を送信メールに添付します。 |

### 3 添付する画像のサイズを変更する場合は、[サイズ変更] を設定する。

必要に応じて［指定したサイズに縮小］［JPEG に変換］［圧縮率］を設定します。

### 4 [OK] ボタンをクリックする。

メールアプリケーションが起動し、メール送信ウィンドウが表示されます。この送信メールに画像が添付されます。

ヒント

- メールを送信する操作については、ご使用のメールアプリケーションに付属の取扱説明書をご覧ください。
- OLYMPUS Viewerがサポートしているメールアプリケーションは次の通りです。

  Macintosh（Mac OS 9）: Outlook Express、Eudora
  Macintosh（Mac OS X）: Mail、Outlook Express、Eudora
  Windows : Outlook Express、Outlook、Eudora

注意

- ［JPEG に変換］にチェックマークをつけると、ファイルフォーマットを変換した送信メール添付用の画像が一時的に作られます。元の画像のファイルフォーマットは変換されません。
- ［E-mail 送信］ダイアログ上では［使用するメールアプリケーション］を変更できません。［使用するメールアプリケーション］の設定方法については、「OSでメールアプリケーションを設定する」をご覧ください。☞P.117

# ファームウェアのアップデート

インターネットに接続して、OLYMPUS E-System のボディ、レンズ、フラッシュ等のファームウェアのアップデートを行います。

**カメラのモード操作およびカメラとパソコンの接続／取り外し方法については、「OLYMPUS Viewer の起動」をご覧ください。P.10**

カメラの電源には、フル充電したバッテリーか、別売の AC アダプタを使用してください。

### 1 カメラの電源を ON にし、カメラの［PC モード］を［ストレージ］に設定する。

オリンパス製 E-1 の場合は、カメラの［PC モード］を［カメラコントロール］に設定します。

### 2 USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルで、カメラとパソコンを接続する。

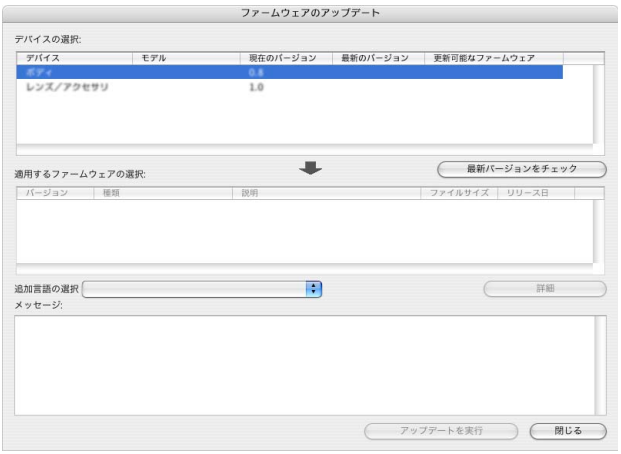
### 3 ブラウズウィンドウの［ヘルプ］メニューから［ファームウェアのアップデート］を選択する。

確認メッセージが表示されます。

### 4 確認メッセージの内容を確認して［はい］ボタンをクリックする。

［ファームウェアのアップデート］ダイアログが表示され、［デバイスの選択］リストに接続しているデバイスの現在のバージョンが表示されます。

**［ファームウェアのアップデート］ダイアログ - 最新バージョンのチェック前**



注意

- ファームウェアのアップデートに対応していないデバイスは、［デバイスの選択］リストに表示されません（ボディのファームウェアをアップデートすることにより、アップデートが可能になる場合があります）。
- レンズ関連アクセサリ（テレコンバータなど）が複数取り付けられている場合は、レンズやアクセサリが［デバイスの選択］リストに表示されない場合があります。
- 接続しているカメラによっては、[追加言語の選択]プルダウンリストは表示されません。

## 5 ［最新バージョンをチェック］ボタンをクリックする。

サーバーと通信を行い、［デバイスの選択］リストに各デバイスの最新のバージョンが表示されます。

新しいバージョンが存在するデバイスには、左側に「⬆」アイコンが表示されます。

**［ファームウェアのアップデート］ダイアログ - 最新バージョンのチェック後**

ヒント

- 表示言語を追加したい場合は、[追加言語の選択]プルダウンリストから追加言語を選択します。

### 6 ［デバイスの選択］リストで、アップデートを行うデバイスを選択する。

選択したデバイスに応じて、［適用するファームウェアの選択］リストの表示が切り替わります。

### 7 ［適用するファームウェアの選択］リストで、適用するファームウェアを選択する。

［詳細］ボタンをクリックすると、Web ブラウザが起動し、選択中のファームウェアの詳細説明ページが表示されます。

ヒント

- ［全ての適用可能なバージョンを表示］チェックマークを付けると、現在とは種類が異なる適用可能なファームウェアがサーバー上に存在する場合に限り、これらのファームウェアも表示されるようになります。種類が異なるファームウェアは、左側に「！」アイコンが表示されます（カメラの機能や表示可能な言語が変更される場合がありますので、ご注意ください）。

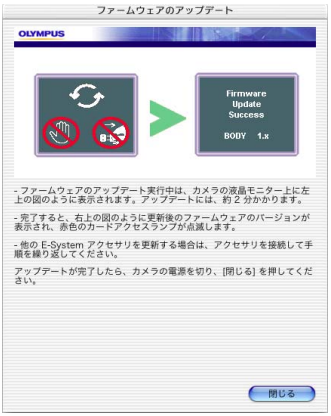
### 8 ［アップデートを実行］ボタンをクリックする。

確認メッセージ、および［使用許諾契約］ダイアログの表示後、ファームウェアのダウンロード、およびカメラへの転送が行われます。

### 9 「ファームウェアの転送が成功しました。」というメッセージが表示されたら、画面の指示に従って、カメラから USB ケーブルまたは IEEE1394（FireWire）ケーブルを抜く。

ケーブルを抜くと、ファームウェアのアップデートが自動的に開始されます。

**［ファームウェアのアップデート］ダイアログ - アップデート実行中**




**アップデートの実行中は、絶対にカメラの電源を切ったり、カメラのボタンを押したりしないでください。**

アップデートが完了すると、カメラの液晶モニターに更新後のファームウェアのバージョンが表示されます。

### *10* アップデートが完了したら、画面の指示に従ってカメラの電源を OFF にし、［閉じる］ボタンをクリックする。

- Macintosh で E-300 ファームウェアのアップデートを行うには、Mac OS X 以降の動作環境が必要です。Mac OS 9 には対応していませんので、ご注意ください。

# OLYMPUS Viewer の環境設定

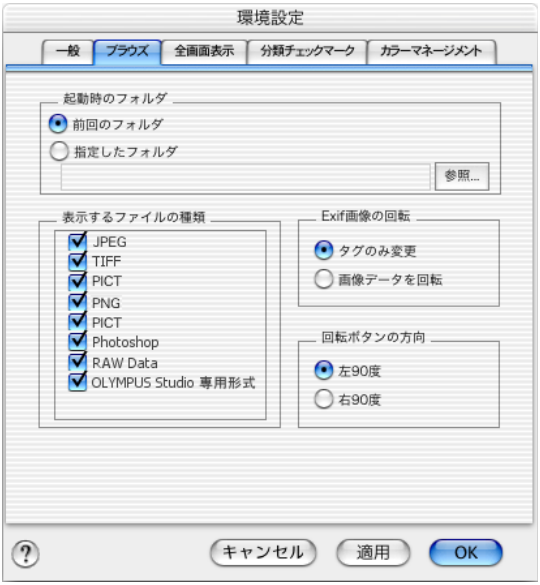
OLYMPUS Viewer の操作環境の設定を行います。

## OLYMPUS Viewer の環境設定を行う

**1　ブラウズウィンドウで、［ツール］メニューから［環境設定］を選択する。**
**または、ブラウズウィンドウで、ツールバーの［環境設定］をクリックする。**

［環境設定］ダイアログが表示されます。

**［環境設定］ダイアログ**




| 項目 | 内容 | 参照頁 |
|---|---|---|
| ［一般］タブ | OLYMPUS Viewer の自動起動と登録アプリケーションを設定するときに選択します。 | P.128 |
| ［ブラウズ］タブ | ブラウズウィンドウ上の動作に関する設定を行うときに選択します。 | P.130 |
| ［全画面表示］タブ | ブラウズウィンドウ上の全画面表示やスライドショーに関する設定を行うときに選択します。 | P.132 |

| | | |
|---|---|---|
| ［分類チェックマーク］タブ | 分類チェックマークの色や形の変更、データファイルの削除に関する設定を行うときに選択します。 | P.135 |
| ［カラーマネージメント］タブ | カラーマネージメントに関する設定を行うときに選択します。 | P.138 |
| ［キャンセル］ | 環境設定を取り消します。 | — |
| ［適用］ | 設定した内容を適用します。 | — |
| ［OK］ | 設定した内容を適用し、［環境設定］ダイアログを閉じます。 | — |

### 2 変更する項目のタブをクリックし、内容を設定する。

「［一般］タブを設定する」P.128
「［ブラウズ］タブを設定する」P.130
「［全画面表示］タブを設定する」P.132
「［分類チェックマーク］タブを設定する」P.135
「［カラーマネージメント］タブを設定する」P.138

### 3 ［OK］ボタンをクリックする。

［環境設定］ダイアログが閉じます。

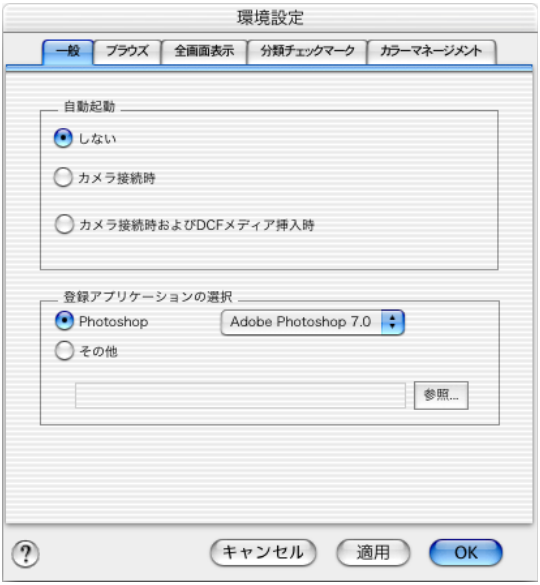
# [一般] タブを設定する

OLYMPUS Viewer の自動起動の設定と登録アプリケーションの選択を行います。

## 1 [環境設定] ダイアログで [一般] タブを選択する。

[一般] タブが表示されます。

**[環境設定] ダイアログ [一般] タブ**




| 項目名 | 内容 |
|---|---|
| 自動起動 | カメラをパソコンに接続したとき、メディアをパソコンに挿入したときに、OLYMPUS Viewer を自動的に起動させるかどうかを設定します。[しない]、[カメラ接続時] または [カメラ接続時および DCF メディア挿入時] を選択します。<br>• しない：<br>自動起動を行いません。<br>• カメラ接続時：<br>オリンパス製カメラをパソコンに接続したときに OLYMPUS Viewer が自動的に起動します。<br>• カメラ接続時および DCF メディア挿入時：<br>オリンパス製カメラをパソコンに接続したときおよび DCF（Design rule for Camera File System）準拠で記録されたメディアをパソコンに挿入したときにOLYMPUS Viewerが自動的に起動します。 |

| | |
|---|---|
| 登録アプリケーションの選択 | ブラウズウィンドウで［編集］メニューから［登録アプリケーションを起動］を選択した場合に起動するアプリケーションを設定します。<br>［Photoshop］または［その他］を選択します。<br>• ［Photoshop］：<br>インストール済みの Photoshop を自動的に認識します。インストールされていない場合は淡色表示されます。バージョンの異なる複数の Photoshop がインストールされている場合は、プルダウンリストに表示されますので、使用する Photoshop を選択します。<br>• ［その他］：<br>［参照］ボタンをクリックし、使用するアプリケーションを指定します。 |

## 2 各項目を設定する。

**自動起動を設定するには**

［カメラ接続時］または［カメラ接続時および DCF メディア挿入時］を選択します。

「カメラとパソコンを接続する」P.10
「OLYMPUS Viewer を自動起動する」P.16

**画像編集用のアプリケーションを選択するには**

［登録アプリケーションの選択］から［Photoshop］または［その他］を選択します。［その他］を選択した場合は、［参照］ボタンをクリックしてアプリケーションの実行ファイル（*.exe）を選択します。

注意

- Windows XP の場合、ストレージモードのカメラを接続したりメディアを挿入すると、［自動起動］の設定に関わらず［自動再生］ダイアログが表示されます。
- Windows XP の場合、［カメラ接続時および DCF メディア挿入時］は淡色表示され、選択できません。

ヒント

- ［登録アプリケーションの選択］の設定を変更すると、次の場合に起動するアプリケーションも変更されます。
  - ブラウズウィンドウで、［編集］メニューから［登録アプリケーションを起動］を選択した場合。
  - ブラウズウィンドウのツールバーの［登録アプリケーションの起動］アイコンをクリックした場合。

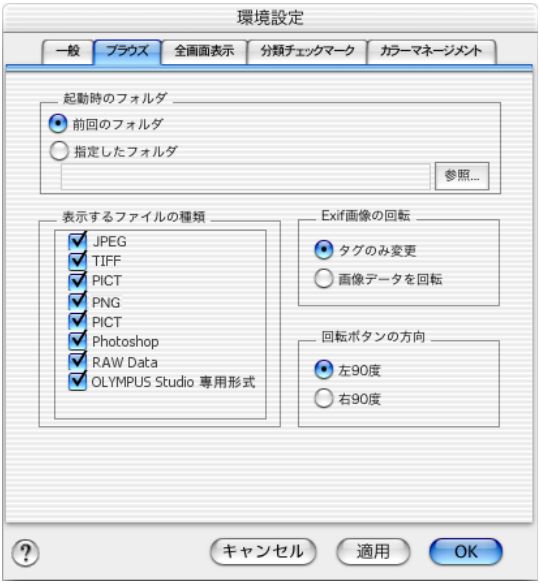
# ［ブラウズ］タブを設定する

ブラウズウィンドウ起動時に最初に表示するフォルダ、サムネイル表示エリアに表示するファイルの種類、Exif 画像に関する設定、回転ボタンの方向など、ブラウズウィンドウに関する環境設定を行います。

## *1* ［環境設定］ダイアログで［ブラウズ］タブを選択する。

［ブラウズ］タブが表示されます。

**［環境設定］ダイアログ　［ブラウズ］タブ**




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 起動時のフォルダ | ブラウズウィンドウ起動時に、最初にサムネイル表示エリアに表示するフォルダを設定します。［前回のフォルダ］［指定したフォルダ］のいずれかを選択します。<br>• ［前回のフォルダ］：<br>最後にブラウズウィンドウで参照したフォルダが表示されます。<br>• ［指定したフォルダ］：<br>［参照］ボタンをクリックしてフォルダを指定します。 |
| 表示するファイルの種類 | サムネイル表示エリアに表示するファイルの種類を以下から選択します。<br>JPEG、TIFF、PICT（Macintosh 版のみ）、Bitmap（Windows 版のみ）、PNG、Photoshop、RAW Data、OLYMPUS Studio 専用形式 |

| | |
|---|---|
| Exif 画像の回転 | サムネイル表示エリアで Exif 画像の回転を行った場合の動作を設定します。タグの内容のみ変更し、画像データは回転させない場合は［タグのみ変更］を選択します。画像データ自体を回転させる場合は［画像データを回転］を選択します。 |
| 回転ボタンの方向 | サムネイル枠の［回転］ボタンの回転方向を［左 90 度］［右 90 度］から選択します。 |

## 2 各項目を設定する。

**起動時にサムネイル表示エリアに表示されるフォルダを設定するには**

［起動時のフォルダ］から［前回のフォルダ］または［指定したフォルダ］を選択します。［指定したフォルダ］を選択した場合は、［参照］ボタンをクリックしてフォルダツリーから表示するフォルダを選択します。

**サムネイル表示エリアに表示されるファイルの種類を設定するには**

［表示するファイルの種類］から表示するファイルにチェックマークを付けます。

**Exif 画像の回転方法を設定するには**

［Exif 画像の回転］から［タグのみ変更］または［画像データを回転］を選択します。

［画像データを回転］を選択して JPEG 画像を回転すると、ロスレス回転が実行されます。☞「画像の回転」P.46

**サムネイル枠の［回転］ボタンの回転方向を設定するには**

［回転ボタンの方向］から［左 90 度］または［右 90 度］を選択します。

ヒント

- ［Shift］キーを押しながら［回転］ボタンをクリックすることで、一時的に画像の回転方向を逆にすることができます。

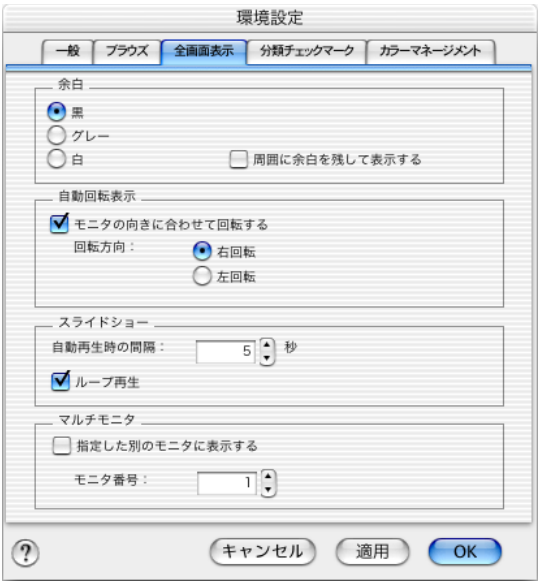
# ［全画面表示］タブを設定する

全画面表示時の余白の色、全画面表示時の自動回転の有無、スライドショーの設定、マルチモニタの設定を行います。

## *1* ［環境設定］ダイアログで［全画面表示］タブを選択する。

［全画面表示］タブが表示されます。

**［環境設定］ダイアログ　［全画面表示］タブ**




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 余白 | 画像を全画面表示した場合の余白の色を設定します。［黒］［グレー］［白］から選択します。 |
| 周囲に余白を残して表示する | チェックマークを付けると、全画面表示した場合、画面の周囲に余白を残して画像が表示されます。 |
| 自動回転表示 | • モニタの向きに合わせて回転する：<br>チェックマークを付けると、全画面表示した場合、画像がモニターの向きに合わせて自動的に回転して表示されます。<br>• 回転方向：<br>画像が自動回転する方向を［右回転］［左回転］から選択します。 |

| | |
|---|---|
| スライドショー | • 自動再生時の間隔：<br>1 つの画像を表示後、次の画像に切り替わるまでの時間を秒数で設定します。<br>• ループ再生：<br>チェックマークを付けると、スライドショーの対象画像を全て表示後、最初の画像に戻って表示が繰り返されます。 |
| マルチモニタ | • 指定した別のモニタに表示する：<br>チェックマークを付けると、以下の操作を行った場合、指定した別のモニタに画像を全画面表示します。<br>• ブラウズウィンドウのブラウズモードで、サムネイルをダブルクリックする。<br>• ブラウズウィンドウのライトボックスモードで、画像比較エリア上の画像をダブルクリックする。<br>• ブラウズウィンドウでスライドショーを実行する。<br>• モニタ番号：<br>マルチモニタ設定時、全画面表示するモニタの番号を設定します。 |

## 2 各項目を設定する。

**全画面表示時の余白の色を設定するには**

［余白］から［黒］［グレー］または［白］を選択します。画面の周囲に常に余白を残して表示したい場合は、［周囲に余白を残して表示する］にチェックマークを付けます。

**縦画像を横向きで表示することで大きく表示する設定をするには**

［自動回転表示］の［モニタの向きに合わせて回転する］にチェックマークを付け、回転方向を［右回転］または［左回転］から選択します。

**スライドショーの再生間隔やループ再生を設定するには**

［スライドショー］の［自動再生時の間隔］を秒単位で設定します。繰り返しスライドショーを行う場合は、［ループ再生］にチェックマークを付けます。

**マルチモニタを設定するには**

現在 OLYMPUS Viewer を起動しているモニタとは別のモニタに画像を全画面表示したい場合は、［指定した別のモニタに表示する］にチェックマークを付け、［モニタ番号］にモニタ番号を指定します。モニタの番号は OS の設定にしたがって指定してください。

注意

- ［マルチモニタ］を設定するためには、MacintoshまたはWindowsが2台以上のモニタを認識している必要があります。1台のモニタしか認識していない場合は、［マルチモニタ］は淡色表示され、設定できません。

ヒント

- ［余白］の設定を変更すると、以下の設定も変更されます。
  ビューモードの単画像領域の余白
  スライドショーを実行した場合の余白
- マルチモニタの設定で指定したモニタの全画面表示を消したい場合は、以下の操作を行います。
  ［Esc］キーを押す
  全画面表示上をダブルクリックする

# ［分類チェックマーク］タブを設定する

分類チェックマークの色、形状、文字を設定します。また、分類チェックマークを記憶したデータファイルを削除して、不要になった分類チェックマークを一括して削除することができます。

## 1 ［環境設定］ダイアログで［分類チェックマーク］タブを選択する。

［分類チェックマーク］タブが表示されます。

**［環境設定］ダイアログ　［分類チェックマーク］タブ**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| カスタマイズ | 分類チェックマークのデザインを［色］［イラスト］［テキスト］から選択し、それぞれ詳細を設定します。<br>• 色：<br>プルダウンリストから色を選択します。プルダウンリストの［参照］を選択すると色選択用のダイアログが表示されますので、任意の色を指定することができます。<br>• イラスト：<br>プルダウンリストからイラストを選択します。プルダウンリストの［参照］を選択すると［ファイルを開く］ダイアログが表示されますので、事前に作成した画像ファイルを指定することができます。<br>• テキスト：<br>分類チェックマークとして表示させる 1 文字を入力します。<br>• ［フォント］：<br>［テキスト］を選択したとき、表示するフォントを設定します。プルダウンリストからフォントを選択します。 |
| データファイルの削除 | 分類チェックマークの記憶用データファイルを削除します。<br>• フォルダの選択：<br>フォルダツリーから削除したいデータファイルのあるフォルダを指定します。<br>• 指定日以前のデータのみを削除：<br>チェックマークを付けると、プルダウンリストで指定した日時より以前のデータファイルだけを削除します。<br>• ［削除実行］：<br>指定したデータファイルを削除します。 |

## 2 各項目を設定する。

**分類チェックマークをカスタマイズするには**

［カスタマイズ］から［色］［イラスト］または［テキスト］を選択します。分類チェックマークは 3 種類ありますので、3 種類の色、イラストまたは文字を選択します。

ヒント

• ［フォント］プルダウンリストでは、使用するフォントのフォント名だけが指定できます。フォントのスタイル（太字や斜体など）やサイズを指定することはできません。

**分類チェックマークに使用するイラストを作成するには**

分類チェックマークに使用したいイラストがある場合は、以下の条件で画像ファイルを作成しておきます。

- 画像形式：TIFF、PICT（Macintosh 版のみ）、Bitmap（Windows 版のみ）
- 色数：黒、白の 2 色
- 画像サイズ：11 × 11 ピクセル

条件に合わない画像ファイルは、分類チェックマークに使用することができません。条件に合わない画像ファイルを［イラスト］に選択すると、エラーメッセージが表示されます。

**分類チェックマークの記録用データファイルを削除するには**

［データファイルの削除］の［フォルダの選択］から削除したいデータファイルのあるフォルダを選択し、［削除実行］ボタンをクリックします。特定日以前のデータファイルを削除する場合は、［指定日以前のデータのみを削除］にチェックマークを付けてからプルダウンリストで日付を指定します。

- ［フォルダの選択］で指定したフォルダにサブフォルダがある場合、サブフォルダ内のデータファイルも削除されます。
- 他のアプリケーションソフトで分類チェックマークのデータファイルを削除すると、画像に付けられた分類チェックマークが消えてしまいますので注意してください。

- 分類チェックマークのデータファイルは、ブラウズウィンドウで画像に分類チェックマークを付けると自動的に作成されます。このデータファイルはチェックマークを付けた画像のあるフォルダ内に保存されます。

# ［カラーマネージメント］タブを設定する

カラーマネージメントに関する設定を行います。

同じ画像であっても、使用するモニタやプリンタなどによって表示される色が変化してしまうことがあります。こうした色の不一致が発生するのを防ぐシステムを、「カラーマネージメント」といいます。
モニタ、プリンタなどの入出力機器は、表現可能な色再現域を「カラースペース」で定義します。各入出力機器により色再現域は異なるので、「プロファイル」で色の違いを補正します。プロファイルは画像の保存時に自動的に画像に埋め込まれますが、画像のモニタ表示や印刷に使用するプロファイルは、別に OS で設定されています。［カラーマネージメント］タブでは、画像保存時のプロファイル埋め込みを解除したり、OS 設定のプロファイルを使用しないよう設定することができます。OS の設定を確認後、必要に応じて［カラーマネージメント］タブの設定を変更します。

## OS のプロファイル設定を確認する

画像をモニタに表示するときに使用するプロファイルと、画像を印刷するときに使用するプロファイルが、OS でどのように設定されているか確認します。それぞれの設定は［カラーマネージメント］タブで設定する［モニタプロファイル］と［プリンタプロファイル］に対応します。

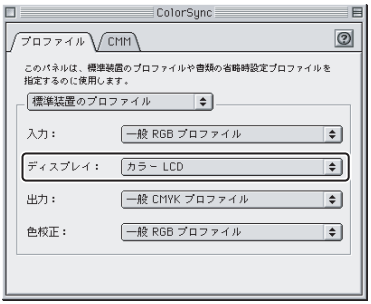
### ● 画像をモニタに表示するときに使用するプロファイルの設定を確認する

**Mac OS 9 の場合**

**1** **［アップル］メニューから［コントロールパネル－ ColorSync］を選択する。**

**2** **［プロファイル］タブを選択し、［標準装置のプロファイル］の内容から［ディスプレイ］の設定を確認する。**

**［ColorSync］ダイアログ ［プロファイル］タブ（Mac OS 9）**

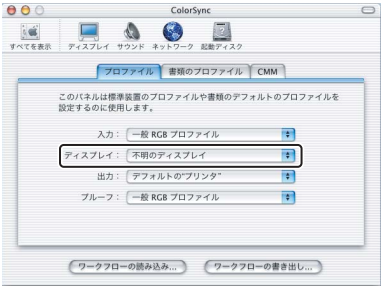


## Mac OS X (10.1) の場合

**1** ［アップル］メニューから［システム環境設定］を選択し、［ColorSync］を選択する。

**2** ［プロファイル］タブを選択し、［ディスプレイ］の設定を確認する。

［ColorSync］ダイアログ　［プロファイル］タブ（Mac OS X (10.1)）

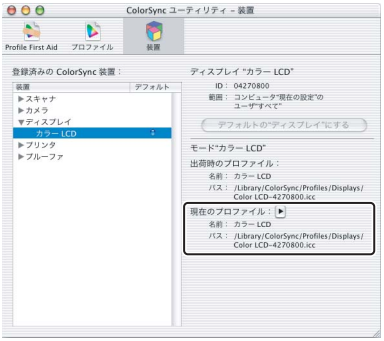



## Mac OS X (10.2) の場合

**1** 起動ディスクの［アプリケーション－ユーティリティ］フォルダを開き、［ColorSync ユーティリティ］をダブルクリックする。

**2** ［装置］を選択し、装置から［ディスプレイ］を選択して［現在のプロファイル］の設定を確認する。

［ColorSync ユーティリティ］ダイアログ　［装置］（Mac OS X (10.2)）



## Windows

**1** **デスクトップを表示した状態で右クリックすると表示されるリストから［プロパティ］を選択する。**

［画面のプロパティ］ダイアログが表示されます。

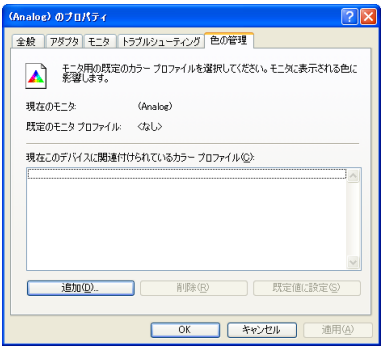
**2** **［画面のプロパティ］ダイアログで［設定］タブを選択する。**

**［画面のプロパティ］ダイアログ　［設定］タブ**

**3** **［詳細設定］ボタンをクリックすると表示されるダイアログで、［色の管理］タブを選択する。**

表示されるダイアログの名称はご使用のモニタによって異なります。

**［色の管理］タブ**




**4** **［既定のモニタプロファイル］の設定を確認する。**

確認が終了したら、［キャンセル］ボタンをクリックして［画面のプロパティ］ダイアログを閉じます。

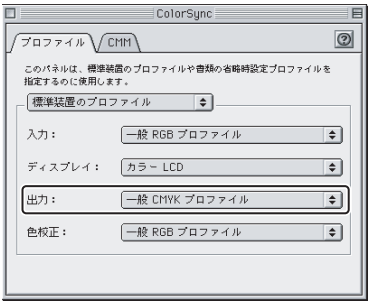
## ●画像を印刷するときに使用するプロファイルの設定を確認する

### Mac OS 9 の場合

**1** ［アップル］メニューから［コントロールパネル－ ColorSync］を選択する。

**2** ［プロファイル］タブを選択し、［標準装置のプロファイル］の内容から［出力］の設定を確認する。

［ColorSync］ダイアログ　［プロファイル］タブ（Mac OS 9）

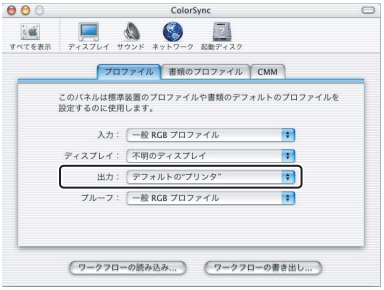



### Mac OS X (10.1) の場合

**1** ［アップル］メニューから［システム環境設定］を選択し、［ColorSync］を選択する。

**2** ［プロファイル］タブを選択し、［出力］の設定を確認する。

［ColorSync］ダイアログ　［プロファイル］タブ（Mac OS X (10.1)）



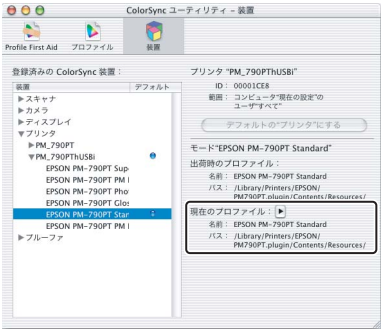
## Mac OS X (10.2) の場合

### 1 起動ディスクの［アプリケーション－ユーティリティ］フォルダを開き、［ColorSync ユーティリティ］をダブルクリックする。

### 2 ［装置］を選択し、装置から［プリンタ］を選択して［現在のプロファイル］の設定を確認する。

複数のプリンタを接続している場合は、［プリンタ］の下に表示されるプリンタ名から使用するプリンタを選択して設定を確認してください。

**［ColorSync ユーティリティ］ダイアログ ［装置］（Mac OS X (10.2)）**



## Windows

**1** **タスクバーの［スタート］メニューから［設定－コントロールパネル－プリンタ］を選択し、プリンタを一覧表示する。**

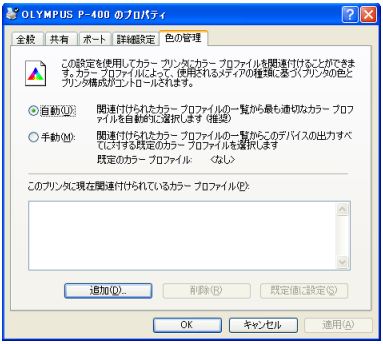
**2** **使用しているプリンタを選択して右クリックし、［プロパティ］を選択する。**

ご使用のプリンタのプロパティ設定ダイアログが表示されます。

**3** **プリンタのプロパティ設定ダイアログで［色の管理］タブを選択する。**

表示されるダイアログの名称はご使用のモニタによって異なります。

**［色の管理］タブ**




**4** **カラープロファイルの設定を確認する。**

確認が終了したら、［キャンセル］ボタンをクリックしてプリンタのプロパティ設定ダイアログを閉じます。

**注意**

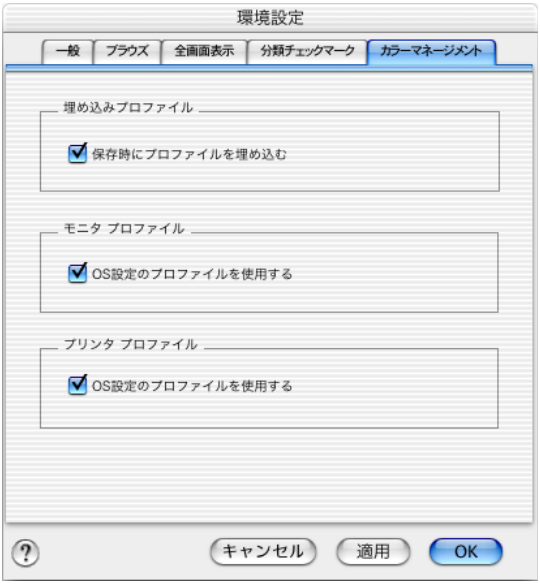
- モニタに表示する色と印刷する色の確認方法は、ご使用の OS のバージョンによって異なる場合があります。
- モニタプロファイル、プリンタプロファイルの指定方法については、ご使用のモニタ、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。
- Windows でマルチモニタの設定を有効にして使用する場合は、主に画像を表示するモニタに合ったプロファイルを指定してください。

# ［カラーマネージメント］タブの設定

**1** **［環境設定］ダイアログで［カラーマネージメント］タブを選択する。**

［カラーマネージメント］タブが表示されます。

**［環境設定］ダイアログ　［カラーマネージメント］タブ**




| 項目名 | 内容 |
|---|---|
| 埋め込みプロファイル | ［保存時にプロファイルを埋め込む］にチェックマークを付けると、画像を保存するときにプロファイルを埋め込みます。 |
| モニタプロファイル | ［OS 設定のプロファイルを使用する］にチェックマークを付けると、OS で設定されているモニタプロファイルを使用して画像をモニタで表示します。 |
| プリンタプロファイル | ［OS 設定のプロファイルを使用する］にチェックマークを付けると、OS で設定されているプリンタプロファイルを使用して画像を印刷します。 |

## 2 各項目を設定する。

**埋め込みプロファイルを設定するには**

画像を保存するときにプロファイルを画像に埋め込む場合は、［保存時にプロファイルを埋め込む］にチェックマークを付けます。埋め込むプロファイルは、保存形式の種類ごとに自動的に判定されます。プロファイルを埋め込まないようにしたい場合は、チェックマークを外します。

**モニタプロファイルを設定するには**

OS で設定されているモニタプロファイルを使用してモニタに表示する場合は、［OS 設定のプロファイルを使用する］にチェックマークを付けます。

**プリンタプロファイルを設定するには**

OS で設定されているプリンタプロファイルを使用して印刷する場合は、［OS 設定のプロファイルを使用する］にチェックマークを付けます。

ヒント

- カメラで撮影した画像は、カメラの撮影メニューの［カラー設定］で選択したカラースペースが適用されます。OLYMPUS Viewer で現像処理して保存した RAW データは、［RAW 現像］ダイアログの［カラー設定］で選択したカラースペースが適用されます。

# その他

## メニュー一覧

### ●［ファイル］メニュー

| | |
|---|---|
| フォルダの新規作成 | フォルダツリーで選択しているドライブまたはフォルダの中に、新しいフォルダを作成します。 |
| 選択ファイルを新規サブフォルダに移動 | 選択した画像ファイルが保存されているフォルダに新しいサブフォルダを作成し、選択している画像ファイルをこのフォルダに移動します。 |
| 名前の変更 | サムネイル表示エリアで選択しているファイルおよびフォルダの名前を変更します。 |
| 名前の一括変更 | サムネイル表示エリアで選択している複数の画像ファイルの名前を一括変換します。 |
| 削除 | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを削除します。 |
| 検索 | 指定した条件で画像ファイルを検索し、検索結果をサムネイル表示エリアに表示します。 |
| プロパティ | プロパティ領域の表示／非表示を切り替えます。 |
| 印刷 | ブラウズウィンドウで選択している画像を印刷します。印刷の種類はフォト印刷、インデックス印刷、コンタクトシート印刷から選択できます。 |
| 終了 | ブラウズウィンドウを閉じます。<br>（Mac OS X では表示されません。） |

## ●［編集］メニュー

| | |
|---|---|
| 登録アプリケーションを起動 | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを、登録アプリケーションを起動して開きます。あらかじめ［環境設定］でアプリケーションの登録が必要です。 |
| RAW 現像 | 露出補正やカラー設定など、RAW データの現像処理を設定できます。 |
| 切り取り | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを切り取ります。 |
| コピー | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルをコピーします。 |
| 画像コピー | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルの内容をクリップボードにコピーします。 |
| 貼り付け | ［コピー］または［切り取り］を行った画像ファイルを、指定したドライブまたはフォルダに貼り付けます。 |
| 画像の回転 | 選択している画像の表示を回転します。回転角度は［右 90 度］、［左 90 度］、［180 度］から選択できます。 |
| すべて選択 | サムネイル表示エリアで表示しているすべての画像を選択します。 |

## ●［表示］メニュー

| | |
|---|---|
| ブラウズモード | フォルダツリーで選択しているフォルダ内の画像ファイルをサムネイル表示エリアに一覧表示します。 |
| ビューモード | サムネイル表示エリアで選択している画像を拡大して単画像表示エリアに表示します。複数の画像を選択している場合は、最後に選択した画像を表示します。 |
| ライトボックスモード | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを画像比較エリアに表示します。 |
| 全画面表示／スライドショー | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを画面全体に表示します。スライドショーを表示することもできます。 |
| ツールバーを表示／隠す | ツールバーの表示／非表示を切り替えます。 |
| ショートカット領域を表示／隠す | ショートカット領域の表示／非表示を切り替えます。 |
| コレクション領域を表示／隠す | コレクション領域の表示／非表示を切り替えます。 |
| 前の画像 | サムネイル表示エリアで選択している１つ前の画像ファイルをコピー表示します。 |
| 次の画像 | サムネイル表示エリアで選択している１つ次の画像ファイルを表示します。 |
| サムネイル表示サイズ | サムネイル表示エリアに表示されるサムネイルの表示サイズを設定します。 |
| サムネイル一覧の表示項目 | サムネイル枠に表示される項目の表示／非表示を切り替えます。 |
| 並べ替え | サムネイルの表示順序を指定して並び替えます。 |
| 表示倍率 | 単画像表示エリアおよび画像比較エリアで選択している画像ファイルの表示倍率を変更します。 |
| 通常モード | カーソルが矢印カーソルに切り替わります。 |
| ズームインモード | カーソルが虫眼鏡カーソル（＋）に切り替わります。単画像表示エリアおよび画像比較エリアに表示されている画像をクリックすると拡大表示します。 |
| ズームアウトモード | カーソルが虫眼鏡カーソル（－）に切り替わります。単画像表示エリアおよび画像比較エリアに表示されている画像をクリックすると縮小表示します。 |
| スクロールモード | カーソルが手のひらツールに切り替わります。単画像表示エリアおよび画像比較エリアに表示されている画像をドラッグするとスクロールします。 |

| | |
|---|---|
| 分類チェックマーク絞り込み表示 | ［絞り込みパレット］の表示／非表示を切り替えます。サムネイル表示エリアに表示される画像ファイルをチェックマークの分類別に切り替えることができます。 |
| 最新の情報に更新 | フォルダの再読み込みを行い、サムネイル表示エリアの表示を更新します。 |

## ●[ツール] メニュー

| | |
|---|---|
| 画像の取り込み | カメラまたはメディア内の画像をパソコンに取り込みます。 |
| フォーマット変換 | サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを、異なるファイルフォーマットに変換して保存します。 |
| E-mail 送信 | ブラウズウィンドウで選択している画像のサイズ変更やフォーマット変換を行い、送信メールに添付します。 |
| ツールバーのカスタマイズ | ツールバーに表示するボタンの種類を設定します。ボタンの追加／削除や、アイコンの大きさを指定することができます。ボタンの並び順も変更することができます。 |
| 環境設定 | OLYMPUS Viewer の全般的な環境設定を行います。 |

## ●[ヘルプ] メニュー

| | |
|---|---|
| OLYMPUS Viewer ヘルプ | ヘルプで表示させたいトピックの検索を行います。 |
| ソフトウェアのアップデート | ソフトウェアのアップデートを行います。 |
| ファームウェアのアップデート | ファームウェアのアップデートを行います。 |
| オンラインユーザ登録 | オンラインユーザ登録を行います。 |
| バージョン情報 | OLYMPUS Viewer のバージョン情報を表示します。 |

# 用語解説

**Bitmap**
ピクセルにアドレスを付けてデータ管理をする方式。Macintoshでは、ピクセルを組み合わせて表わした絵や文字も指す。Windows 環境で標準的に使用されるビットマップファイルフォーマット。

**DCF**
Design rule for Camera File System の略。各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための画像フォーマット。

**Exif**
Exchangeable Image File Format の略。JPEG 画像のデータ形式をベースとし、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込んだ画像ファイル形式。

**IEEE1394（FireWire）**
パソコンと外部の機器を接続するための規格の一つ。この規格に準拠した IEEE1394（FireWire）ケーブルは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどの機器を接続する際に使用する。転送速度が400Mbpsと高速であるため、大きなデータを早く転送することができる。一定時間ごとのデータ転送を保証する機能（Isochronous 転送）がサポートされている。

**JPEG**
画像を圧縮して保存するファイル形式の一つ。画像の一部の情報を省略することによって、ファイルサイズを小さく圧縮して記録。圧縮することにより画質がやや劣化するが、同じ記録容量に対してより多くの枚数の画像を保存することができる。

**PICT**
画像データの保存形式の一つ。Macintosh 標準のグラフィックフォーマット。ビットマップとドローオブジェクトの両方をもつことができる。24bitカラーや256階調の白黒にも対応している。

**PNG**
Portable Network Graphics の略。画像データによっては JPEG だと劣化しやすく、GIF 形式は特許問題があることから、このファイル形式が注目されている。圧縮率もきわめて高い。

**RAW データ**
オリンパス製カメラで画質モードを［RAW］に設定して撮影すると、RAW データとして画像が保存される。RAW データはカメラ内で現像処理せず、撮影素子（CCD）データをそのまま保存したもの。OLYMPUS Viewer で現像処理を行うことができる。「OLYMPUS RAW File 形式」のデータの拡張子は「*.orf」として、現像処理の設定変更を保持した状態で保存される。保存した RAW データを開くと、ヘッダ部の設定が適用された状態で画像が表示される。他のアプリケーションでRAWデータを使用する場合は、ファイル形式を JPEG 形式などに変換する必要がある。

**TIFF**
画像を保存するファイル形式の一つ。画像を圧縮せずに保存するため、ファイルサイズは大きくなるが、画質の劣化は少ない状態。大きなサイズに引きのばして印刷する画像の保存に適している。

**USB**
Universal Serial Bus の略で、パソコンと外部の機器を接続するための規格の一つ。この規格に準拠した USB ケーブルは、デジタルカメラやプリンタなどの機器を接続する際に使用する。電源を入れた状態のままで機器の取り外しが可能で、一度に多数の機器を接続することができる。転送速度が 12Mbps の USB と、480Mbps の USB2.0 の 2 種類がある。

**カラースペース**
表現可能な色再現域を定義したもの。プリンタ、モニタなどの入出力機器は、機器ごとに色再現域が異なるので、入力から出力までのカラー環境を整備するには、カラースペースにより各デバイスでの異なる色再現域を管理する必要がある。

**プロファイル**
カラー属性ファイル。入力と出力デバイスの色再現域特性を定義したファイル。カラーマネージメントシステムはプロファイルを使って、画像の入出力時にデバイス間での色の違いを補正してデータ変換を行う。

# 索引


**英数／記号**

1 枚の画像を印刷する回数 .....107
Bitmap .....151
ColorSync ダイアログ .....138
　プロファイルタブ .....138, 139
ColorSync ユーティリティ
　ダイアログ .....139, 142
DCF .....151
DCIM フォルダ .....23
E-mail 送信 .....34, 150
E-mail 送信ダイアログ .....120
Exif .....151
Exif 画像の回転 .....131
IEEE1394 (FireWire) .....151
JPEG .....151
JPEG に変換 .....120
PICT .....151
PNG .....151
RAW アイコン .....37
RAW 現像 .....34, 147
RAW 現像ダイアログ .....74
RAW データ .....152
TIFF .....152
USB .....152

**あ行**

アイコンのオプション .....35
新しい名前 .....82, 87
新しい日時 .....73
圧縮率 .....77, 94, 120
一度に追加 .....61
一度に追加チェックボックス .....65
移動先のフォルダ .....81
色 .....108
印刷 .....34, 103, 146
印刷位置 .....114
印刷サイズ指定 .....106
印刷ダイアログ .....102
　インデックスタブ .....110
　コンタクトシートタブ .....114
　フォトタブ .....106
インターネットダイアログ .....117
　電子メールタブ画面 .....117
　メールタブ画面 .....118
インターネットのプロパティ
　ダイアログ .....119
　プログラムタブ画面 .....119
埋め込みプロファイル .....144

**か行**

開始 .....21
開始番号 .....86
回転 .....30, 42
回転ボタン .....37, 46
回転ボタンの方向 .....131
影を付ける .....107, 108
カスタマイズ .....136
画像コピー .....147
画像情報 .....70
画像の回転 .....147
画像の取り込み .....34, 150
画像比較エリア .....32, 61
画像枚数、ファイルサイズ表示 .....21
画鋲 .....61
画鋲ボタン .....67
カメラ .....20
カメラ接続時 .....17
カメラ接続時および DCF メディア
　挿入時 .....18
画面にフィット .....31, 42, 61
画面のプロパティダイアログ .....140
　設定タブ .....140
　色の管理タブ .....140
カラースペース .....152
カラー設定 .....76
環境設定 .....35, 150
環境設定ダイアログ .....16, 126
　カラーマネージメントタブ .....144
　一般タブ .....128
　全画面表示タブ .....132
　ブラウズタブ .....130
　分類チェックマークタブ .....135
機材情報 .....70
既定のモニタプロファイル .....140
起動時のフォルダ .....130
桁数 .....86
現在の名前 .....82, 86
現在の日時 .....73

検索 . . . . . .146
検索開始 . . . . . .97
検索条件 . . . . . .97
検索ダイアログ . . . . . .97
検索場所 . . . . . .97
降順 . . . . . .40
コメント . . . . . .72, 77
コメントの編集ダイアログ . . . . . .72
コレクションアイコン . . . . . .37
コレクション選定ダイアログ . . . . . .58
コレクションビューモード . . . . . .57
コレクションボタン . . . . . .31
コレクション領域 . . . . . .29, 32, 54
コレクション領域非表示 . . . . . .55
コレクション領域を表示 . . . . . .34, 53
コレクション領域を表示／隠す . . . . . .148
コレクション領域を表示アイコン . . . . . .53
コントラスト . . . . . .75

**さ行**

最後の画像 . . . . . .43
最初の画像 . . . . . .43
最新の情報に更新 . . . . . .149
サイズ . . . . . .108
サイズ変更 . . . . . .120
彩度 . . . . . .76
再読み込み . . . . . .21, 29, 30, 33
削除 . . . . . .146
撮影情報 . . . . . .37, 70
撮影日時 . . . . . .37
撮影日時の修正ダイアログ . . . . . .73
撮影日印刷 . . . . . .107, 108
撮影日で自動フォルダ作成 . . . . . .21
サムネイル一覧の表示項目 . . . . . .148
サムネイル表示エリア . . . . . .21, 29, 30, 32
サムネイル表示サイズ . . . . . .40, 148
サンプル . . . . . .108
実サイズで表示 . . . . . .31, 42, 61
指定したサイズに縮小 . . . . . .120
自動回転 . . . . . .107
自動回転表示 . . . . . .132
自動起動 . . . . . .17, 128
絞り込みパレット . . . . . .29, 50
シャープネス . . . . . .75
周囲に余白を残して表示する . . . . .132
縦横比固定 . . . . . .106
終了 . . . . . .146
昇順 . . . . . .40
使用する電子メールアプリケーション . . . . . .118
使用するメールアプリケーション . . . . . .120
ショートカット . . . . . .95
ショートカット参照 . . . . . .21
ショートカット領域 . . . . . .29
ショートカット領域を表示 . . . . . .95
書式 . . . . . .110, 115
ズームアウトモード . . . . . .31, 42, 61, 148
ズームインモード . . . . .31, 42, 61, 148
スキップ . . . . . .24, 27
スクロールモード . . . . .31, 42, 61, 148
スタイル . . . . . .108
ステータスボックス . . . .29, 30, 33, 43
ストレージモード . . . . . .17
全てに適用 . . . . . .24, 27
スライドショー . . . . . .43
設定 - コントロールパネル
- インターネットオプション
- プログラム . . . . . .119
全画面表示／スライドショー . . . . . .41
選択で追加 . . . . . .61
選択で追加チェックボックス . . . . . .65
選択ファイルを新規サブフォルダに移動 . . . . . .146
選定方法 . . . . . .58

**た行**

単位 . . . . . .106
単画像表示エリア . . . . . .30
通常モード . . . . . .148
ツールバー . . . . . .29
ツールバーのカスタマイズ . . . . . .35, 150
ツールバーの変更 . . . . . .35
ツールバーを表示／隠す . . . . . .148
ツールパレット全体表示 . . . . . .43
ツールパレットを隠す . . . . . .43
ツールメニュー . . . . . .150
次の画像 . . . . . .31, 43, 148
次の画像を追加 . . . . . .62

次の画像を追加ボタン .....66
データファイルの削除 .....136
登録アプリケーションを起動 .....34, 79, 147
取り込み後に自動削除 .....21
取り込みダイアログ .....20
取り込み元 .....22

**な行**
名前の一括変更.....34, 146
名前の一括変更ダイアログ.....86
名前の変更 .....146
名前の変更ダイアログ .....82
並べ替え .....148

**は行**
バージョン情報.....150
ハードウェアの取り外し.....14
ヒストグラム.....69
左側／中央／右側（画面上）.....111
左側／中央／右側（画面下）.....111
ビューモード.....30, 34, 148
表示位置／フォルダ内の全画像数 .....31
表示するファイルの種類.....131
表示倍率 .....42, 148
表示レイアウト切り替え.....62
ファームウェアの アップデートダイアログ ....122
ファイル名 .....77
フォーマット.....94
フォーマット変換 .....34, 150
フォーマット変換ダイアログ .....93
フォルダ .....77
フォルダツリー.....21, 29
フォルダの新規作成 .....21, 29, 80, 146
フォント .....107
フォントダイアログ .....108
フォント名 .....108
付加情報 .....110, 114
部数.....103
ブラウズモード.....28
プリンタの設定.....104
プリンタの設定ダイアログ.....105
プリンタのプロパティ設定ダイアログ .....143
色の管理タブ.....143
プリンタプロファイル .....144
プリンタ名 .....105
プリントダイアログ .....109
プロパティ領域.....29, 31, 32, 69
Exif タブ.....71
一般タブ .....70
プロファイル .....152
分類チェックマーク .....31, 37, 43
分類チェックマーク絞り込み表示 .....34, 50
ページ設定ダイアログ .....104
ヘッダ・フッタ.....110, 111
ヘッダ・フッタダイアログ.....111
ヘルプメニュー.....150
変換実行 .....94
編集メニュー .....147
ポインタツール.....61
保存後、登録アプリケーションで 開く .....77
保存先の指定ダイアログ .....77
保存先のファイル名 .....93
保存先のフォルダ .....93
ホワイトバランス.....75

**ま行**
前の画像 .....31, 43, 148
マルチモニタ .....133
命名規則 .....87
メディア .....20
メニューバー .....29
モニタプロファイル .....144

**や行**
用紙方向 .....103
余白.....132
余白が出ないように領域を配置 .....107
余白を均等にする.....103, 115

**ら行**
ライトボックスモード .....32, 34, 63
領域全体に印刷.....107
領域のタイプ .....103
レイアウト .....106
連動.....61

連番を付加 . . . . . .24, 27
露出補正 . . . . . .75

OLYMPUS®

オリンパス イメージング株式会社

〒 163-0914　東京都新宿区西新宿 2 の 3 の 1 新宿モノリス

## ●ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS 対応の状況、Q&A などの各種情報を当社のホームページで提供しております。
オリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp/）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

## ●電話等でのご相談窓口

**カスタマーサポートセンター**

フリーダイヤル
**0120-084215**

**携帯電話・PHSからは0426-42-7499**

**FAX　0426-42-7486**

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

**営業時間　平日　　9：30 ～ 21：00**
**土・日・祝日　10：00 ～ 18：00**
**（年末年始、システムメンテナンス日を除く）**

## ●修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

**TEL 0266-26-0330　　FAX 0266-26-2011**

〒 394-0083　長野県岡谷市長地柴宮 3-15-1

**オリンパス岡谷修理センター**
営業時間 9:00 ～ 17:00
（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

## 国内サービスステーション（修理受付窓口）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東　京 | 〒 101-0052 | 千代田区神田小川町 1 の 3 の 1　小川町三井ビル（オリンパスプラザ内） | Tel.03（3292）3403 |
| 札　幌 | 〒 060-0034 | 札幌市中央区北 4 条東 1 の 2 の 3　札幌フコク生命ビル | Tel.011（231）2320 |
| 仙　台 | 〒 981-3133 | 仙台市泉区泉中央 1 の 13 の 4　泉エクセルビル | Tel.022（218）8421 |
| 名古屋 | 〒 460-0003 | 名古屋市中区錦 2 の 19 の 25　日本生命広小路ビル | Tel.052（201）9571 |
| 大　阪 | 〒 542-0081 | 大阪市中央区南船場 2 の 12 の 26　オリンパス大阪センター | Tel.06（6252）6995 |
| 広　島 | 〒 730-0013 | 広島市中区八丁堀 16 の 11　日本生命広島第 2 ビル | Tel.082（228）3821 |
| 福　岡 | 〒 810-0004 | 福岡市中央区渡辺通 3 の 6 の 11　福岡フコク生命ビル | Tel.092（761）4466 |

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

©2004 OLYMPUS IMAGING CORP.

VE935601